

生涯学習に関するアンケート調査

調査結果報告書（案）

令和4年3月
春日井市

目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象及び調査方法	1
1 調査対象	1
2 調査方法	1
3 調査期間	1
3 回収状況	1
4 報告書の見方	1
II 市民アンケート調査結果	2
1 回答者の属性	2
1 性別・年齢	2
2 職業	2
3 中学校区	2
2 人口分布と回答者分布	3
1 性別の状況	3
2 年代別の状況	3
3 中学校区別の状況	3
3 生涯学習について	4
4 市の生涯学習への取り組みについて	38
5 自由意見	60
III 団体アンケート調査結果	71
1 団体について	71
2 自由意見	89
IV 資料	95
1 単純集計結果	95
1 市民	95
2 団体	102
2 調査票	105
1 市民	105
2 団体	115

I 調査の概要

1 調査の目的

文化振興及び生涯学習に関する市民意識を把握することで、文化振興プラン、生涯学習推進計画を改定する際の基礎資料とするものです。

公民館等登録団体についても、今後の生涯学習に関するニーズを把握することを目的にアンケート調査を実施しました。

2 調査対象及び調査方法

1 調査対象

- ・市民アンケート
⇒市内在住の男女（16歳以上）を無作為に抽出した3,500人を対象としました。
- ・団体アンケート
⇒公民館等で定期的に活動している団体515団体を対象としました。

2 調査方法

- ・郵送調査法
(調査票を使って回答する以外に、パソコンやスマートフォンによる回答が可能)

3 調査期間

- ・令和3年9月8日～令和3年9月30日

3 回収状況

	市民	団体
配布数	3,500	515
有効回収数	1,650	476
有効回収率	47.1%	92.4%

4 報告書の見方

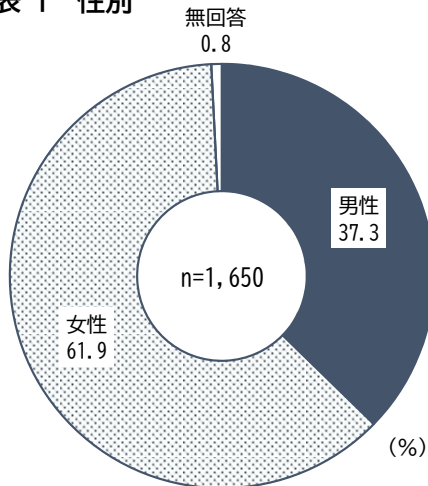
- ・グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ・比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・グラフ・表として示したもののうち、無回答が0の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、選択肢の文章を簡略化してある場合もあります。

II 市民アンケート調査結果

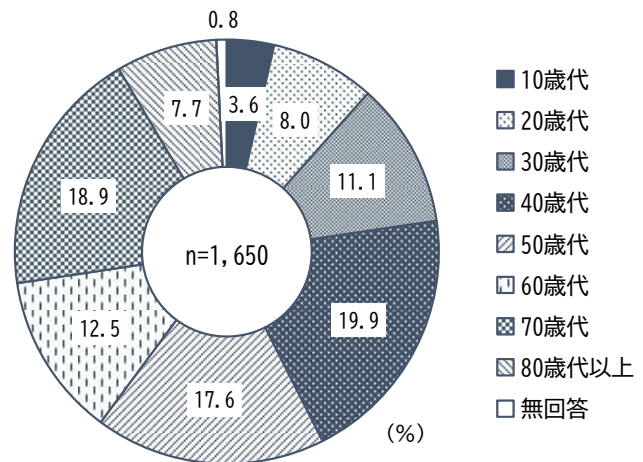
1 回答者の属性

1 性別・年齢

図表 1 性別

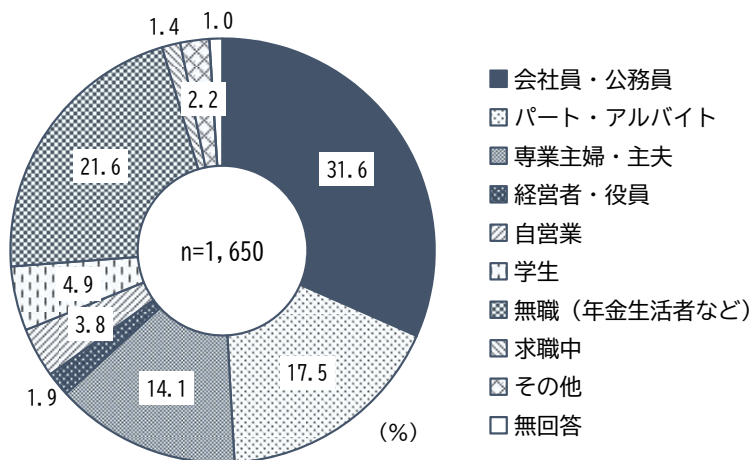


図表 2 年齢



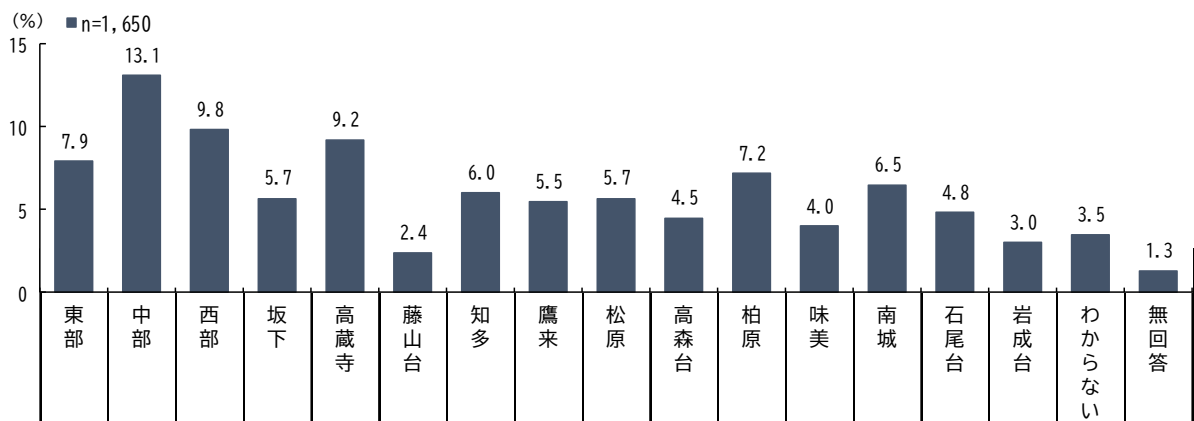
2 職業

図表 3 職業



3 中学校区

図表 4 居住中学校区

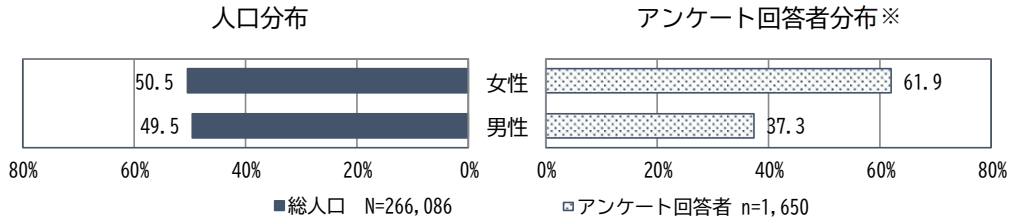


2 人口分布と回答者分布

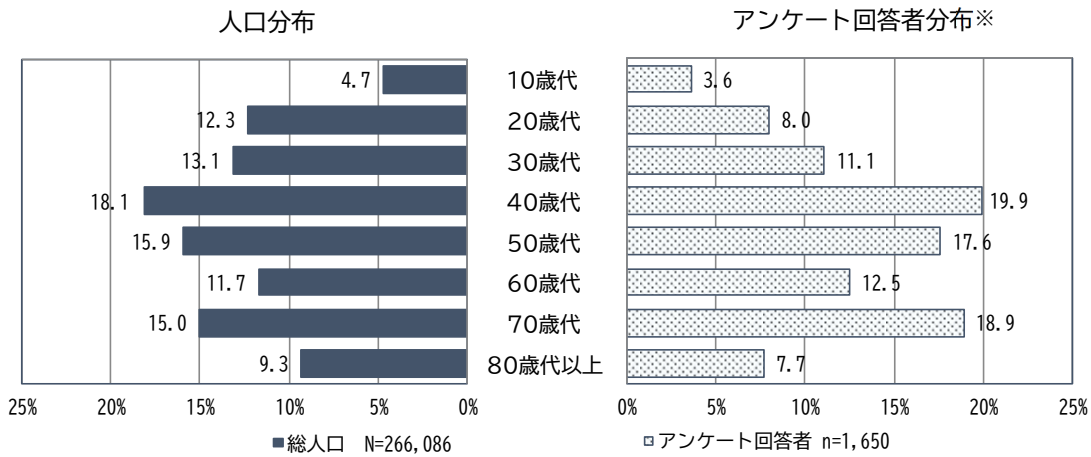
アンケートの対象者を抽出した時点（令和3年8月1日現在）の人口と市民アンケート回答者の構成割合は、次のグラフのようになり、性別、年代別、中学校区別で比較すると、特に性別の分布状況に差異がみられます。

しかし、調査結果の傾向を判断する上では、特に問題は生じません。

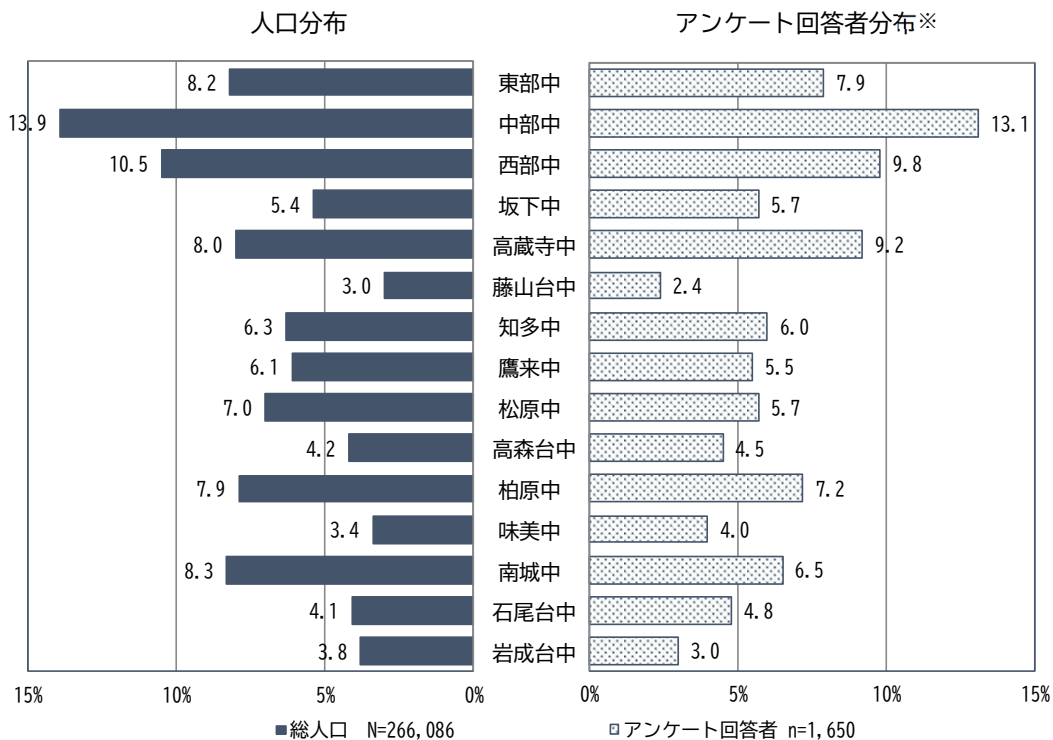
1 性別の状況



2 年代別の状況



3 中学校区別の状況

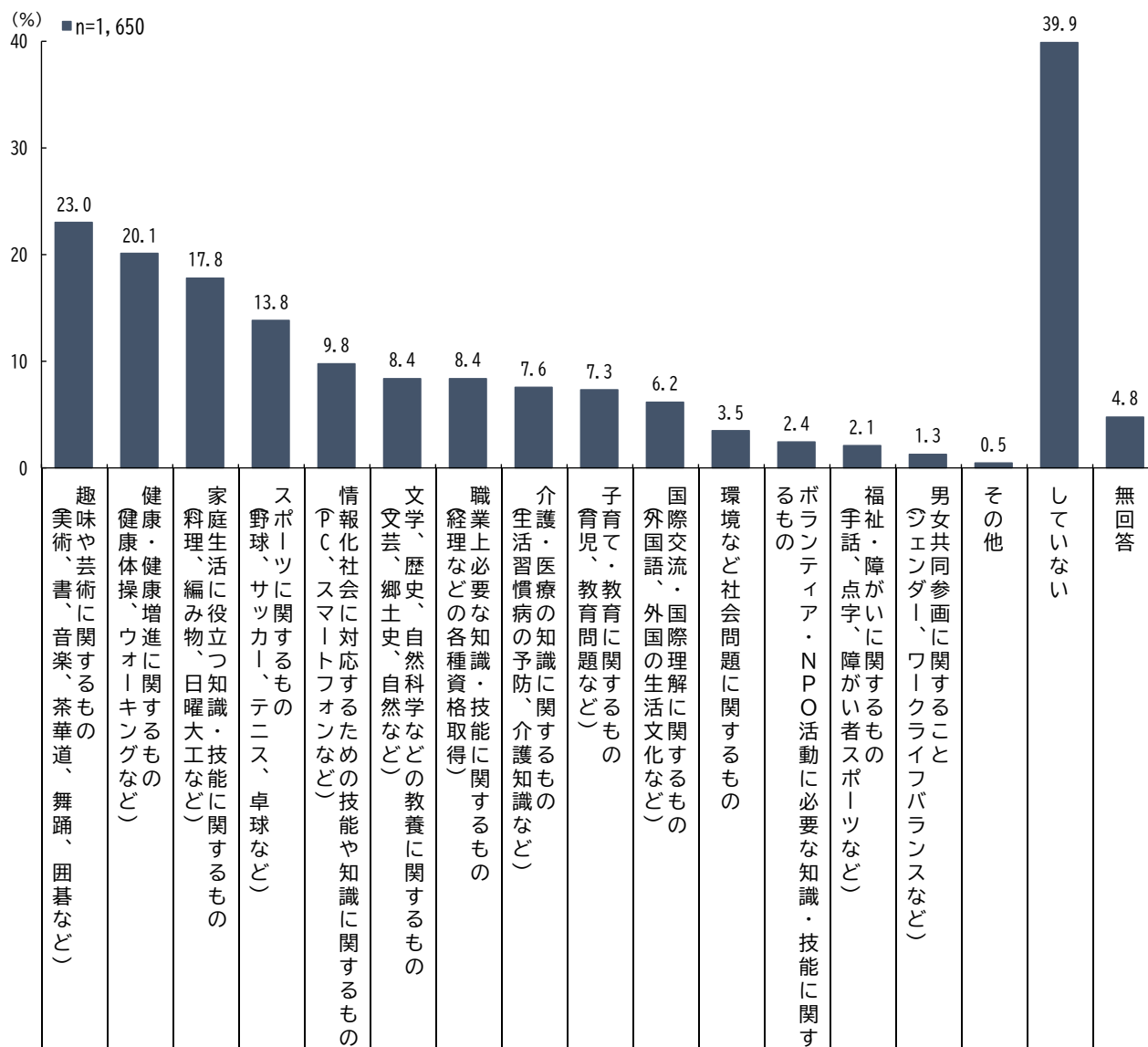


※ アンケート回答者分布のグラフには、「無回答」「わからない」を掲載していないため、合計が100%になりません。

3 生涯学習について

問1 あなたが、学校以外で取り組んでいる生涯学習の内容は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

図表 5 学校以外の生涯学習の内容



学校以外で取り組んでいる生涯学習の内容は何かについては、「していない」(39.9%)が最も多く、次いで「趣味や芸術に関するもの(美術、書、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など)」(23.0%)、「健康・健康増進に関するもの(健康体操、ウォーキングなど)」(20.1%)となっています。

図表 6 学校以外の生涯学習の内容 <性別・年代別>

単位：%

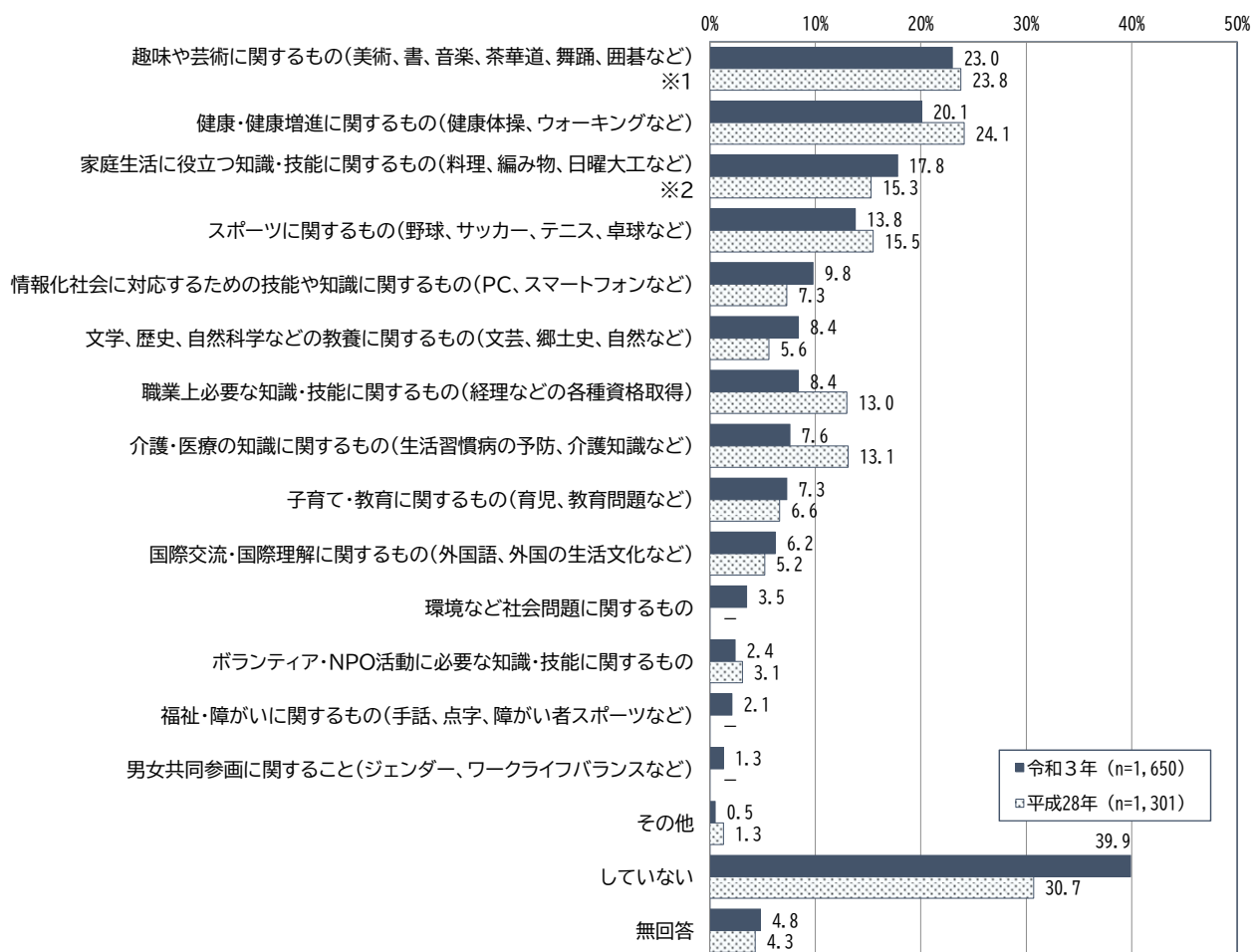
		有効回答数 (件)	趣味や芸術に関するもの (美術、書、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など)	健康・健康増進に関するもの (健康体操、ウォーキングなど)	家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの (料理、編み物、日曜大工など)	スポーツに関するもの (野球、サッカー、テニス、卓球など)	情報化社会に対応するための技能や知識に関するもの (PC、スマートフォンなど)	文学、歴史、自然科学などの教養に関するもの (文芸、郷土史、自然など)	職業上必要な知識・技能に関するもの (総理などの各種資格取得)	介護・医療の知識に関するもの (生活習慣病の予防、介護知識など)	子育て・教育に関するもの (育児、教育問題など)	国際交流・国際理解に関するもの (外国語、外国の生活文化など)	環境など社会問題に関するもの	ボランティア・NPO活動に必要な知識・技能に関するもの	福祉・障がいに関するもの (手話、点字、障がい者スポーツなど)	男女共同参画に関するもの (エンダー、ワークライフバランスなど)	その他	していない	無回答	
性別	男性	615	20.8	20.7	12.2	19.3	13.8	13.5	11.2	5.5	3.3	6.7	5.7	2.3	2.0	1.0	0.8	39.0	4.9	
	女性	1,021	24.5	19.7	21.3	10.5	7.4	5.3	6.9	9.0	9.5	5.9	2.1	2.4	2.2	1.5	0.4	40.5	4.8	
年代別	10歳代	59	28.8	3.4	11.9	27.1	15.3	6.8	10.2	3.4	0.0	15.3	1.7	0.0	1.7	0.0	0.0	35.6	1.7	
	20歳代	132	31.8	11.4	22.7	14.4	13.6	6.8	13.6	11.4	11.4	9.1	2.3	2.3	2.3	1.5	0.8	36.4	0.0	
	30歳代	183	16.9	13.1	23.5	15.3	12.6	8.2	13.1	6.6	20.8	6.0	0.5	1.1	1.6	3.3	0.0	43.2	1.1	
	40歳代	328	17.7	14.3	17.4	13.7	8.8	6.7	12.5	5.8	10.1	6.4	2.4	0.9	0.6	0.6	0.9	48.8	0.9	
	50歳代	290	24.8	17.6	18.6	14.5	7.9	6.9	9.7	5.2	6.6	7.2	1.4	0.7	1.7	1.0	0.3	43.8	4.1	
	60歳代	206	22.3	25.2	18.9	14.6	10.2	9.7	6.3	7.3	2.4	5.8	4.9	2.9	2.9	1.5	0.5	40.8	4.9	
	70歳代	312	26.6	34.0	15.7	11.5	9.3	11.5	1.9	12.5	1.3	3.2	6.7	6.1	3.8	1.3	1.0	30.4	8.7	
	80歳代以上	127	23.6	24.4	10.2	7.9	7.1	8.7	2.4	7.1	2.4	3.9	6.3	3.1	1.6	0.8	0.0	30.7	18.9	
性別・年代別	男性	10歳代	26	30.8	0.0	0.0	38.5	15.4	11.5	7.7	7.7	0.0	7.7	3.8	0.0	3.8	0.0	0.0	23.1	3.8
		20歳代	46	19.6	8.7	15.2	23.9	17.4	2.2	17.4	6.5	2.2	6.5	2.2	0.0	2.2	0.0	0.0	45.7	0.0
		30歳代	64	17.2	14.1	17.2	31.3	18.8	15.6	21.9	6.3	12.5	6.3	1.6	0.0	1.6	1.6	0.0	35.9	0.0
		40歳代	100	16.0	18.0	9.0	22.0	17.0	15.0	19.0	6.0	6.0	10.0	5.0	1.0	0.0	1.0	2.0	43.0	2.0
		50歳代	104	15.4	14.4	11.5	18.3	8.7	11.5	11.5	4.8	1.9	7.7	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	47.1	2.9
		60歳代	91	19.8	27.5	14.3	15.4	14.3	8.8	5.5	0.0	6.6	6.6	1.1	3.3	2.2	1.1	1.1	39.6	5.5
		70歳代	123	29.3	34.1	14.6	13.8	13.0	16.3	3.3	5.7	0.8	4.1	13.0	6.5	3.3	0.8	0.8	35.8	5.7
		80歳代以上	61	23.0	23.0	8.2	9.8	9.8	14.8	3.3	3.3	3.3	4.9	8.2	6.6	1.6	1.6	0.0	29.5	19.7
	女性	10歳代	33	27.3	6.1	21.2	18.2	15.2	3.0	12.1	0.0	0.0	21.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5	0.0
		20歳代	86	38.4	12.8	26.7	9.3	11.6	9.3	11.6	14.0	16.3	10.5	2.3	3.5	2.3	2.3	1.2	31.4	0.0
		30歳代	119	16.8	12.6	26.9	6.7	9.2	4.2	8.4	6.7	25.2	5.9	0.0	1.7	1.7	4.2	0.0	47.1	1.7
		40歳代	228	18.4	12.7	21.1	10.1	5.3	3.1	9.6	5.7	11.8	4.8	1.3	0.9	0.9	0.4	0.4	51.3	0.4
		50歳代	185	29.7	19.5	22.7	12.4	7.6	4.3	8.6	5.4	9.2	7.0	2.2	1.1	2.2	1.6	0.0	42.2	4.9
		60歳代	115	24.3	23.5	22.6	13.9	7.0	6.1	4.3	8.7	4.3	5.2	3.5	4.3	2.6	0.9	0.0	41.7	4.3
		70歳代	189	24.9	33.9	16.4	10.1	6.9	8.5	1.1	16.9	1.6	2.6	2.6	5.8	4.2	1.6	1.1	27.0	10.6
		80歳代以上	66	24.2	25.8	12.1	6.1	4.5	3.0	1.5	10.6	1.5	3.0	4.5	0.0	1.5	0.0	0.0	31.8	18.2

性別にみると、「家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの（料理、編み物、日曜大工など）」は女性（21.3%）のほうが男性（12.2%）よりも多くなっています。

年代別にみると、「10歳代」で「スポーツに関するもの（野球、サッカー、テニス、卓球など）」(27.1%)、「30歳代」で「子育て・教育に関するもの（育児、教育問題など）」(20.8%)、「70歳代」で「健康・健康増進に関するもの（健康体操、ウォーキングなど）」(34.0%)が他の年齢層よりも多くなっています。

性別年代別にみると、男性は若中年層で「スポーツに関するもの（野球、サッカー、テニス、卓球など）」、70歳代を中心に「健康・健康増進に関するもの（健康体操、ウォーキングなど）」が多くなっています。女性は若年層で「趣味や芸術に関するもの（美術、書、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など）」、30歳代を中心に「家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの（料理、編み物、日曜大工など）」、70歳代を中心に「健康・健康増進に関するもの（健康体操、ウォーキングなど）」が多くなっています。

図表 7 学校以外の生涯学習の内容 <前回調査（平成 28 年）と今回調査（令和 3 年）との比較>



「-」は、前回または今回選択肢がないもの（以降の集計も同じ）

「※」は、平成 28 年の選択肢と表現等が異なるもの（以降の集計も同じ）

※ 1 趣味や芸術に関するもの（美術、音楽、茶華道、舞踊、囲碁、日曜大工など）

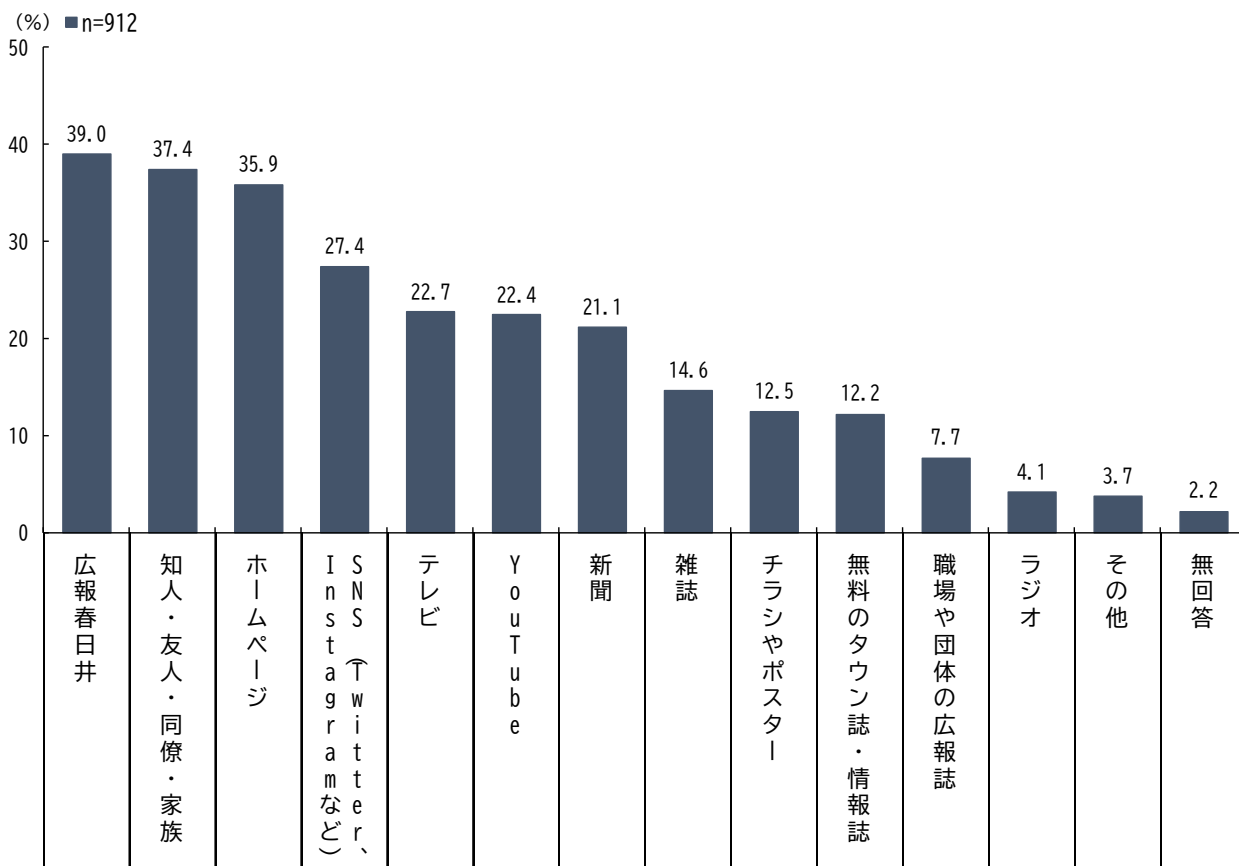
※ 2 家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの（料理、編み物など）

前回調査（平成 28 年）では、「していない」（30.7%）が最も多く、次いで「健康・健康増進に関するもの（健康体操、ウォーキングなど）」（24.1%）、「趣味や芸術に関するもの（美術、音楽、茶華道、舞踊、囲碁、日曜大工など）」（23.8%）でした。前回調査と比較すると、今回の調査では「していない」が 9.2 ポイント増となっています。

問1で1～15と答えられた方にお聞きします。

問1-1 あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○印)

図表 8 生涯学習の情報源



生涯学習の情報をどこから得ているかについては、「広報春日井」(39.0%)が最も多く、次いで「知人・友人・同僚・家族」(37.4%)、「ホームページ」(35.9%)となっています。

図表 9 生涯学習の情報源 <性別・年代別>

単位：％

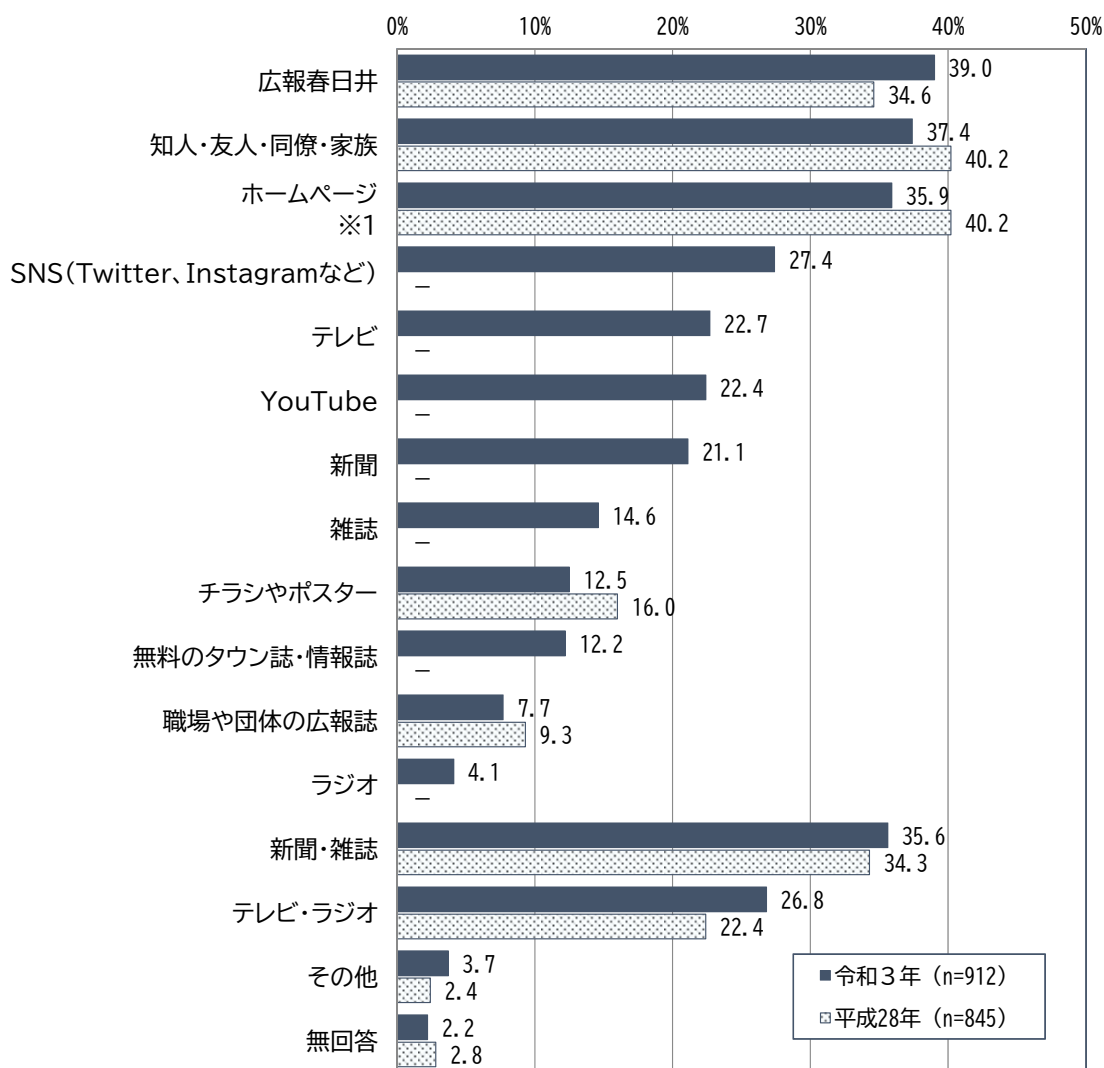
		有効回答数 (件)	広報春日井	知人・友人・同僚・家族	ホームページ	SNS (Twitter、Instagramなど)	テレビ	YouTube	新聞	雑誌	チラシやポスター	無料のタウン誌・情報誌	職場や団体の広報誌	ラジオ	その他	無回答	
性別	男性	345	34.5	28.7	43.8	24.9	23.2	24.1	26.1	18.0	11.9	9.0	6.1	4.3	4.9	1.7	
	女性	559	41.9	42.8	31.3	29.0	22.5	21.3	18.1	12.5	12.5	14.1	8.8	3.9	3.0	2.5	
年代別	10歳代	37	2.7	51.4	24.3	59.5	27.0	54.1	10.8	13.5	5.4	2.7	0.0	2.7	5.4	2.7	
	20歳代	84	6.0	26.2	39.3	75.0	27.4	47.6	3.6	6.0	4.8	3.6	14.3	2.4	8.3	0.0	
	30歳代	102	20.6	23.5	60.8	52.0	27.5	43.1	7.8	25.5	3.9	9.8	3.9	2.0	2.0	0.0	
	40歳代	165	32.1	37.0	52.7	36.4	23.0	26.7	13.9	17.6	10.9	13.9	13.3	3.6	2.4	0.0	
	50歳代	151	36.4	39.1	50.3	27.2	21.9	19.2	22.5	15.9	15.2	12.6	11.3	5.3	3.3	0.0	
	60歳代	112	50.9	32.1	32.1	5.4	28.6	15.2	28.6	19.6	11.6	19.6	8.0	6.3	6.3	1.8	
	70歳代	190	60.5	48.9	9.5	1.1	15.8	3.7	35.8	9.5	20.5	15.3	2.1	4.7	2.1	5.3	
	80歳代以上	64	73.4	37.5	7.8	1.6	18.8	1.6	29.7	4.7	14.1	6.3	3.1	3.1	4.7	10.9	
性別・年代別	男性	10歳代	19	5.3	36.8	36.8	47.4	26.3	47.4	21.1	21.1	5.3	5.3	0.0	5.3	0.0	5.3
		20歳代	25	4.0	28.0	48.0	76.0	8.0	40.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	4.0	12.0	0.0
		30歳代	41	19.5	31.7	61.0	51.2	24.4	46.3	12.2	22.0	2.4	7.3	4.9	2.4	2.4	0.0
		40歳代	55	18.2	30.9	63.6	34.5	29.1	29.1	14.5	18.2	14.5	9.1	16.4	3.6	1.8	0.0
		50歳代	52	25.0	13.5	65.4	25.0	28.8	28.8	28.8	23.1	9.6	3.8	3.8	5.8	7.7	0.0
		60歳代	50	36.0	20.0	40.0	4.0	38.0	20.0	34.0	28.0	10.0	18.0	6.0	10.0	8.0	4.0
		70歳代	72	58.3	34.7	18.1	2.8	13.9	4.2	43.1	15.3	20.8	12.5	4.2	2.8	4.2	2.8
		80歳代以上	31	83.9	41.9	16.1	3.2	9.7	3.2	32.3	6.5	16.1	6.5	3.2	0.0	3.2	3.2
	女性	10歳代	18	0.0	66.7	11.1	72.2	27.8	61.1	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
		20歳代	59	6.8	25.4	35.6	74.6	35.6	50.8	5.1	8.5	5.1	5.1	18.6	1.7	6.8	0.0
		30歳代	61	21.3	18.0	60.7	52.5	29.5	41.0	4.9	27.9	4.9	11.5	3.3	1.6	1.6	0.0
		40歳代	110	39.1	40.0	47.3	37.3	20.0	25.5	13.6	17.3	9.1	16.4	11.8	3.6	2.7	0.0
		50歳代	98	41.8	53.1	42.9	28.6	18.4	14.3	19.4	12.2	17.3	16.3	15.3	5.1	1.0	0.0
		60歳代	62	62.9	41.9	25.8	6.5	21.0	11.3	24.2	12.9	12.9	21.0	9.7	3.2	4.8	0.0
		70歳代	118	61.9	57.6	4.2	0.0	16.9	3.4	31.4	5.9	20.3	16.9	0.8	5.9	0.8	6.8
		80歳代以上	33	63.6	33.3	0.0	0.0	27.3	0.0	27.3	3.0	12.1	6.1	3.0	6.1	6.1	18.2

性別にみると、「ホームページ」は男性（43.8％）のほうが女性（31.3％）よりも多くなっています。反対に「知人・友人・同僚・家族」では女性（42.8％）のほうが男性（28.7％）よりも多くなっています。

年代別にみると、「10～30歳代」で「SNS（Twitter、Instagramなど）」（52％以上）と「YouTube」（43％以上）、「30～50歳代」で「ホームページ」（50％以上）、「60歳代以上」で「広報春日井」（50％以上）が他の年齢層よりも多くなっています。

性別年代別にみると、男女ともに若年層は「SNS（Twitter、Instagramなど）」、中年層は「ホームページ」、高齢層は「広報春日井」が最も多くなっています。

図表 10 生涯学習の情報源 <前回調査（平成 28 年）と今回調査（令和 3 年）との比較>

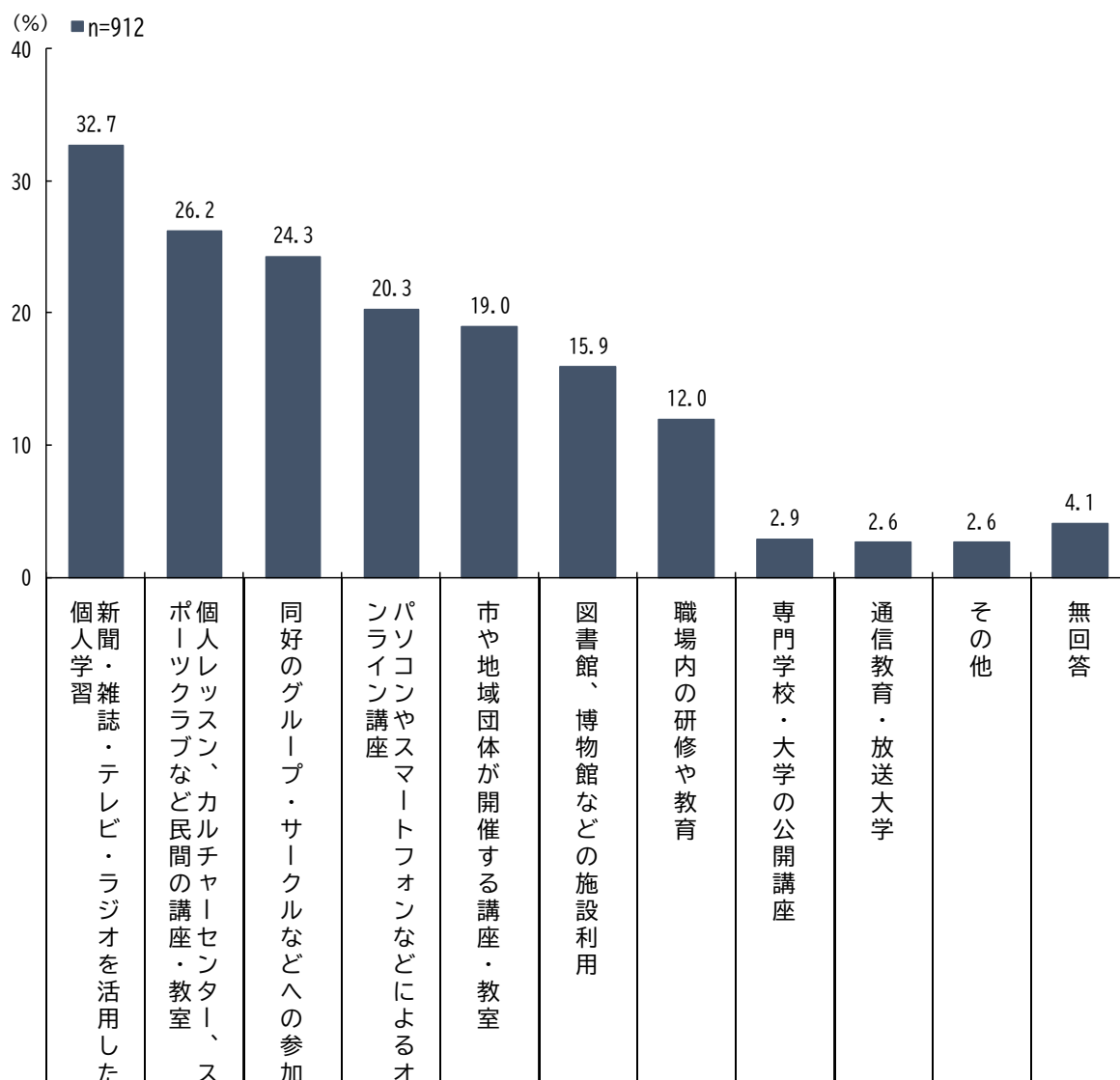


※1 インターネット

前回調査（平成 28 年）では、「インターネット」（40.2%）が最も多く、次いで「市の広報紙」（34.6%）、「新聞・雑誌」（34.3%）でした。今回の調査でもこれらの項目は上位に来ており、今回新たに追加された項目をみると「SNS(Twitter、Instagram など）」(27.4%)、「YouTube」（22.4%）となっており、SNS で情報を得る方が多いことがうかがえます。

問1-2 どんな方法で学んでいますか。(あてはまるものすべてに○印)

図表 11 学んでいる方法



どんな方法で学んでいるかについては、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオを活用した個人学習」(32.7%)が最も多く、次いで「個人レッスン、カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座・教室」(26.2%)、「同好のグループ・サークルなどへの参加」(24.3%)となっています。

図表 12 学んでいる方法 <性別・年代別>

単位：％

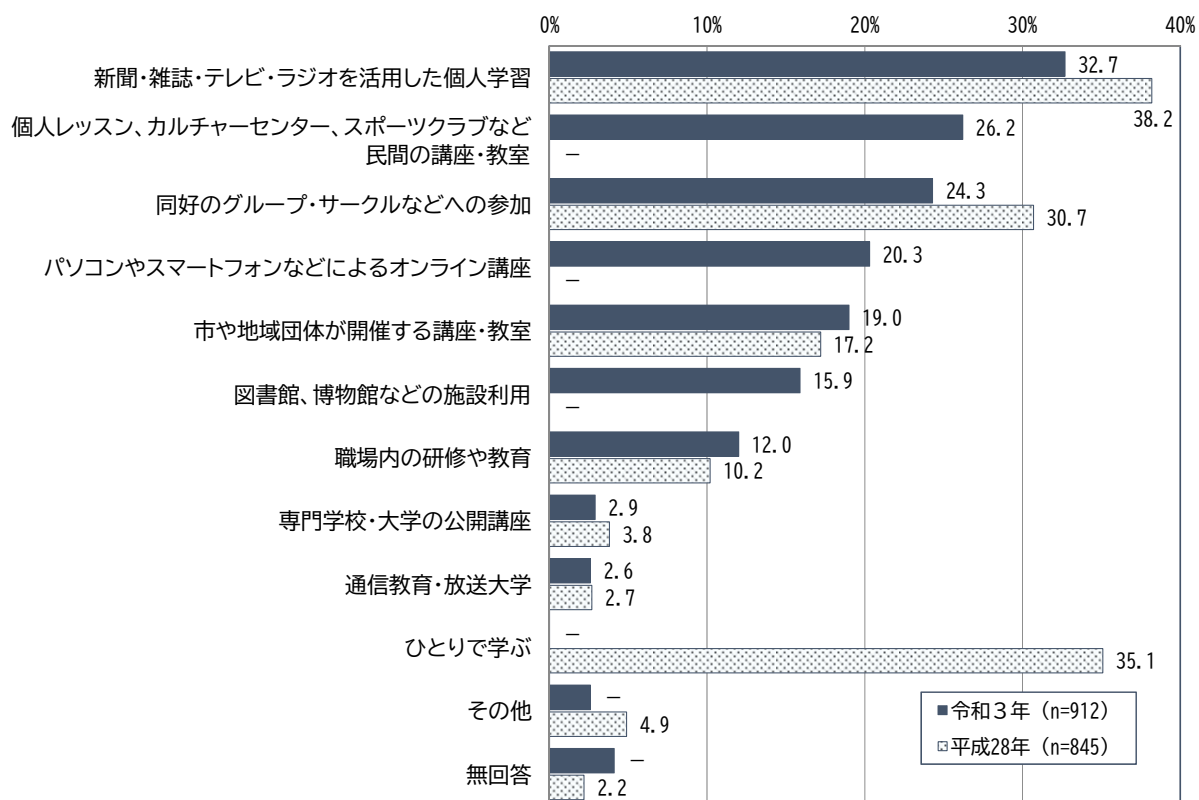
		有効回答数 (件)	新聞・雑誌・テレビ・ラジオを活用した個人学習	個人レッスン、カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座・教室	同好のグループ・サークルなどへの参加	パソコンやスマートフォンなどによるオンライン講座	市や地域団体が開催する講座・教室	図書館、博物館などの施設利用	職場内の研修や教育	専門学校・大学の公開講座	通信教育・放送大学	その他	無回答	
性別	男性	345	37.1	17.1	24.1	26.4	12.8	19.7	11.9	5.2	2.3	2.6	3.5	
	女性	559	30.2	32.2	24.0	16.8	22.4	13.4	12.2	1.4	2.9	2.7	4.3	
年代別	10歳代	37	27.0	32.4	18.9	21.6	2.7	8.1	2.7	10.8	2.7	8.1	0.0	
	20歳代	84	39.3	13.1	9.5	34.5	3.6	14.3	27.4	6.0	2.4	2.4	1.2	
	30歳代	102	48.0	19.6	15.7	28.4	8.8	14.7	18.6	1.0	2.9	4.9	2.0	
	40歳代	165	38.2	28.5	17.0	26.1	14.5	17.6	24.8	1.8	6.7	1.2	0.6	
	50歳代	151	31.1	33.8	21.9	26.5	18.5	13.9	11.3	2.0	2.0	1.3	0.7	
	60歳代	112	30.4	31.3	30.4	17.9	14.3	17.9	6.3	2.7	2.7	3.6	3.6	
	70歳代	190	24.7	27.9	37.9	7.9	35.3	17.9	0.5	3.2	0.5	2.1	8.9	
	80歳代以上	64	21.9	15.6	31.3	1.6	34.4	14.1	0.0	1.6	0.0	3.1	15.6	
性別・年代別	男性	10歳代	19	26.3	21.1	26.3	26.3	5.3	5.3	0.0	10.5	0.0	5.3	0.0
		20歳代	25	36.0	12.0	20.0	36.0	0.0	4.0	24.0	12.0	0.0	0.0	0.0
		30歳代	41	43.9	17.1	29.3	41.5	0.0	14.6	22.0	2.4	0.0	4.9	2.4
		40歳代	55	47.3	12.7	12.7	41.8	5.5	16.4	29.1	3.6	5.5	1.8	0.0
		50歳代	52	40.4	19.2	15.4	30.8	5.8	23.1	11.5	1.9	3.8	1.9	0.0
		60歳代	50	50.0	8.0	16.0	24.0	10.0	30.0	6.0	6.0	4.0	4.0	4.0
		70歳代	72	26.4	29.2	33.3	11.1	29.2	22.2	1.4	6.9	1.4	2.8	8.3
		80歳代以上	31	16.1	9.7	45.2	3.2	35.5	25.8	0.0	3.2	0.0	0.0	9.7
	女性	10歳代	18	27.8	44.4	11.1	16.7	0.0	11.1	5.6	11.1	5.6	11.1	0.0
		20歳代	59	40.7	13.6	5.1	33.9	5.1	18.6	28.8	3.4	3.4	3.4	1.7
		30歳代	61	50.8	21.3	6.6	19.7	14.8	14.8	16.4	0.0	4.9	4.9	1.6
		40歳代	110	33.6	36.4	19.1	18.2	19.1	18.2	22.7	0.9	7.3	0.9	0.9
		50歳代	98	26.5	41.8	24.5	24.5	24.5	9.2	11.2	2.0	1.0	1.0	1.0
		60歳代	62	14.5	50.0	41.9	12.9	17.7	8.1	6.5	0.0	1.6	3.2	3.2
		70歳代	118	23.7	27.1	40.7	5.9	39.0	15.3	0.0	0.8	0.0	1.7	9.3
		80歳代以上	33	27.3	21.2	18.2	0.0	33.3	3.0	0.0	0.0	0.0	6.1	21.2

性別にみると、「個人レッスン、カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座・教室」は女性（32.2％）のほうが男性（17.1％）よりも多くなっています。

年代別にみると、「20歳代」で「職場内の研修や教育」（27.4％）と「パソコンやスマートフォンなどによるオンライン講座」（34.5％）、「30歳代」で「新聞・雑誌・テレビ・ラジオを活用した個人学習」（48.0％）、「70歳代」で「同好のグループ・サークルなどへの参加」（37.9％）、「70～80歳代」で「市や地域団体が開催する講座・教室」（34％以上）が他の年齢層よりも多くなっています。

性別年代別にみると、男性は「10～60歳代」で「新聞・雑誌・テレビ・ラジオを活用した個人学習」、「70歳代以上」で「同好のグループ・サークルなどへの参加」が最も多くなっています。女性は「10歳代」「40～60歳代」で「個人レッスン、カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座・教室」、「20～30歳代」で「新聞・雑誌・テレビ・ラジオを活用した個人学習」、「70歳代」で「同好のグループ・サークルなどへの参加」、「80歳代以上」で「市や地域団体が開催する講座・教室」が最も多くなっています。

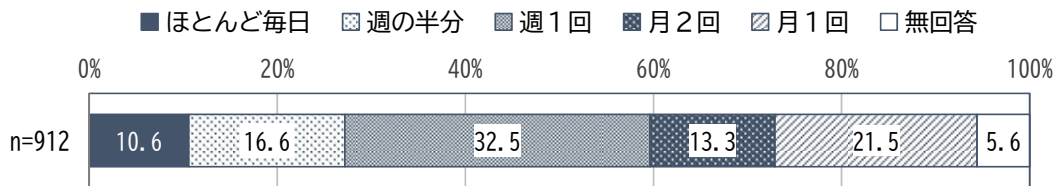
図表 13 学んでいる方法 <前回調査（平成 28 年）と今回調査（令和 3 年）との比較>



前回調査（平成 28 年）では、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオを活用した個人学習」（38.2%）が最も多く、次いで「ひとりで学ぶ」（35.1%）、「同好のグループ・サークルなどへの参加」（30.7%）でした。今回の調査においても「新聞・雑誌・テレビ・ラジオを活用した個人学習」（32.7%）が最も多くなっていますが、前回調査と比較すると 5.5 ポイント減、「同好のグループ・サークルなどへの参加」では 6.4 ポイント減となっています。今回新たに追加された項目「パソコンやスマートフォンなどによるオンライン講座」では 20.3%となっており、約 2 割の方が何らかのオンライン講座を受けていることが分かります。

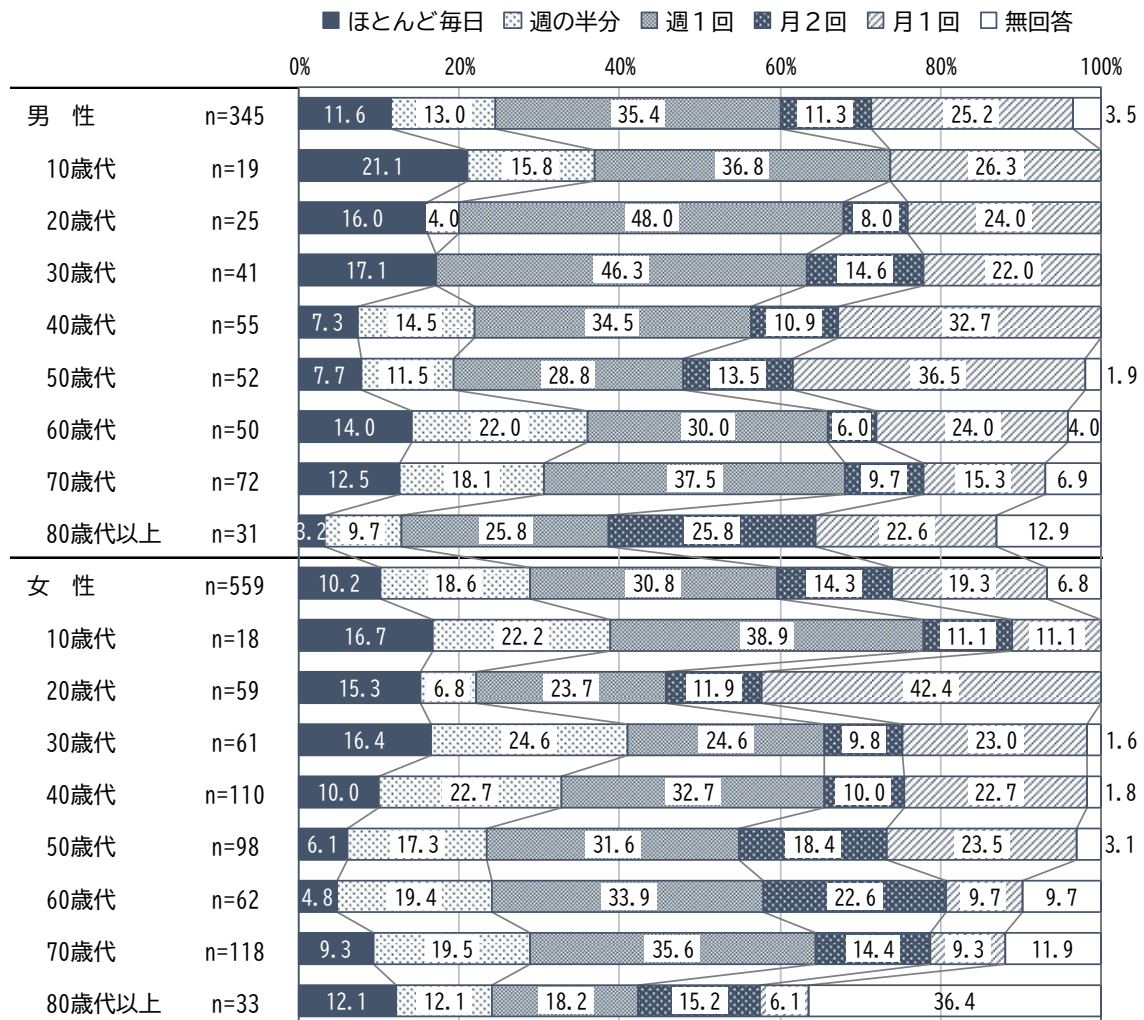
問1-3 取り組んでいるすべての活動の合計回数はどれくらいですか。(あてはまるもの一つに○印)

図表 14 活動の合計回数



取り組んでいるすべての活動の合計回数はどれくらいかについては、「週1回」(32.5%)が最も多く、次いで「月1回」(21.5%)、「週の半分」(16.6%)となっています。

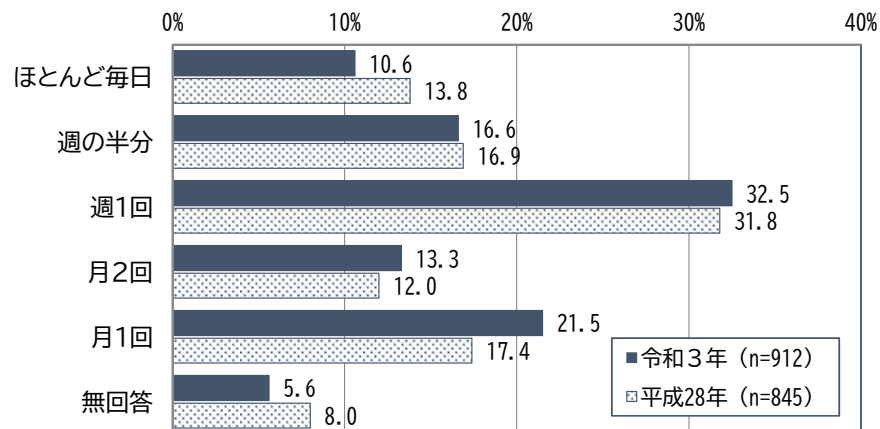
図表 15 活動の合計回数 <性別・年代別>



性別にみると、男女ともに回答割合の多い方から「週1回」、「月1回」、「週の半分」の順となっています。

性別年代別にみると、男性は「50歳代」を除き「週1回」が、「50歳代」は「月1回」が最も多くなっています。女性は「20歳代」を除き「週1回」が、「20歳代」は「月1回」が最も多くなっています。

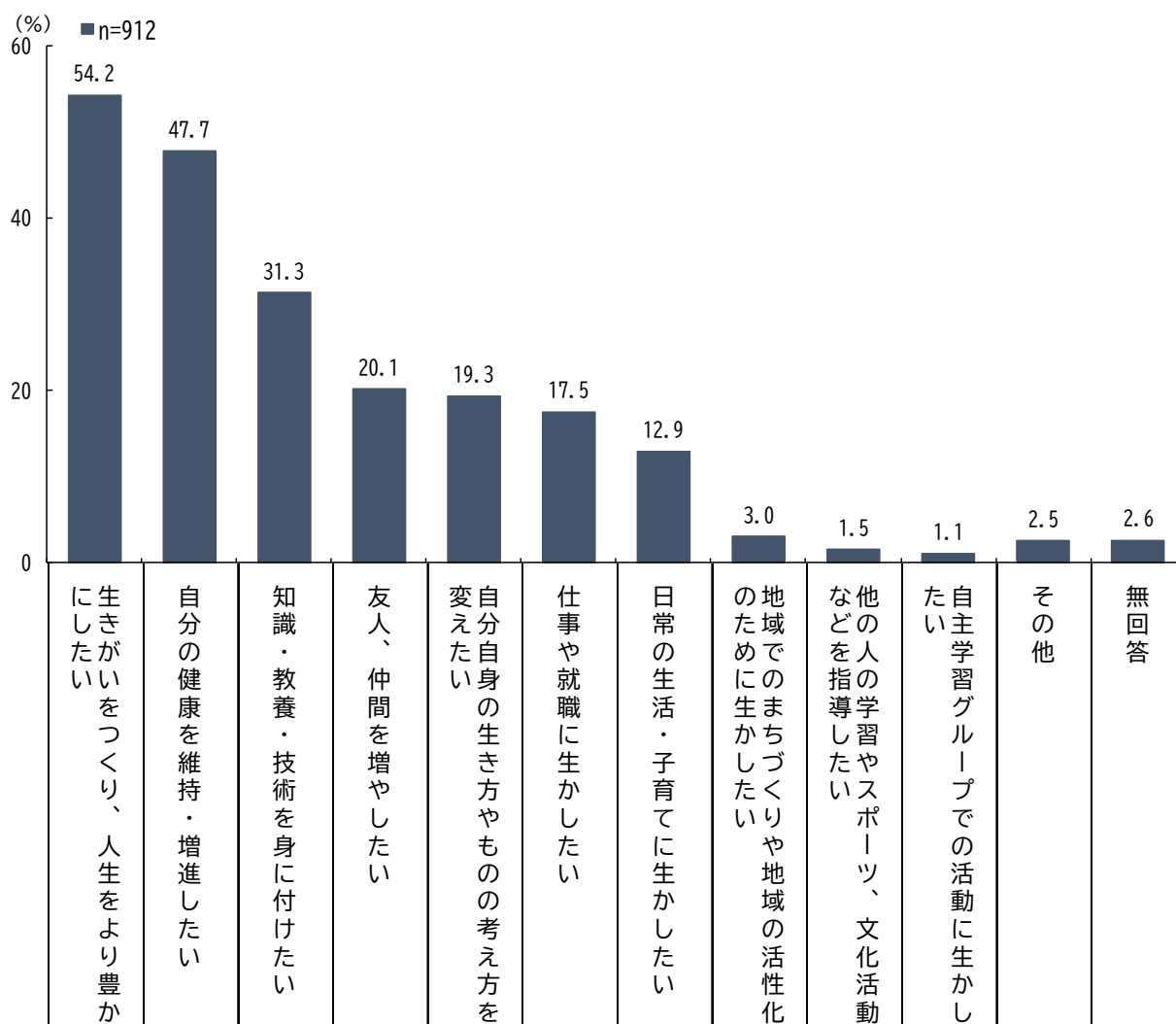
図表 16 活動の合計回数 <前回調査（平成 28 年）と今回調査（令和 3 年）との比較>



前回調査（平成 28 年）では、「週 1 回」（31.8%）が最も多く、次いで「月 1 回」（17.4%）、
 「週の半分」（16.9%）でした。前回調査と比較すると順位に変動はないものの、今回の調
 査では「月 1 回」が 4.1 ポイント増となっています。

問1-4 活動をしている理由は何ですか。(あてはまるもの3つまでに○印)

図表 17 活動している理由



活動をしている理由については、「生きがいをつくり、人生をより豊かにしたい」(54.2%)が最も多く、次いで「自分の健康を維持・増進したい」(47.7%)、「知識・教養・技術を身に付けたい」(31.3%)となっています。

図表 18 活動している理由 <性別・年代別>

単位：%

		有効回答数 (件)	生きがいをつくり、人生をより豊かにしたい	自分の健康を維持・増進したい	知識・教養・技術を身に付けたい	友人、仲間を増やしたい	自分自身の生き方やものの考え方を变えたい	仕事や就職に生かしたい	日常生活・子育てに生かしたい	地域でのまちづくりや地域の活性化のために生かしたい	他の人の学習やスポーツ、文化活動などを指導したい	自主学習グループでの活動に生かしたい	その他	無回答	
性別	男性	345	54.8	47.5	34.5	20.9	20.9	20.0	7.2	4.9	2.6	0.9	1.7	2.0	
	女性	559	53.7	47.8	29.2	19.3	18.6	16.3	16.6	1.8	0.9	1.3	3.0	2.9	
年代別	10歳代	37	43.2	21.6	35.1	16.2	35.1	29.7	5.4	0.0	5.4	5.4	5.4	0.0	
	20歳代	84	54.8	22.6	36.9	17.9	26.2	29.8	11.9	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0	
	30歳代	102	38.2	34.3	33.3	13.7	26.5	30.4	41.2	0.0	2.0	0.0	1.0	0.0	
	40歳代	165	49.1	35.8	36.4	10.9	24.8	32.1	18.2	2.4	1.2	1.2	3.0	0.6	
	50歳代	151	57.0	48.3	37.7	16.6	11.3	18.5	9.9	2.0	1.3	0.7	3.3	0.7	
	60歳代	112	56.3	55.4	27.7	24.1	19.6	8.9	8.9	5.4	0.0	0.9	2.7	3.6	
	70歳代	190	62.1	71.6	23.2	32.6	15.8	0.5	3.2	5.3	1.6	1.1	2.1	5.3	
	80歳代以上	64	64.1	62.5	18.8	21.9	6.3	1.6	4.7	1.6	0.0	3.1	4.7	10.9	
性別・年代別	男性	10歳代	19	31.6	26.3	36.8	15.8	42.1	26.3	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0
		20歳代	25	60.0	32.0	28.0	28.0	20.0	28.0	4.0	8.0	4.0	0.0	0.0	0.0
		30歳代	41	58.5	36.6	22.0	24.4	26.8	39.0	24.4	0.0	4.9	0.0	2.4	0.0
		40歳代	55	45.5	29.1	41.8	9.1	25.5	40.0	9.1	7.3	3.6	0.0	1.8	0.0
		50歳代	52	51.9	44.2	44.2	15.4	9.6	23.1	7.7	1.9	3.8	0.0	1.9	0.0
		60歳代	50	52.0	52.0	36.0	18.0	22.0	12.0	2.0	10.0	0.0	0.0	4.0	4.0
		70歳代	72	58.3	73.6	31.9	31.9	20.8	1.4	1.4	5.6	1.4	0.0	1.4	5.6
		80歳代以上	31	77.4	58.1	29.0	22.6	9.7	0.0	9.7	3.2	0.0	6.5	0.0	3.2
	女性	10歳代	18	55.6	16.7	33.3	16.7	27.8	33.3	11.1	0.0	5.6	5.6	11.1	0.0
		20歳代	59	52.5	18.6	40.7	13.6	28.8	30.5	15.3	1.7	3.4	0.0	0.0	0.0
		30歳代	61	24.6	32.8	41.0	6.6	26.2	24.6	52.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		40歳代	110	50.9	39.1	33.6	11.8	24.5	28.2	22.7	0.0	0.0	1.8	3.6	0.9
		50歳代	98	59.2	50.0	34.7	16.3	12.2	16.3	11.2	2.0	0.0	1.0	4.1	1.0
		60歳代	62	59.7	58.1	21.0	29.0	17.7	6.5	14.5	1.6	0.0	1.6	1.6	3.2
		70歳代	118	64.4	70.3	17.8	33.1	12.7	0.0	4.2	5.1	1.7	1.7	2.5	5.1
		80歳代以上	33	51.5	66.7	9.1	21.2	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	18.2

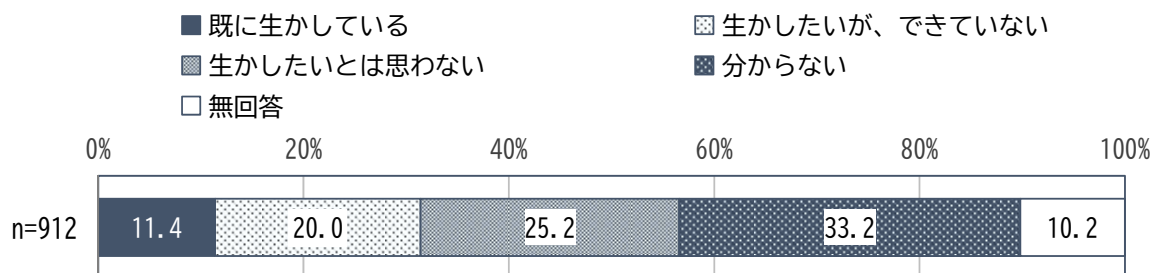
性別にみると、男女ともに回答割合の多い方から「生きがいをつくり、人生をより豊かにしたい」、「自分の健康を維持・増進したい」、「知識・教養・技術を身に付けたい」の順となっています。

年代別にみると、「10～40歳代」で「仕事や就職に生かしたい」(29%以上)、「30歳代」で「日常生活・子育てに生かしたい」(41.2%)、「70歳代以上」で「自分の健康を維持・増進したい」(62%以上)が他の年齢層よりも多くなっています。

性別年代別にみると、男性は「10歳代」と「70歳代」を除き「生きがいをつくり、人生をより豊かにしたい」が、「10歳代」は「自分自身の生き方やものの考え方を变えたい」が、「70歳代」は「自分の健康を維持・増進したい」が最も多くなっています。女性では「10～20歳代」「40～60歳代」で「生きがいをつくり、人生をより豊かにしたい」、「30歳代」で「日常生活・子育てに生かしたい」、「70歳代以上」で「自分の健康を維持・増進したい」が最も多くなっています。

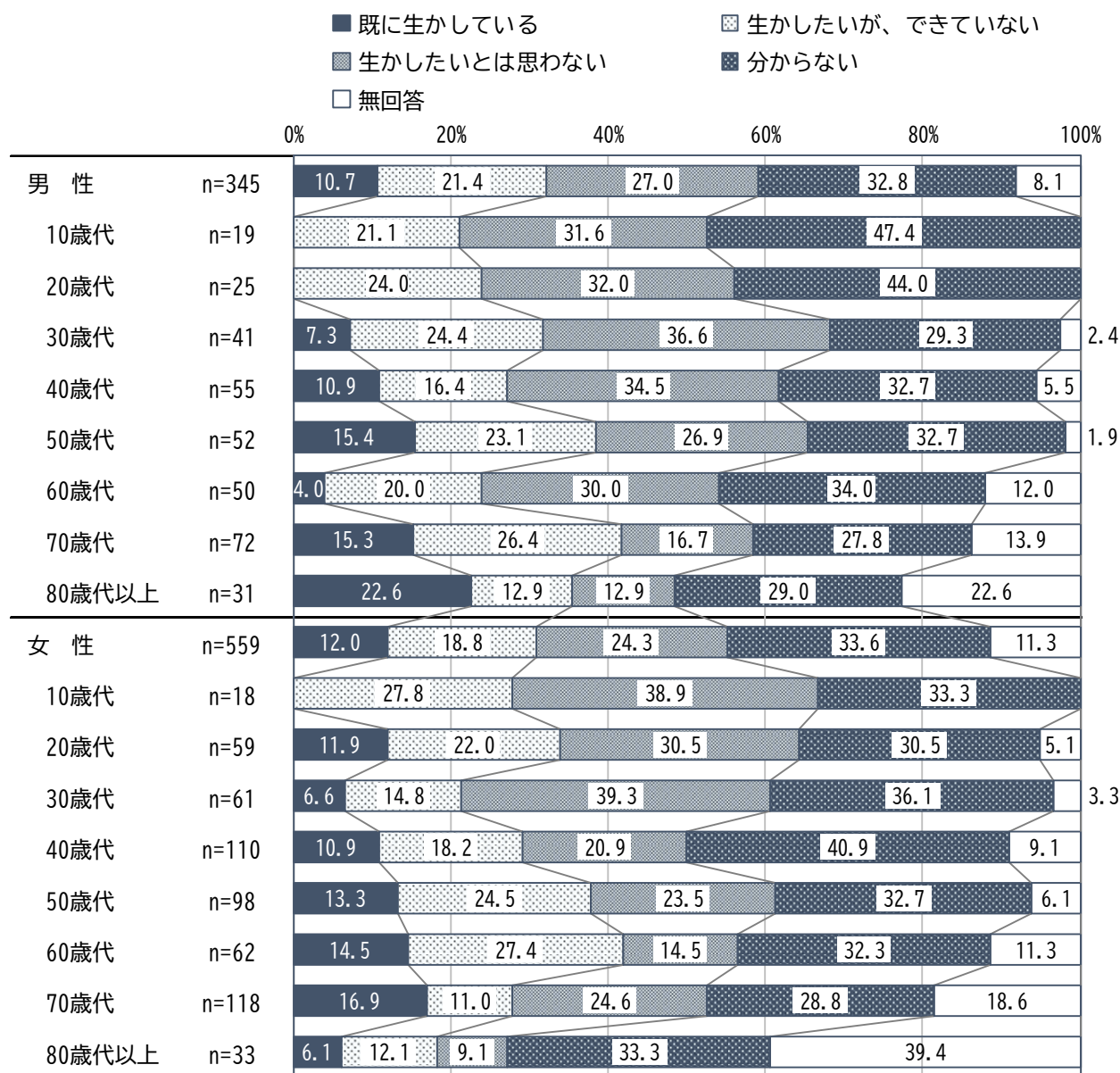
問2 あなたは、学習活動を通じて身に付けた知識・技能や経験を、地域でのまちづくりや地域の活性化のための活動に生かしていますか。(あてはまるものに○印)

図表 19 知識・技能や経験を地域の活動に生かしているか



学習活動を通じて身に付けた知識・技能や経験を、地域でのまちづくりや活性化のための活動に生かしているかについては、「分からない」(33.2%)が最も多く、次いで「生かしたいとは思わない」(25.2%)、「生かしたいが、できていない」(20.0%)となっています。

図表 20 知識・技能や経験を地域の活動に生かしているか <性別・年代別>



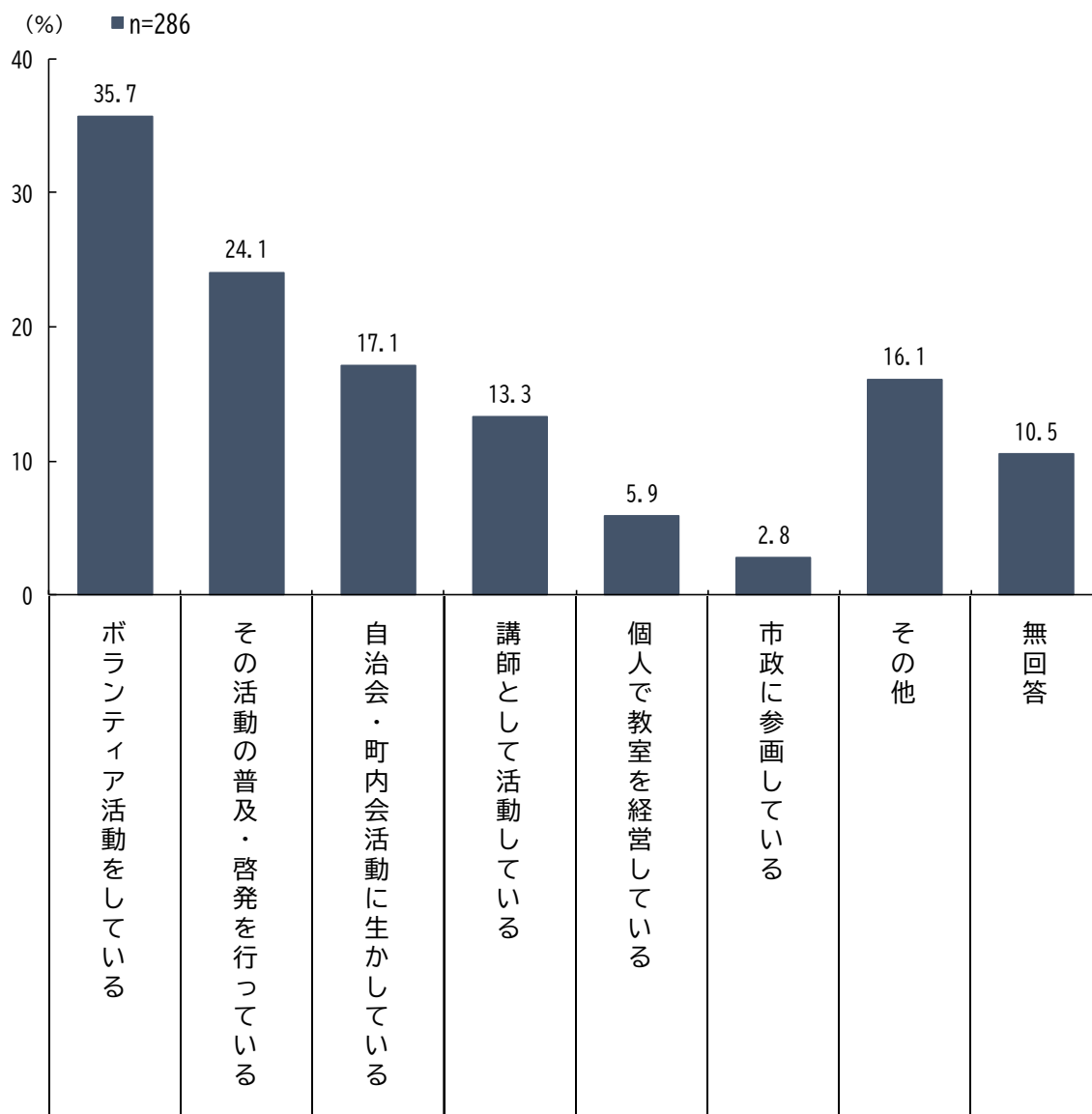
性別にみると、男女ともに回答割合の多い方から「分からない」、「生かしたいとは思わない」、「生かしたいが、できていない」の順となっています。

性別年代別にみると、男性は「30～40歳代」を除き「分からない」が、「30～40歳代」は「生かしたいとは思わない」が最も多くなっています。女性では「10～30歳代」で「生かしたいとは思わない」、「40歳代以上」で「分からない」が最も多くなっています。

問2で1、2と答えられた方にお聞きします。

問2-1 あなたは、学習活動を通じて身に付けた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。または、生かしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

図表 21 知識・技能や経験をどのように生かしているか



学習活動を通じて身に付けた知識・技能や経験を、どのように生かしているか、または生かしたいかについては、「ボランティア活動をしている」(35.7%)が最も多く、次いで「その活動の普及・啓発を行っている」(24.1%)、「自治会・町内会活動に生かしている」(17.1%)となっています。

図表 22 知識・技能や経験をどのように生かしているか <性別・年代別>

単位：%

		有効回答数 (件)	ボランティア活動 をしている	その活動の普及・ 啓発を行っている	自治会・町内会活 動に生かしている	講師として活動し ている	個人で教室を経営 している	市政に参画してい る	その他	無回答	
性別	男性	111	32.4	25.2	27.9	13.5	3.6	4.5	17.1	10.8	
	女性	172	37.8	23.3	10.5	13.4	7.6	1.7	15.1	9.9	
年代別	10歳代	9	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	33.3	
	20歳代	26	46.2	34.6	23.1	11.5	7.7	3.8	7.7	0.0	
	30歳代	26	23.1	23.1	7.7	11.5	11.5	7.7	30.8	3.8	
	40歳代	47	29.8	25.5	4.3	25.5	8.5	4.3	23.4	2.1	
	50歳代	57	31.6	28.1	15.8	14.0	3.5	3.5	12.3	14.0	
	60歳代	38	34.2	15.8	10.5	5.3	7.9	0.0	23.7	15.8	
	70歳代	63	49.2	20.6	30.2	7.9	3.2	1.6	11.1	9.5	
	80歳代以上	17	29.4	23.5	35.3	23.5	0.0	0.0	5.9	23.5	
性別・年代別	男性	10歳代	4	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0
		20歳代	6	16.7	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30歳代	13	23.1	15.4	7.7	7.7	0.0	15.4	23.1	7.7
		40歳代	15	20.0	26.7	0.0	26.7	6.7	13.3	40.0	6.7
		50歳代	20	30.0	30.0	30.0	15.0	5.0	5.0	10.0	20.0
		60歳代	12	33.3	8.3	16.7	8.3	8.3	0.0	33.3	16.7
		70歳代	30	46.7	26.7	46.7	6.7	0.0	0.0	13.3	6.7
		80歳代以上	11	45.5	27.3	45.5	27.3	0.0	0.0	0.0	9.1
	女性	10歳代	5	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
		20歳代	20	55.0	30.0	15.0	15.0	10.0	5.0	10.0	0.0
		30歳代	13	23.1	30.8	7.7	15.4	23.1	0.0	38.5	0.0
		40歳代	32	34.4	25.0	6.3	25.0	9.4	0.0	15.6	0.0
		50歳代	37	32.4	27.0	8.1	13.5	2.7	2.7	13.5	10.8
		60歳代	26	34.6	19.2	7.7	3.8	7.7	0.0	19.2	15.4
		70歳代	33	51.5	15.2	15.2	9.1	6.1	3.0	9.1	12.1
		80歳代以上	6	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	50.0

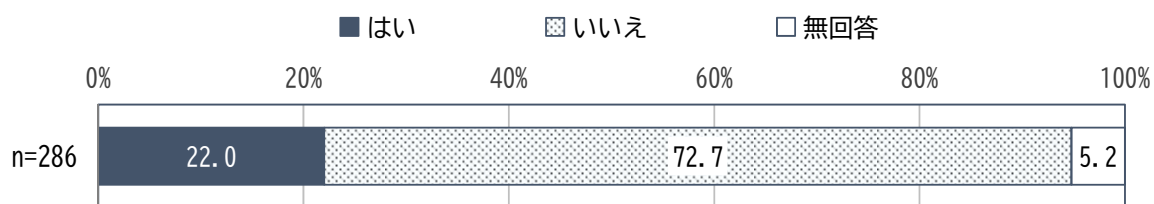
性別にみると、男女ともに「ボランティア活動をしている」が最も多くなっています。「自治会・町内会活動に生かしている」は男性（27.9%）のほうが女性（10.5%）よりも多くなっています。

年代別にみると、「20歳代」「70歳代」で「ボランティア活動をしている」（46%以上）、「40歳代」「80歳代以上」で「講師として活動している」（23%以上）、「70歳代以上」で「自治会・町内会活動に生かしている」（30%以上）が他の年齢層よりも多くなっています。

性別年代別にみると、男性は「70歳代以上」で「自治会・町内会活動に生かしている」が他の年齢層よりも多くなっています。女性は「20歳代」「70歳代」で「ボランティア活動をしている」が他の年齢層よりも多くなっています。

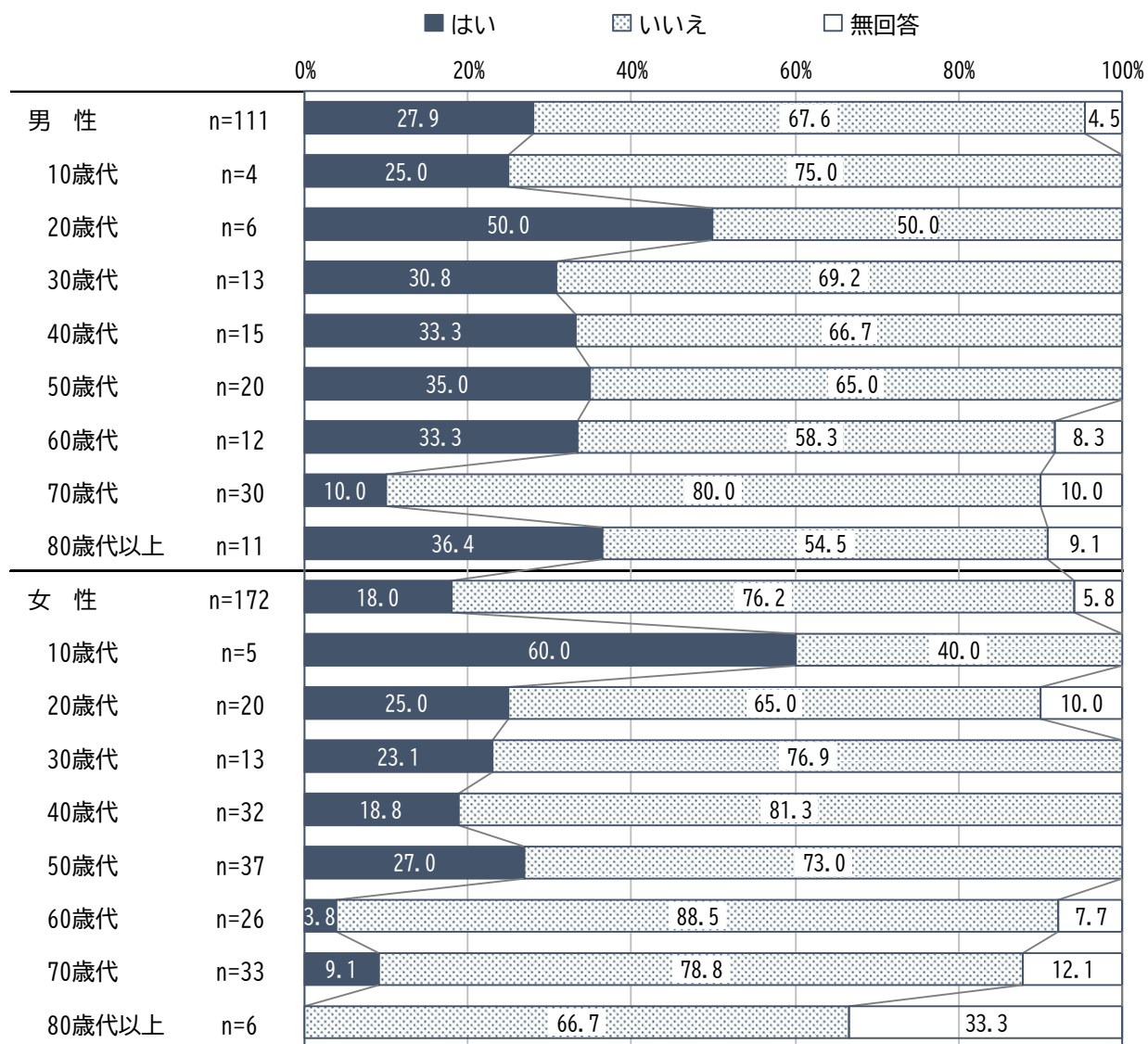
問2-2 あなたは、活躍の場として、自らが運営者となって講座の企画・運営に携わり
たいと思いますか。(あてはまるものに○印)

図表 23 自らが運営者となりたいか



活躍の場として、自らが運営者となって講座の企画・運営に携わりたいと思うかについては、「はい」が22.0%、「いいえ」が72.7%となっています。

図表 24 自らが運営者となりたいか <性別・年代別>

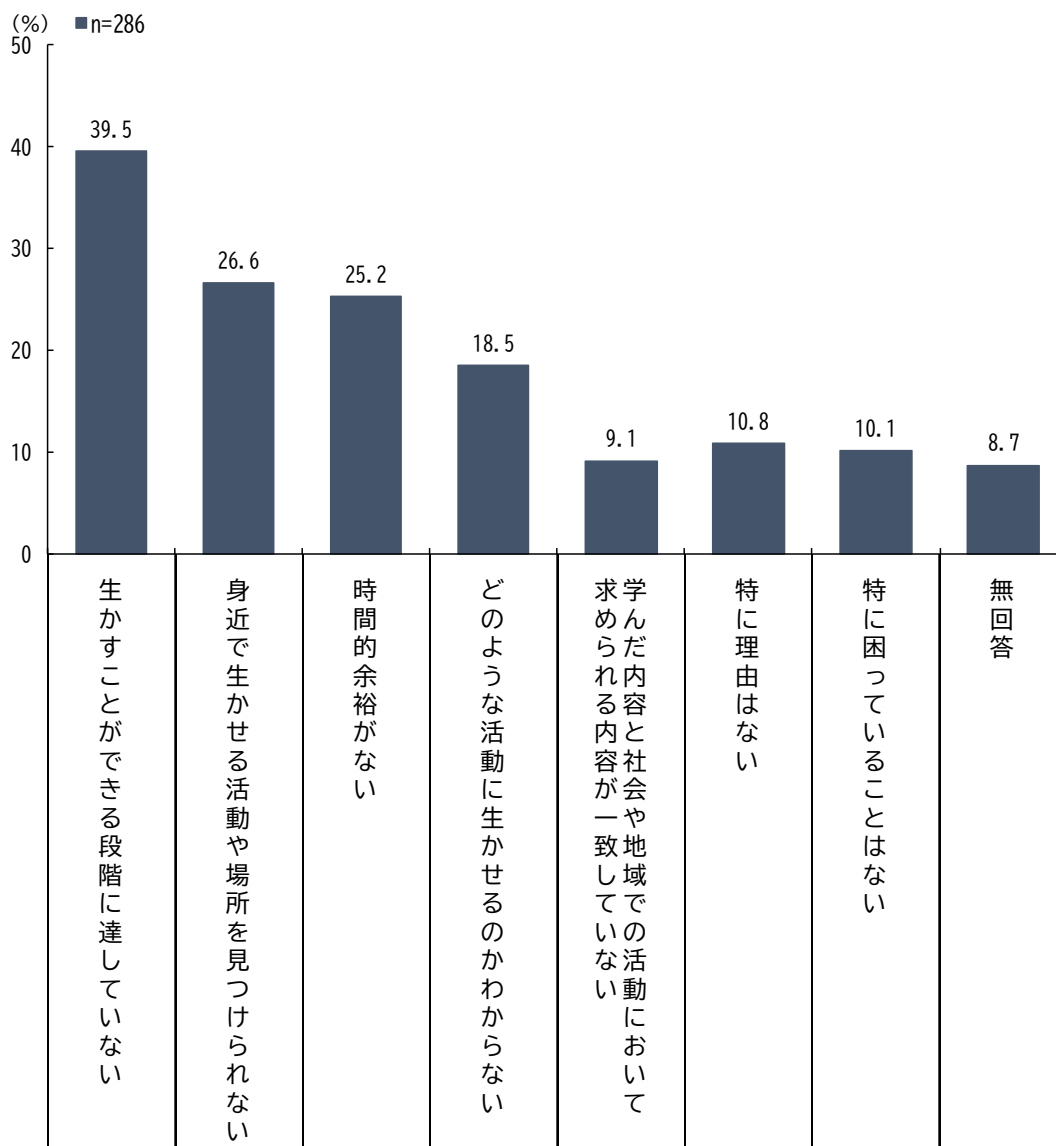


性別にみると、「はい」は男性（27.9%）のほうが女性（18.0%）よりも多くなっています。

性別年代別にみると、男性は「20歳代」で「はい」と「いいえ」が同率となっており、その他の年代は「いいえ」が多くなっています。女性は「10歳代」を除き「いいえ」が、「10歳代」は「はい」が多くなっています。

問2-3 あなたが、学習活動を通じて身に付けた知識・技能や経験を生かすにあたって、困っている点や、生かしたいのにそれができていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

図表 25 生かすのに困っている点や、生かしたいのにできない理由



学習活動を通じて身に付けた知識・技能や経験を生かすにあたって、困っている点や、生かしたいのにそれができていない理由については、「生かすことができる段階に達していない」(39.5%)が最も多く、次いで「身近で生かせる活動や場所を見つけられない」(26.6%)、「時間的余裕がない」(25.2%)となっています。

図表 26 生かすのに困っている点や、生かしたいのにできない理由 <性別・年代別>

単位：％

		有効回答数 (件)	生かすことが できない 段階に 達して いない	身近で生か せる活動 や場所 を見つ けられ ない	時間 的余 裕が ない	ど のよ うな 活動 に生 か せ る の か わ か ら な い	学 活 内 容 が 一 致 し て い な い	特 に 理 由 は な い	特 に 困 っ て い る こ と は な い	無 回 答	
性別	男性	111	39.6	29.7	28.8	19.8	13.5	8.1	9.9	7.2	
	女性	172	39.5	25.0	23.3	18.0	5.8	12.2	10.5	9.3	
年代別	10歳代	9	55.6	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20歳代	26	50.0	38.5	15.4	42.3	11.5	7.7	0.0	7.7	
	30歳代	26	61.5	38.5	38.5	26.9	7.7	7.7	0.0	0.0	
	40歳代	47	38.3	29.8	40.4	14.9	6.4	6.4	14.9	2.1	
	50歳代	57	45.6	21.1	45.6	22.8	8.8	5.3	7.0	5.3	
	60歳代	38	28.9	23.7	10.5	13.2	13.2	13.2	21.1	7.9	
	70歳代	63	28.6	19.0	7.9	11.1	6.3	19.0	15.9	17.5	
	80歳代以上	17	29.4	17.6	5.9	0.0	17.6	17.6	0.0	23.5	
性別・年代別	男性	10歳代	4	25.0	75.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20歳代	6	100.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
		30歳代	13	46.2	46.2	38.5	30.8	7.7	0.0	0.0	0.0
		40歳代	15	26.7	40.0	66.7	20.0	6.7	0.0	13.3	0.0
		50歳代	20	45.0	25.0	50.0	20.0	15.0	5.0	5.0	10.0
		60歳代	12	25.0	50.0	8.3	33.3	25.0	8.3	8.3	8.3
		70歳代	30	36.7	10.0	10.0	13.3	13.3	23.3	23.3	6.7
		80歳代以上	11	36.4	18.2	9.1	0.0	27.3	0.0	0.0	27.3
	女性	10歳代	5	80.0	60.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20歳代	20	35.0	40.0	20.0	45.0	15.0	10.0	0.0	10.0
		30歳代	13	76.9	30.8	38.5	23.1	7.7	15.4	0.0	0.0
		40歳代	32	43.8	25.0	28.1	12.5	6.3	9.4	15.6	3.1
		50歳代	37	45.9	18.9	43.2	24.3	5.4	5.4	8.1	2.7
		60歳代	26	30.8	11.5	11.5	3.8	7.7	15.4	26.9	7.7
		70歳代	33	21.2	27.3	6.1	9.1	0.0	15.2	9.1	27.3
		80歳代以上	6	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	16.7

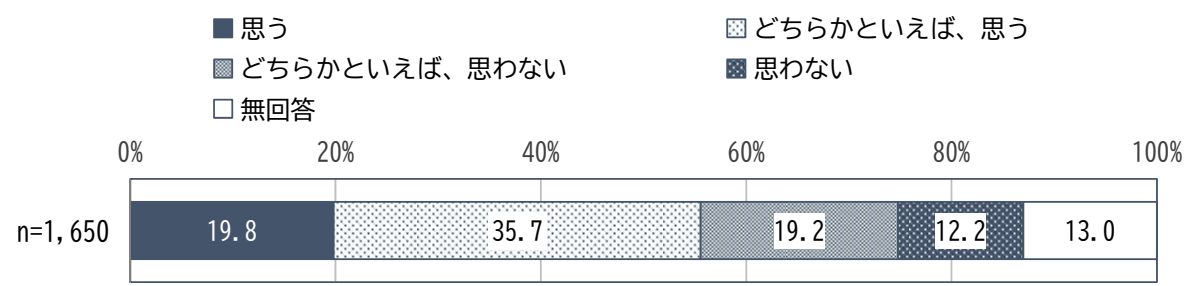
性別にみると、男女ともに回答割合の多い方から「生かすことができない段階に達していない」、「身近で生かせる活動や場所を見つけられない」、「時間的余裕がない」の順となっています。

年代別にみると、「10～30歳代」で「生かすことができない段階に達していない」（50%以上）、「身近で生かせる活動や場所を見つけられない」（38%以上）、「どのような活動に生かせるのかわからない」（26%以上）が他の年齢層よりも多くなっています。「30～50歳代」では「時間的余裕がない」（38%以上）が他の年齢層よりも多くなっています。

性別年代別にみると、男性は「10歳代」「30歳代」「60歳代」で「身近で生かせる活動や場所を見つけられない」、「20～30歳代」「70歳代以上」で「生かすことができない段階に達していない」、「40～50歳代」で「時間的余裕がない」が最も多くなっています。女性は「10歳代」「30～60歳代」で「生かすことができない段階に達していない」、「20歳代」で「どのような活動に生かせるのかわからない」、「70歳代」で「身近で生かせる活動や場所を見つけられない」、「80歳代以上」で「特に理由はない」が最も多くなっています。

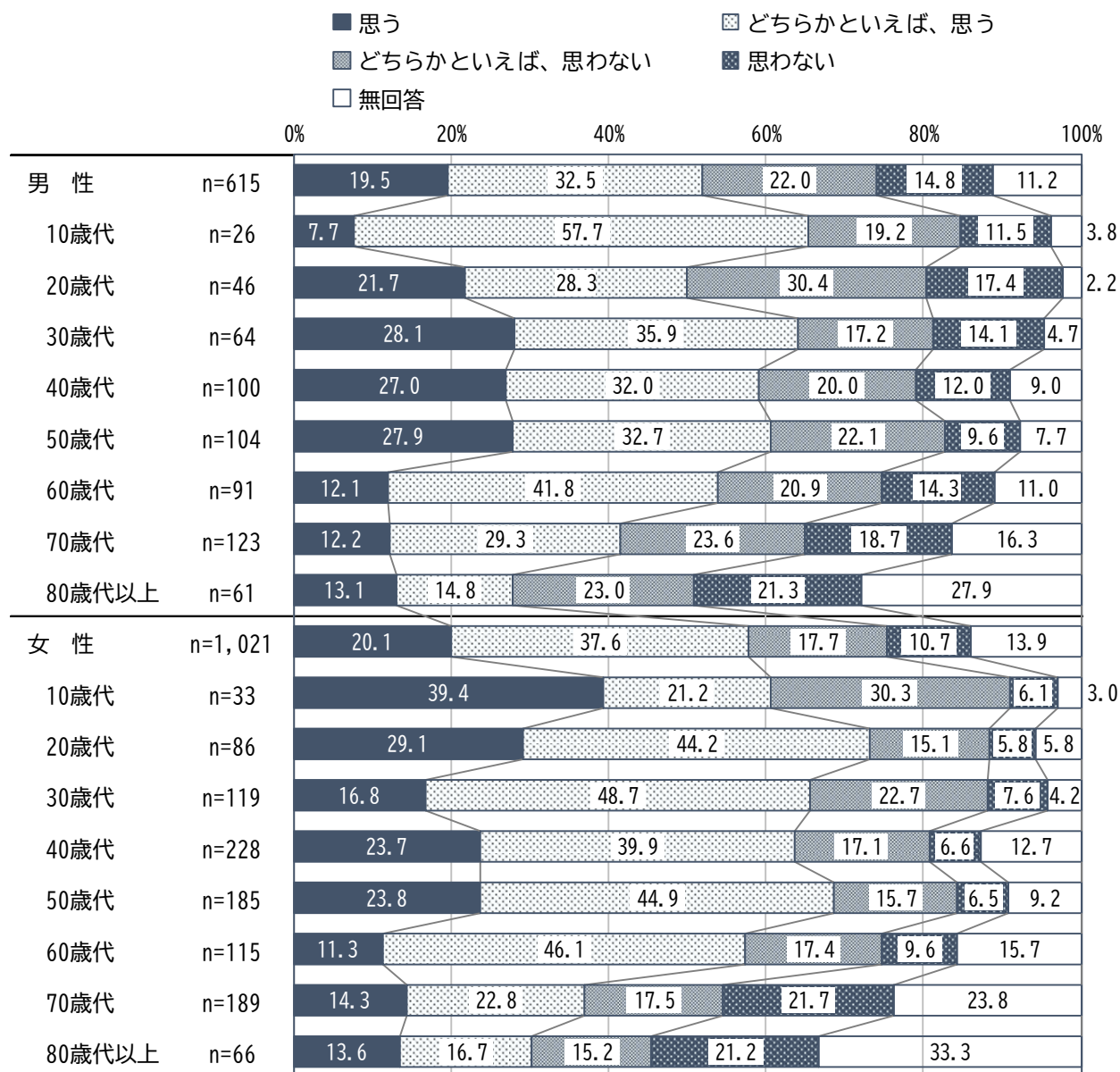
問3 あなたは、今後「生涯学習」に取り組みたいと思いますか。(あてはまるものに○印)

図表 27 今後「生涯学習」に取り組みたいか



今後「生涯学習」に取り組みたいと思うかについては、「どちらかといえば、思う」(35.7%)が最も多く、次いで「思う」(19.8%)、「どちらかといえば、思わない」(19.2%)となっています。

図表 28 今後「生涯学習」に取り組みたいか <性別・年代別>



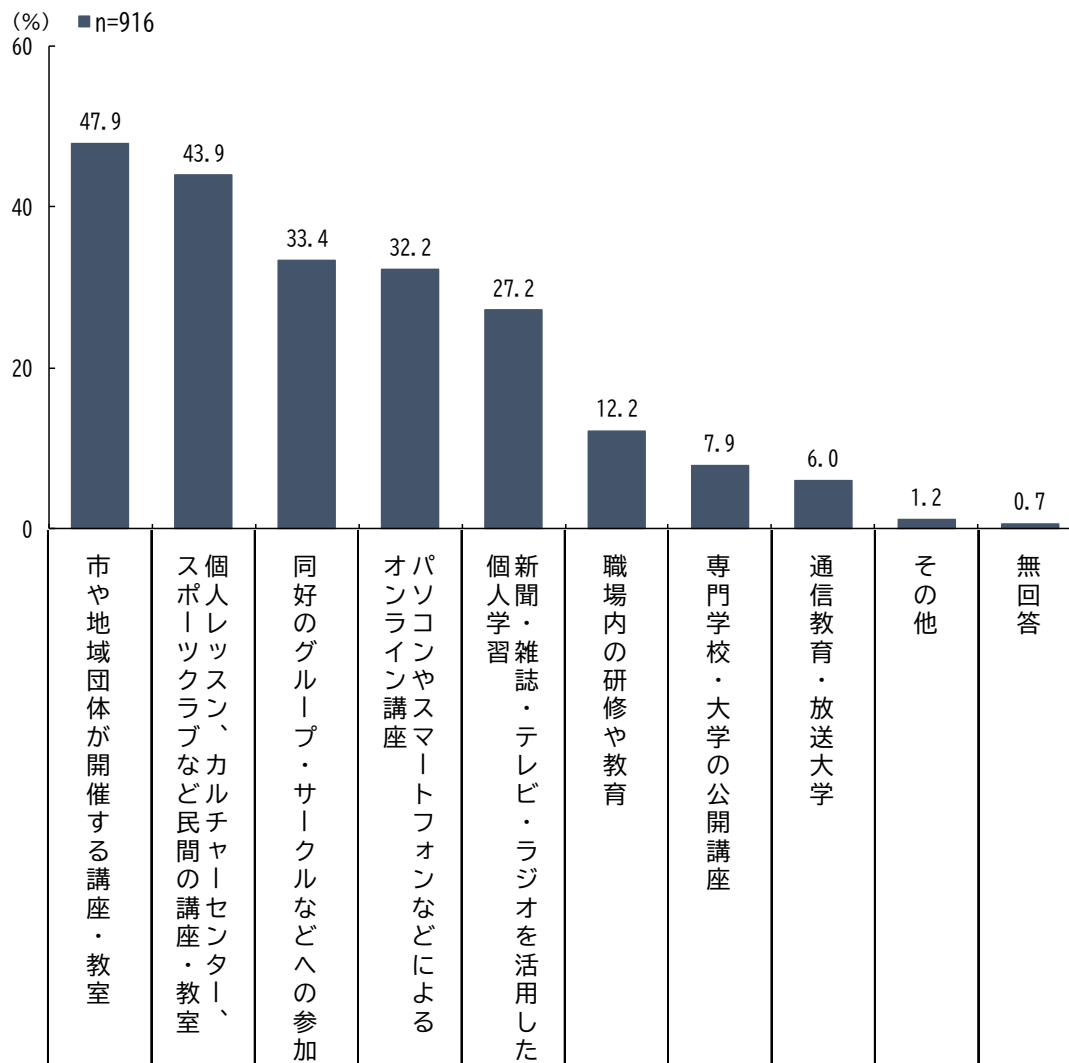
性別にみると、男女ともに「どちらかといえば、思う」が最も多くなっています。次いで、男性では「どちらかといえば、思わない」、女性では「思う」となっています。

性別年代別にみると、「思う」と「どちらかといえば、思う」を合わせた“思う”では、「10～60歳代」で5割を超えていますが、「70歳代以上」では約3～4割となっています。

問3で1、2と答えられた方にお聞きします。

問3-1 あなたは、どのような手段で生涯学習に取り組みたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

図表 29 どのような手段で取り組みたいか



どのような手段で生涯学習に取り組みたいと思うかについては、「市や地域団体が開催する講座・教室」(47.9%)が最も多く、次いで「個人レッスン、カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座・教室」(43.9%)、「同好のグループ・サークルなどへの参加」(33.4%)となっています。

図表 30 どのような手段で取り組みたいか <性別・年代別>

単位：%

		有効回答数 (件)	市や地域 ・教室 団体が開催する講 座	個人レ ッスン、カル チャーセン ター、スポ ーツクラ ブなど民間 の講座・教室	同好の グルー プ・サー クルなど への参加	パソ コンや スマ ートフ ォン などによる オン ライ ン講 座	新 聞・雑 誌・テ レビ ・ラ ジ オを 活用 した 個人 学習	職 場内 の研 修や 教育	専 門学 校・大 学の 公開 講座	通 信教 育・放 送大 学	そ の他	無 回 答	
性別	男性	320	39.4	30.9	37.2	37.5	31.9	14.7	10.9	5.0	1.9	0.6	
	女性	589	52.6	50.6	31.4	29.7	24.8	10.9	6.1	6.6	0.8	0.7	
年代別	10歳代	37	21.6	35.1	40.5	27.0	32.4	0.0	13.5	2.7	0.0	0.0	
	20歳代	86	31.4	40.7	29.1	51.2	33.7	25.6	3.5	4.7	2.3	0.0	
	30歳代	119	40.3	51.3	25.2	42.0	33.6	24.4	5.9	5.0	1.7	0.0	
	40歳代	204	47.1	53.9	25.5	35.3	27.5	18.1	7.8	11.8	0.5	0.0	
	50歳代	191	56.0	48.7	31.9	36.6	24.1	8.4	12.0	6.8	1.6	0.0	
	60歳代	115	56.5	38.3	33.0	27.0	27.8	5.2	8.7	4.3	0.9	0.9	
	70歳代	121	56.2	25.6	52.9	11.6	20.7	0.8	5.0	1.7	0.8	3.3	
	80歳代以上	37	48.6	29.7	51.4	10.8	21.6	0.0	2.7	0.0	2.7	2.7	
性別・年代別	男性	10歳代	17	17.6	23.5	52.9	17.6	35.3	0.0	17.6	0.0	0.0	0.0
		20歳代	23	30.4	26.1	43.5	47.8	17.4	39.1	8.7	0.0	4.3	0.0
		30歳代	41	24.4	39.0	34.1	51.2	39.0	34.1	4.9	0.0	4.9	0.0
		40歳代	59	28.8	35.6	28.8	42.4	37.3	25.4	11.9	11.9	0.0	0.0
		50歳代	63	49.2	30.2	36.5	52.4	30.2	4.8	14.3	6.3	3.2	0.0
		60歳代	49	46.9	30.6	22.4	28.6	38.8	10.2	14.3	6.1	0.0	2.0
		70歳代	51	51.0	27.5	49.0	17.6	19.6	2.0	7.8	3.9	2.0	2.0
		80歳代以上	17	52.9	23.5	58.8	23.5	35.3	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0
	女性	10歳代	20	25.0	45.0	30.0	35.0	30.0	0.0	10.0	5.0	0.0	0.0
		20歳代	63	31.7	46.0	23.8	52.4	39.7	20.6	1.6	6.3	1.6	0.0
		30歳代	78	48.7	57.7	20.5	37.2	30.8	19.2	6.4	7.7	0.0	0.0
		40歳代	145	54.5	61.4	24.1	32.4	23.4	15.2	6.2	11.7	0.7	0.0
		50歳代	127	59.1	57.5	29.9	29.1	21.3	10.2	11.0	7.1	0.8	0.0
		60歳代	66	63.6	43.9	40.9	25.8	19.7	1.5	4.5	3.0	1.5	0.0
		70歳代	70	60.0	24.3	55.7	7.1	21.4	0.0	2.9	0.0	0.0	4.3
		80歳代以上	20	45.0	35.0	45.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0

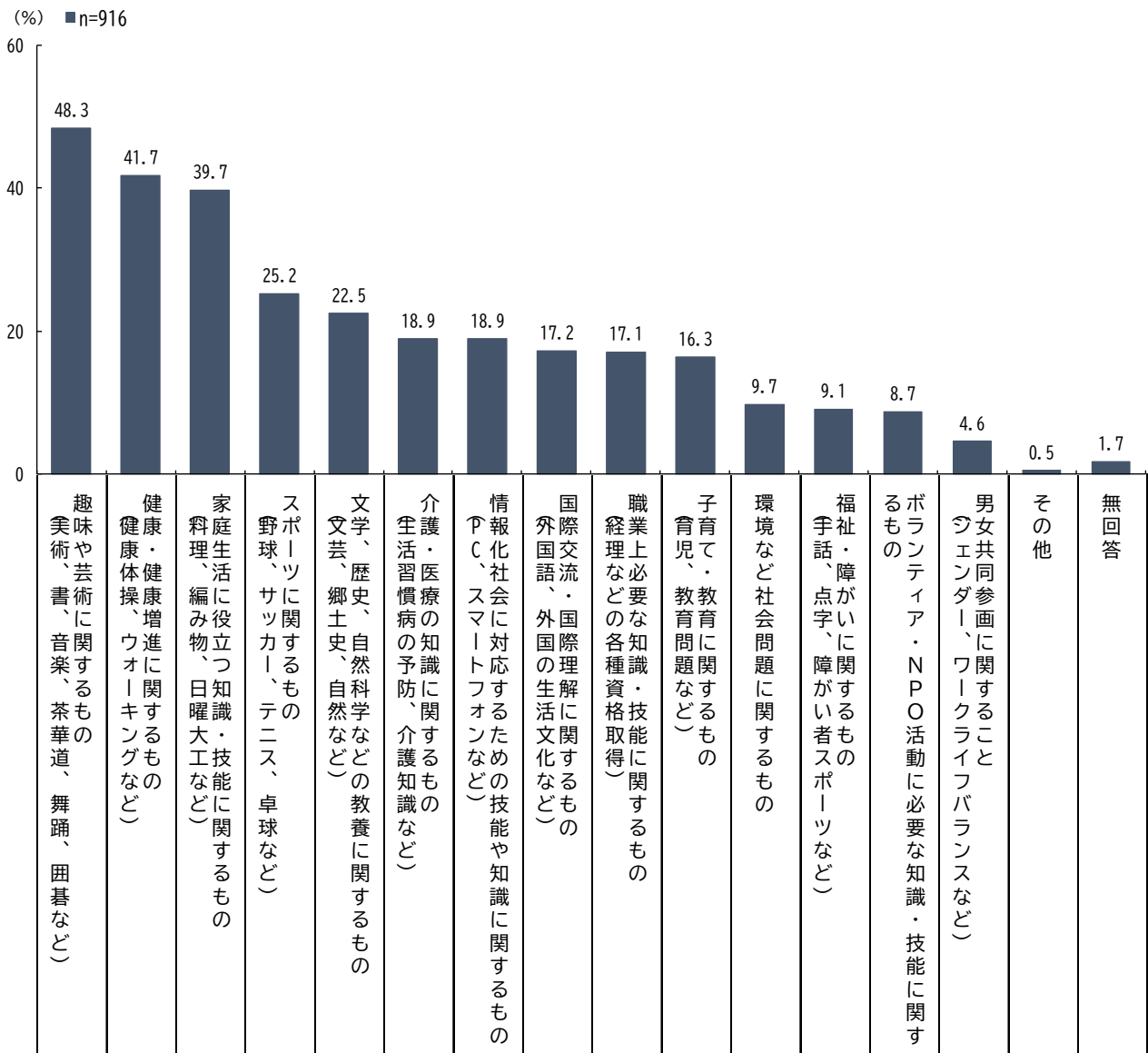
性別にみると、男女ともに「市や地域団体が開催する講座・教室」が最も多くなっています。「市や地域団体が開催する講座・教室」と「個人レッスン、カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座・教室」は女性のほうが男性よりも多くなっています。

年代別にみると、「20～30歳代」で「パソコンやスマートフォンなどによるオンライン講座」(42%以上)と「職場内の研修や教育」(24%以上)、「50～70歳代」で「市や地域団体が開催する講座・教室」(56%以上)、「70歳代以上」で「同好のグループ・サークルなどへの参加」(51%以上)が他の年齢層よりも多くなっています。

性別年代別にみると、男性は「10歳代」「80歳代以上」で「同好のグループ・サークルなどへの参加」、「20～50歳代」で「パソコンやスマートフォンなどによるオンライン講座」、「60～70歳代」で「市や地域団体が開催する講座・教室」が多くなっています。女性は「10歳代」「30～40歳代」で「個人レッスン、カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座・教室」、「20歳代」で「パソコンやスマートフォンなどによるオンライン講座」、「50歳代以上」で「市や地域団体が開催する講座・教室」が多くなっています。

問3-2 あなたは、どのような内容の学習の機会を増やしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

図表 31 機会を増やしたい学習の内容



どのような内容の学習の機会を増やしたいと思うかについては、「趣味や芸術に関するもの（美術、書、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など）」（48.3%）が最も多く、次いで「健康・健康増進に関するもの（健康体操、ウォーキングなど）」（41.7%）、「家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの（料理、編み物、日曜大工など）」（39.7%）となっています。

図表 32 機会を増やしたい学習の内容 <性別・年代別>

単位：%

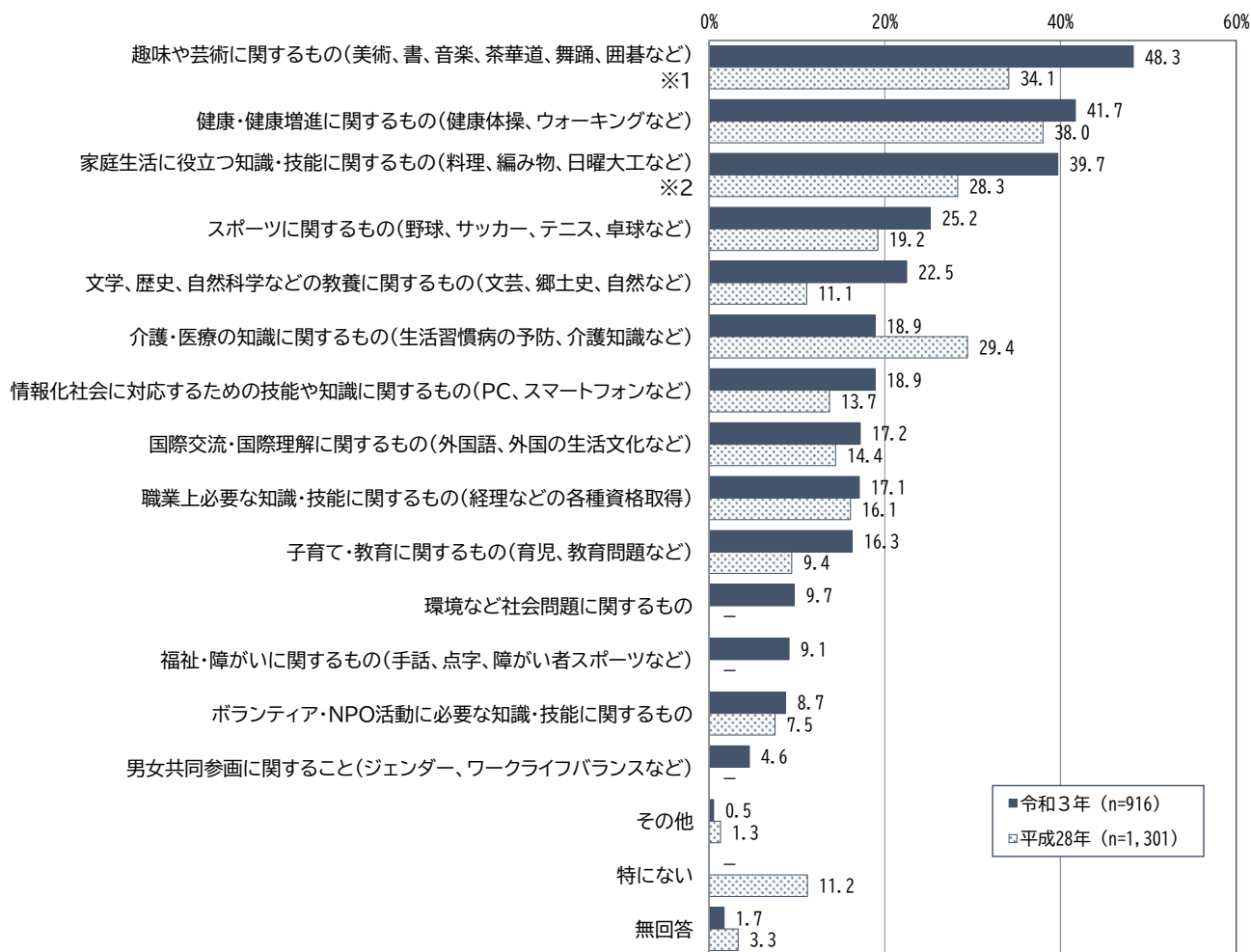
性別	有効回答数(件)	趣味や芸術に関するもの (美術、書、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など)	健康・健康増進に関するもの (健康体操、ウォーキングなど)	家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの (料理、編み物、日曜大工など)	スポーツに関するもの (野球、サッカー、テニス、卓球など)	文学、歴史、自然科学などの教養に関するもの (文芸、郷土史、自然など)	介護・医療の知識に関するもの (生活習慣病の予防、介護知識など)	情報化社会に対応するための技能や知識に関するもの (PC、スマートフォンなど)	国際交流・国際理解に関するもの (外国語、外国の生活文化など)	職業上必要な知識・技能に関するもの (経理などの各種資格取得)	子育て・教育に関するもの (育児、教育問題など)	環境など社会問題に関するもの	福祉・障がいに関するもの (手話、点字、障がい者スポーツなど)	ボランティア・NPO活動に必要な知識・技能に関するもの	男女共同参画に関するもの (ジェンダー、ワークライフバランスなど)	その他	無回答		
		男性	320	45.9	37.5	25.3	32.8	32.5	15.0	23.4	13.8	20.0	11.3	13.8	7.5	9.7	3.1	0.6	1.9
女性	589	49.4	43.8	47.4	20.9	16.8	20.9	16.5	18.8	15.8	19.0	7.5	9.8	8.1	5.3	0.5	1.7		
年代別	10歳代	37	51.4	16.2	21.6	43.2	27.0	5.4	29.7	27.0	18.9	13.5	10.8	13.5	10.8	24.3	0.0	0.0	
	20歳代	86	43.0	26.7	44.2	29.1	23.3	25.6	22.1	24.4	27.9	26.7	10.5	15.1	10.5	7.0	0.0	0.0	
	30歳代	119	49.6	40.3	47.1	33.6	13.4	17.6	18.5	20.2	35.3	43.7	8.4	13.4	5.9	6.7	0.8	1.7	
	40歳代	204	39.2	37.7	45.1	31.9	18.6	17.6	19.1	22.5	21.6	5.9	8.3	7.4	3.4	0.5	0.5		
	50歳代	191	57.1	42.9	42.4	22.5	24.6	17.8	16.2	18.8	13.1	4.7	7.3	8.4	7.9	2.6	1.0	2.1	
	60歳代	115	45.2	52.2	41.7	20.0	24.3	21.7	21.7	10.4	10.4	8.7	13.9	7.8	11.3	2.6	0.0	0.9	
	70歳代	121	55.4	51.2	26.4	11.6	28.1	19.0	14.9	3.3	0.8	1.7	14.0	3.3	11.6	1.7	0.8	4.1	
	80歳代以上	37	43.2	56.8	16.2	5.4	27.0	21.6	18.9	8.1	0.0	8.1	16.2	5.4	8.1	2.7	0.0	8.1	
性別・年代別	男性	10歳代	17	58.8	17.6	5.9	52.9	35.3	0.0	29.4	5.9	17.6	17.6	5.9	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0
		20歳代	23	34.8	13.0	30.4	47.8	0.0	30.4	43.5	26.1	34.8	13.0	17.4	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0
		30歳代	41	46.3	41.5	31.7	48.8	24.4	24.4	29.3	24.4	43.9	36.6	17.1	17.1	12.2	7.3	0.0	2.4
		40歳代	59	33.9	30.5	30.5	44.1	32.2	15.3	23.7	16.9	25.4	11.9	10.2	5.1	5.1	3.4	1.7	0.0
		50歳代	63	50.8	34.9	27.0	31.7	39.7	11.1	15.9	14.3	19.0	3.2	6.3	7.9	6.3	0.0	1.6	3.2
		60歳代	49	40.8	46.9	22.4	22.4	38.8	12.2	20.4	8.2	14.3	8.2	18.4	10.2	16.3	2.0	0.0	2.0
		70歳代	51	58.8	47.1	25.5	13.7	35.3	11.8	19.6	2.0	2.0	0.0	15.7	3.9	13.7	2.0	0.0	3.9
		80歳代以上	17	47.1	58.8	5.9	5.9	41.2	17.6	23.5	17.6	0.0	11.8	29.4	11.8	11.8	5.9	0.0	0.0
	女性	10歳代	20	45.0	15.0	35.0	35.0	20.0	10.0	30.0	45.0	20.0	10.0	15.0	25.0	20.0	35.0	0.0	0.0
		20歳代	63	46.0	31.7	49.2	22.2	31.7	23.8	14.3	23.8	25.4	31.7	7.9	20.6	11.1	9.5	0.0	0.0
		30歳代	78	51.3	39.7	55.1	25.6	7.7	14.1	12.8	17.9	30.8	47.4	3.8	11.5	2.6	6.4	1.3	1.3
		40歳代	145	41.4	40.7	51.0	26.9	13.1	18.6	17.2	24.8	21.4	25.5	4.1	9.7	8.3	3.4	0.0	0.7
		50歳代	127	59.8	46.5	49.6	18.1	17.3	21.3	16.5	20.5	10.2	5.5	7.9	8.7	7.9	3.9	0.8	1.6
		60歳代	66	48.5	56.1	56.1	18.2	13.6	28.8	22.7	12.1	7.6	9.1	10.6	6.1	7.6	3.0	0.0	0.0
		70歳代	70	52.9	54.3	27.1	10.0	22.9	24.3	11.4	4.3	0.0	2.9	12.9	2.9	10.0	1.4	1.4	4.3
		80歳代以上	20	40.0	55.0	25.0	5.0	15.0	25.0	15.0	0.0	0.0	5.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	15.0

性別にみると、男女ともに「趣味や芸術に関するもの（美術、書、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など）」が最も多くなっています。「文学、歴史、自然科学などの教養に関するもの（文芸、郷土史、自然など）」は男性（32.5%）のほうが女性（16.8%）よりも多くなっています。反対に「家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの（料理、編み物、日曜大工など）」では女性（47.4%）のほうが男性（25.3%）よりも多くなっています。

年代別にみると、「20～30歳代」で「子育て・教育に関するもの（育児、教育問題など）」（26%以上）と「職業上必要な知識・技能に関するもの（経理などの各種資格取得）」（27%以上）、「60歳代以上」で「健康・健康増進に関するもの（健康体操、ウォーキングなど）」（51%以上）が他の年齢層よりも多くなっています。

性別年代別にみると、男性は「10～40歳代」で「スポーツに関するもの（野球、サッカー、テニス、卓球など）」が、女性は「60歳代以上」で「健康・健康増進に関するもの（健康体操、ウォーキングなど）」が他の年齢層よりも多くなっています。

図表 33 機会を増やしたい学習の内容 <前回調査（平成 28 年）と今回調査（令和 3 年）との比較>



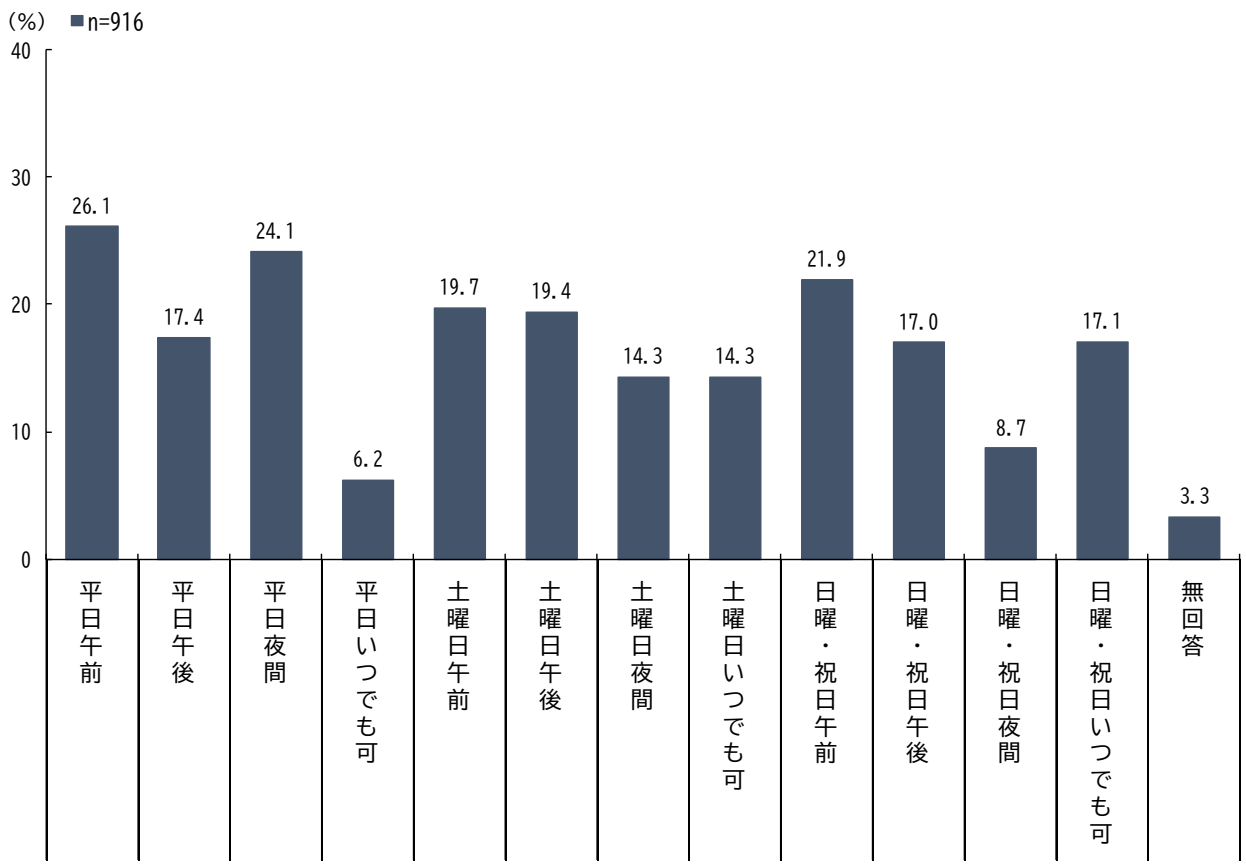
※1 趣味や芸術に関するもの（美術、音楽、茶華道、舞踊、囲碁、日曜大工など）

※2 家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの（料理、編み物など）

前回調査（平成 28 年）では、「健康・健康増進に関するもの（健康体操、ウォーキングなど）」（38.0%）が最も多く、次いで「趣味や芸術に関するもの（美術、音楽、茶華道、舞踊、囲碁、日曜大工など）」（34.1%）、「健康、介護、医療の知識に関するもの（生活習慣病の予防、介護知識など）」（29.4%）でした。前回調査と比較すると、今回の調査では「趣味や芸術に関するもの（美術、書、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など）」が 14.2 ポイント増となっています。

問3-3 あなたが、生涯学習活動に参加しやすい時間帯についてお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

図表 34 参加しやすい時間帯



生涯学習活動に参加しやすい時間帯については、「平日午前」(26.1%)が最も多く、次いで「平日夜間」(24.1%)、「日曜・祝日午前」(21.9%)となっています。

図表 35 参加しやすい時間帯 <性別・年代別>

単位：％

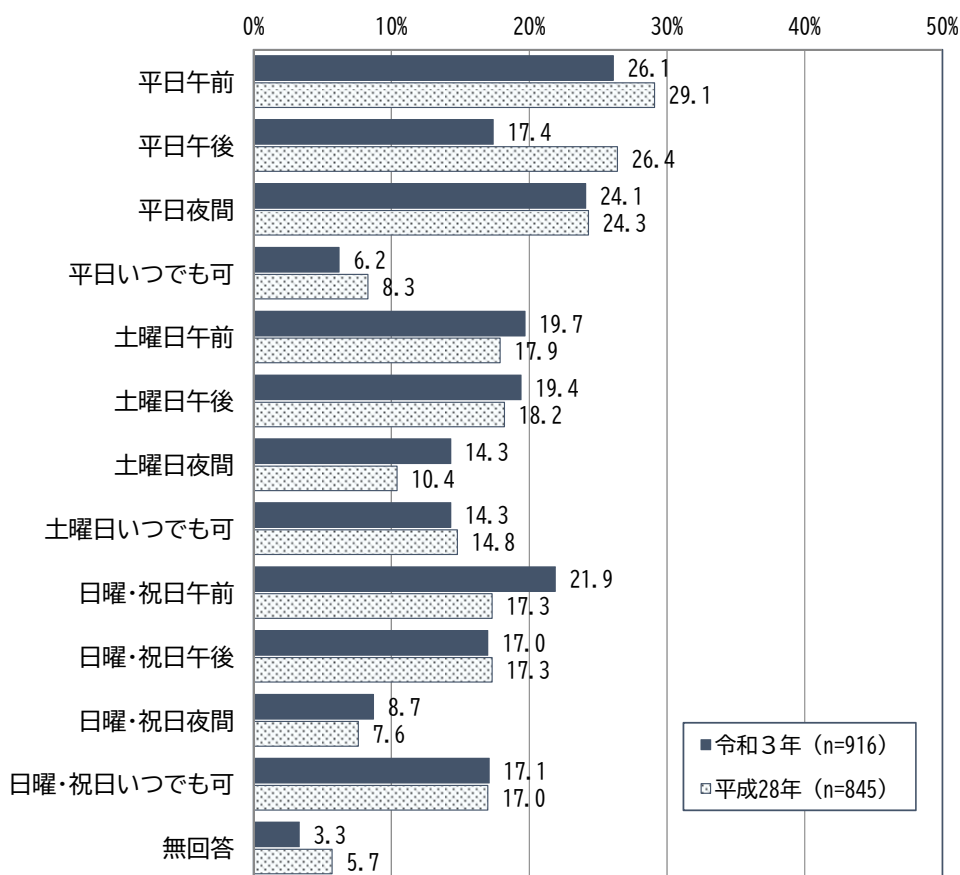
		有効回答数 (件)	平日午前	平日午後	平日夜間	平日いつでも可	土曜日午前	土曜日午後	土曜日夜間	土曜日いつでも可	日曜・祝日午前	日曜・祝日午後	日曜・祝日夜間	日曜・祝日いつでも可	無回答	
性別	男性	320	11.9	13.1	27.5	7.5	17.2	19.1	17.5	17.8	22.2	17.5	10.0	20.0	2.8	
	女性	589	33.8	19.7	22.4	5.6	20.7	19.5	12.7	12.6	21.6	16.8	8.1	15.6	3.6	
年代別	10歳代	37	0.0	8.1	43.2	0.0	21.6	27.0	21.6	21.6	24.3	21.6	18.9	29.7	0.0	
	20歳代	86	12.8	3.5	33.7	8.1	18.6	16.3	12.8	29.1	18.6	14.0	8.1	29.1	1.2	
	30歳代	119	21.8	10.1	30.3	0.8	21.8	19.3	22.7	11.8	27.7	15.1	12.6	13.4	1.7	
	40歳代	204	29.4	10.3	28.9	2.0	18.6	13.2	19.6	16.2	23.5	13.7	12.7	19.6	1.5	
	50歳代	191	15.7	15.2	27.2	5.8	19.4	22.0	17.8	12.6	22.0	22.5	8.4	18.8	3.1	
	60歳代	115	38.3	26.1	15.7	7.0	21.7	25.2	7.0	8.7	25.2	18.3	5.2	8.7	6.1	
	70歳代	121	42.1	39.7	5.8	17.4	18.2	22.3	2.5	9.1	14.0	16.5	2.5	10.7	5.8	
	80歳代以上	37	43.2	32.4	8.1	13.5	13.5	10.8	0.0	16.2	10.8	13.5	0.0	13.5	10.8	
性別・年代別	男性	10歳代	17	0.0	0.0	41.2	0.0	17.6	11.8	23.5	35.3	17.6	11.8	17.6	47.1	0.0
		20歳代	23	8.7	4.3	30.4	4.3	4.3	17.4	4.3	34.8	13.0	21.7	4.3	21.7	0.0
		30歳代	41	4.9	2.4	34.1	0.0	17.1	14.6	34.1	12.2	31.7	12.2	9.8	14.6	4.9
		40歳代	59	5.1	5.1	37.3	0.0	18.6	15.3	32.2	20.3	30.5	16.9	20.3	22.0	0.0
		50歳代	63	1.6	6.3	27.0	6.3	17.5	19.0	14.3	15.9	22.2	19.0	7.9	23.8	3.2
		60歳代	49	14.3	18.4	24.5	6.1	16.3	30.6	12.2	8.2	20.4	22.4	8.2	10.2	10.2
		70歳代	51	29.4	37.3	13.7	25.5	21.6	23.5	5.9	15.7	15.7	17.6	5.9	15.7	0.0
		80歳代以上	17	47.1	29.4	11.8	17.6	17.6	5.9	0.0	23.5	11.8	11.8	0.0	23.5	0.0
性別・年代別	女性	10歳代	20	0.0	15.0	45.0	0.0	25.0	40.0	20.0	10.0	30.0	30.0	20.0	15.0	0.0
		20歳代	63	14.3	3.2	34.9	9.5	23.8	15.9	15.9	27.0	20.6	11.1	9.5	31.7	1.6
		30歳代	78	30.8	14.1	28.2	1.3	24.4	21.8	16.7	11.5	25.6	16.7	14.1	12.8	0.0
		40歳代	145	39.3	12.4	25.5	2.8	18.6	12.4	14.5	14.5	20.7	12.4	9.7	18.6	2.1
		50歳代	127	22.0	19.7	27.6	5.5	20.5	23.6	19.7	11.0	22.0	24.4	8.7	16.5	3.1
		60歳代	66	56.1	31.8	9.1	7.6	25.8	21.2	3.0	9.1	28.8	15.2	3.0	7.6	3.0
		70歳代	70	51.4	41.4	0.0	11.4	15.7	21.4	0.0	4.3	12.9	15.7	0.0	7.1	10.0
		80歳代以上	20	40.0	35.0	5.0	10.0	10.0	15.0	0.0	10.0	10.0	15.0	0.0	5.0	20.0

性別にみると、男性では「平日夜間」(27.5%)が最も多く、女性では「平日午前」(33.8%)が最も多くなっています。

年代別にみると、「10～20歳代」では「平日夜間」(33%以上)と「日曜・祝日いつでも可」(29%以上)と「土曜日いつでも可」(21%以上)、「60歳代以上」で「平日午前」(38%以上)と「平日午後」(26%以上)が他の年齢層よりも多くなっています。

性別年代別にみると、男性は「10歳代」で「日曜・祝日いつでも可」、「20～30歳代」「50歳代」で「土曜日」に多い傾向で、女性は「10～20歳代」「50歳代」で「平日夜間」、「30～40歳代」「60歳代以上」で「平日午前」が最も多くなっています。

図表 36 参加しやすい時間帯 <前回調査（平成 28 年）と今回調査（令和 3 年）との比較>

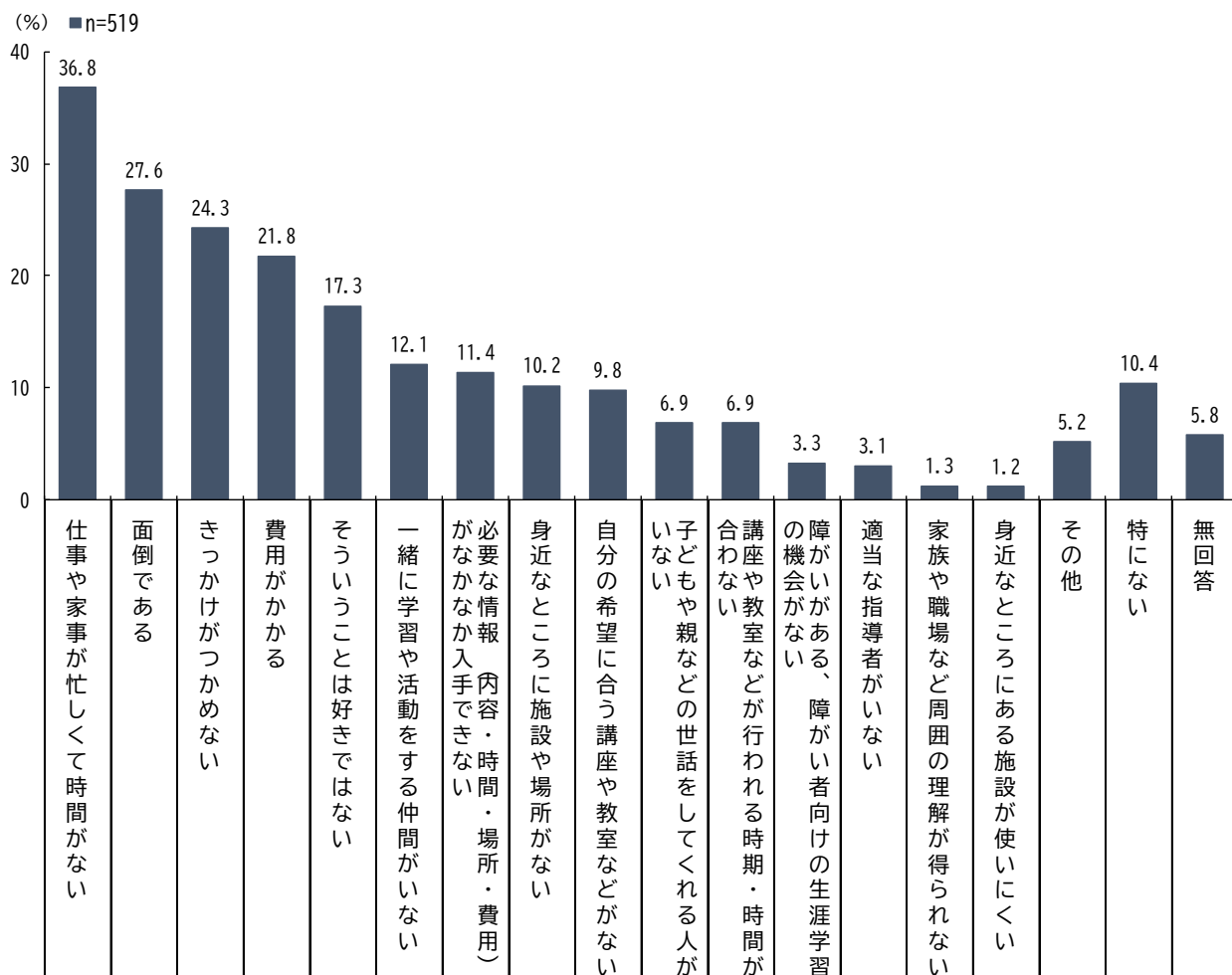


前回調査（平成 28 年）では、「平日午前」（29.1%）が最も多く、次いで「平日午後」（26.4%）、「平日夜間」（24.3%）でした。前回調査と比較して「平日午後」が 9.0 ポイント減、「日曜・祝日午前」が 4.6 ポイント増となっており、今回の調査では「日曜・祝日午前」のほうが「平日午後」よりも参加しやすいと思う方が多くなっています。

問3で3、4と答えられた方にお聞きします。

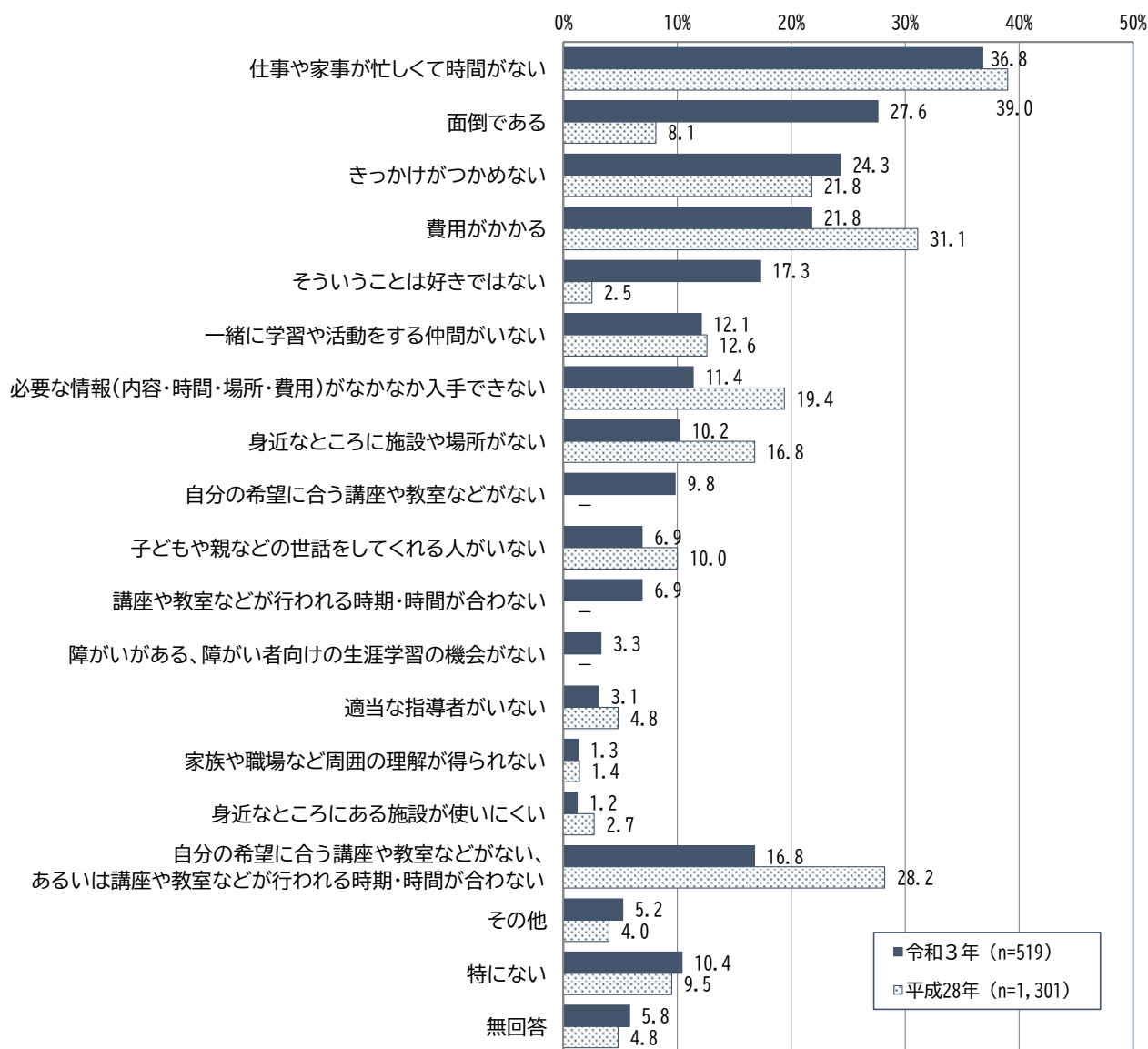
問3-4 あなたが、生涯学習に取り組もうとする際、どのようなことが妨げになっていますか。(あてはまるものすべてに○印)

図表 37 取り組みの妨げになっているもの



生涯学習に取り組もうとする際に妨げになっているものについては、「仕事や家事が忙しくて時間がない」(36.8%)が最も多く、次いで「面倒である」(27.6%)、「きっかけがつかめない」(24.3%)となっています。

図表 39 取り組みの妨げになっているもの <前回調査（平成 28 年）と今回調査（令和 3 年）との比較>

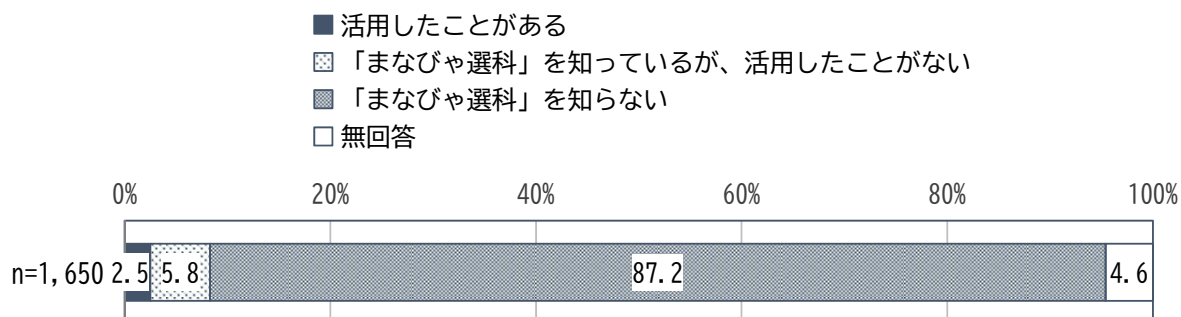


前回調査（平成 28 年）では、「仕事や家事が忙しくて時間がない」（39.0%）が最も多く、次いで「費用がかかる」（31.1%）、「自分の希望に合う講座や教室がない、あるいは講座や教室などが行われる時期・時間が合わない」（28.2%）でした。今回の調査でも「仕事や家事が忙しくて時間がない」（36.8%）が最も多くなっていますが、その次に「面倒である」（27.6%）と回答する方が多く、前回調査より 19.5 ポイント増となっています。

4 市の生涯学習への取り組みについて

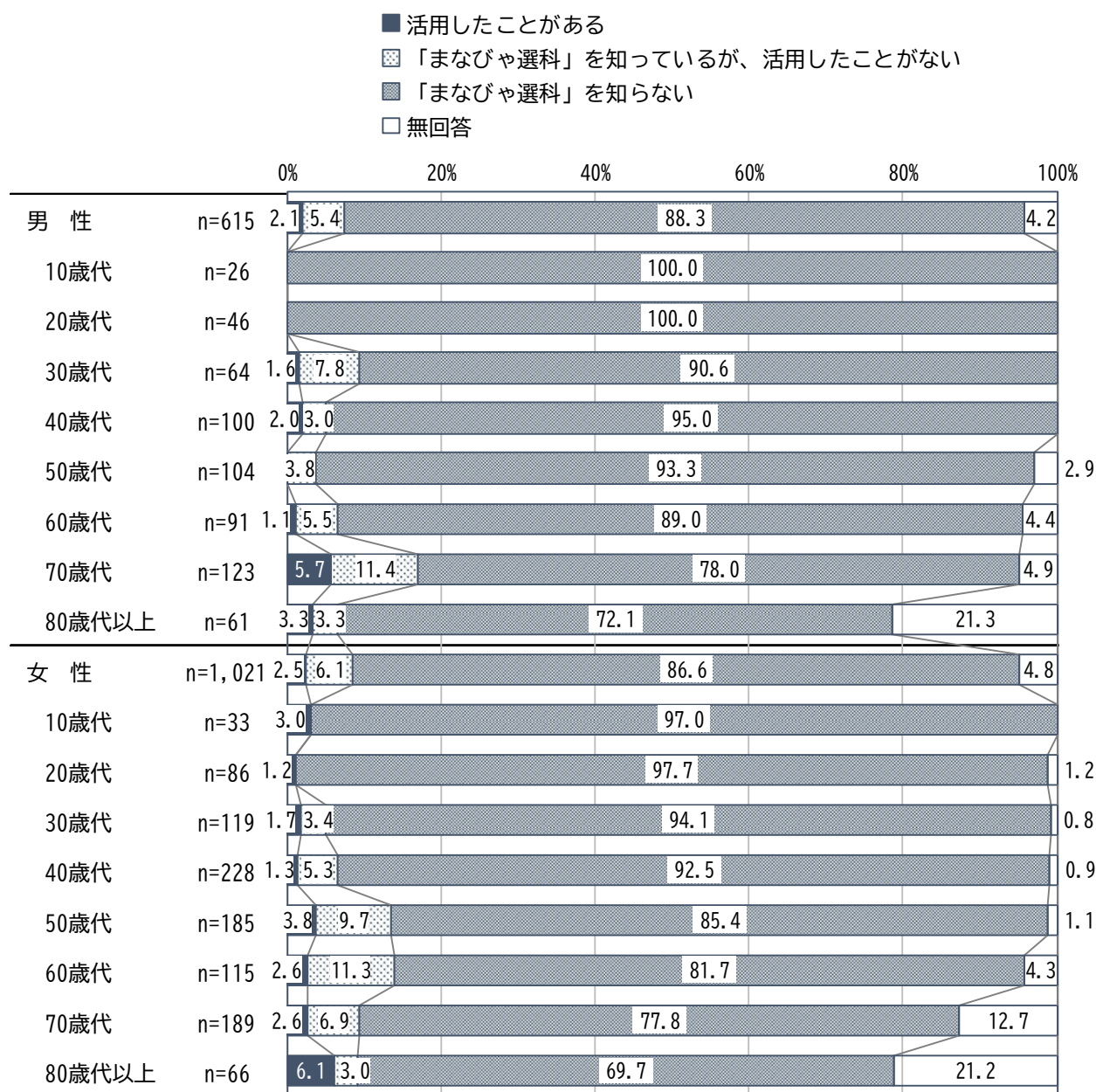
問4 市ホームページの中にある生涯学習情報サイト「まなびや選科」を活用したことがありますか。(あてはまるもの1つに○印)

図表 40 「まなびや選科」活用の有無



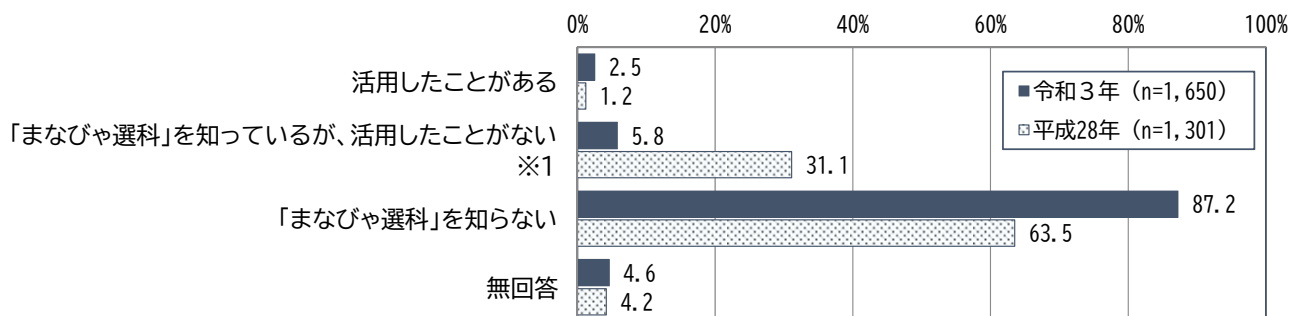
市ホームページの中にある生涯学習情報サイト「まなびや選科」を活用したことがあるかについては、「活用したことがある」は2.5%、「まなびや選科」を知っているが、活用したことがない」は5.8%、「まなびや選科」を知らない」は87.2%となっています。

図表 41 「まなびゃ選科」活用の有無 <性別・年代別>



性別年代別にみると、「まなびゃ選科」を知らないは男女ともに若年層ほど多くなっており、年代が上がるにつれ割合が低下する傾向がみられます。

図表 42 「まなびゃ選科」活用の有無 <前回調査（平成 28 年）と今回調査（令和 3 年）との比較>

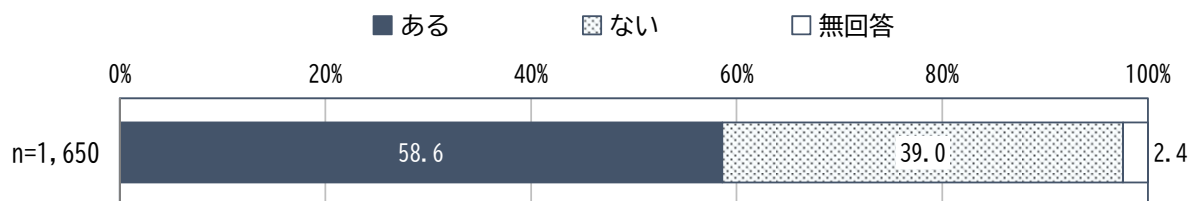


※1 活用したことがない

前回調査（平成 28 年）では、「活用したことがある」が 1.2%、「活用したことがない」が 31.1%、「まなびゃ選科」を知らない」が 63.5%でした。前回調査と比較して「まなびゃ選科」を知らない」が 23.7 ポイント増となっています。

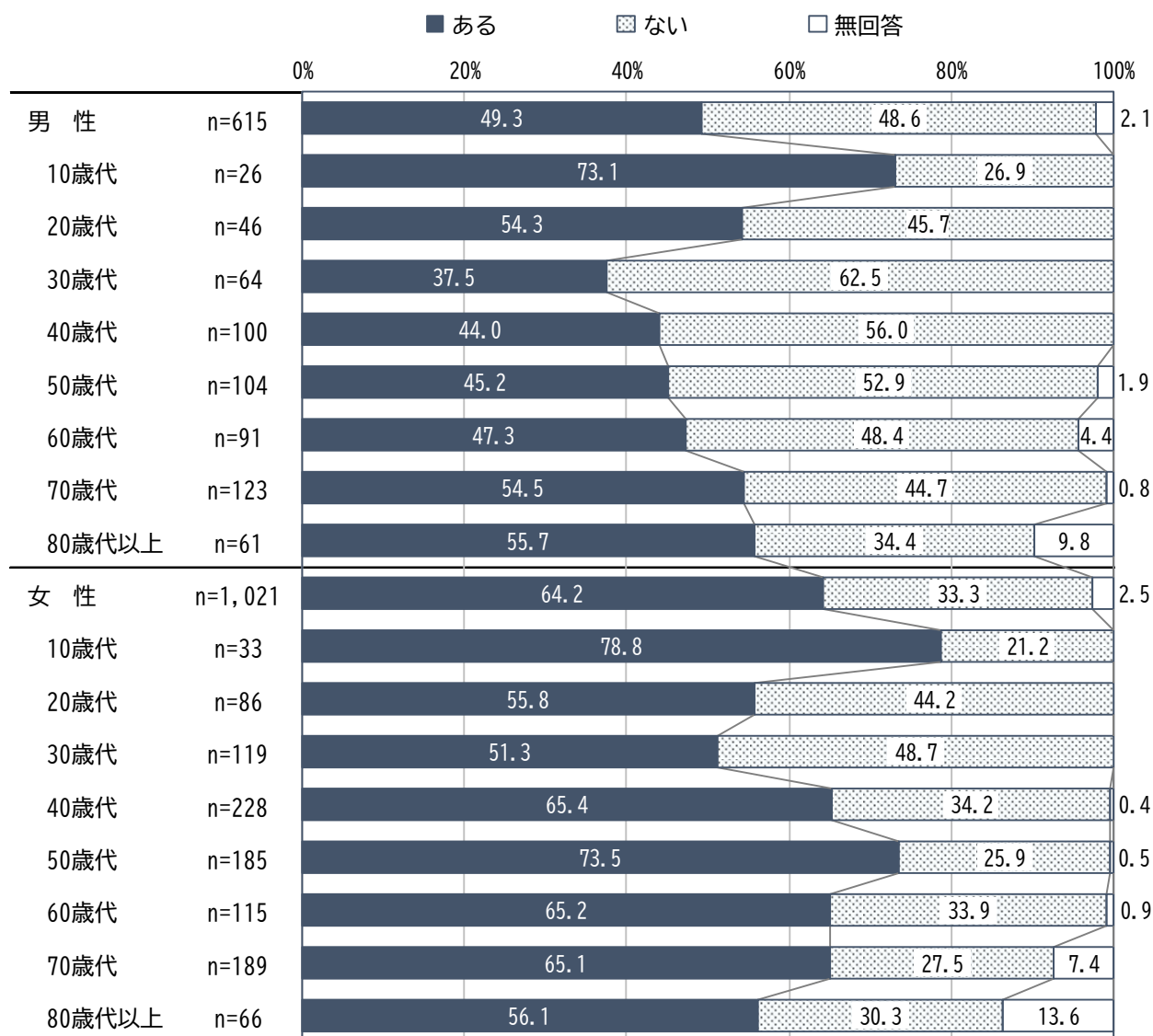
問5 公民館、ふれあいセンター等を利用したことがありますか。(あてはまるものに○印)

図表 43 公民館、ふれあいセンター等の利用の有無



公民館、ふれあいセンター等を利用したことがあるかについては、「ある」が 58.6%、「ない」が 39.0%となっています。

図表 44 公民館、ふれあいセンター等の利用の有無 <性別・年代別>



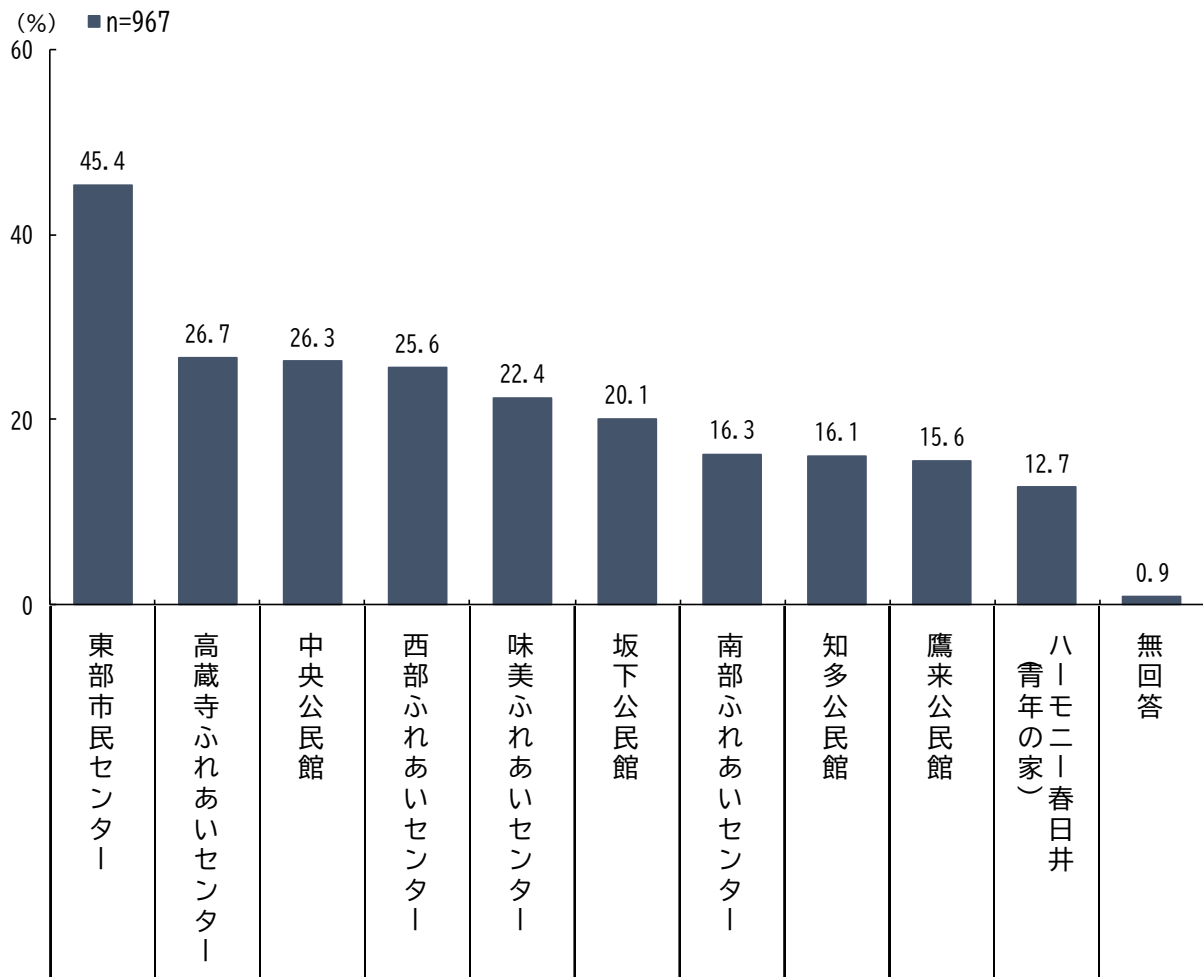
性別にみると、「ある」は女性（64.2%）のほうが男性（49.3%）よりも多くなっています。

性別年代別にみると、男性は「30～60歳代」で「ない」が最も多くなっています。「男性10歳代」「女性10歳代」「女性50歳代」では「ある」が7割を超えて多くなっています。

問5で「1 ある」と答えられた方にお聞きします。

問5-1 どの施設を利用しましたか。(あてはまるものすべてに○印)

図表 45 利用した施設



どの施設を利用したかについては、「東部市民センター」(45.4%)が最も多く、次いで「高蔵寺ふれあいセンター」(26.7%)、「中央公民館」(26.3%)となっています。

図表 46 利用した施設 <性別・年代別>

単位：%

		有効回答数 (件)	東部市民センター	高蔵寺ふれあいセンター	中央公民館	西部ふれあいセンター	味美ふれあいセンター	坂下公民館	南部ふれあいセンター	知多公民館	鷹来公民館	ハーモニー春日井 (青年の家)	無回答	
性別	男性	303	43.2	27.7	24.4	23.4	20.5	18.5	13.2	11.6	8.6	11.6	0.7	
	女性	655	46.4	26.0	26.9	26.4	23.4	20.9	17.4	18.0	18.6	13.4	1.1	
年代別	10歳代	45	51.1	17.8	37.8	24.4	11.1	15.6	13.3	17.8	8.9	13.3	0.0	
	20歳代	73	32.9	26.0	30.1	23.3	13.7	8.2	8.2	4.1	9.6	26.0	0.0	
	30歳代	85	42.4	23.5	16.5	36.5	22.4	8.2	15.3	8.2	15.3	7.1	0.0	
	40歳代	193	46.1	29.0	26.4	28.0	26.9	19.7	19.7	17.6	17.6	10.9	0.5	
	50歳代	184	52.7	25.5	24.5	31.0	27.2	21.7	17.9	21.2	15.2	14.7	1.1	
	60歳代	118	36.4	24.6	16.9	24.6	24.6	14.4	16.9	17.8	16.1	11.0	1.7	
	70歳代	190	46.8	30.5	32.1	16.3	22.1	30.0	15.3	16.8	17.9	13.7	1.6	
	80歳代以上	71	49.3	23.9	29.6	21.1	12.7	31.0	14.1	14.1	14.1	7.0	1.4	
性別・年代別	男性	10歳代	19	36.8	31.6	42.1	21.1	10.5	15.8	5.3	15.8	5.3	10.5	0.0
		20歳代	25	28.0	16.0	40.0	32.0	24.0	12.0	8.0	8.0	4.0	24.0	0.0
		30歳代	24	41.7	33.3	12.5	29.2	20.8	8.3	8.3	16.7	8.3	12.5	0.0
		40歳代	44	31.8	36.4	15.9	25.0	20.5	11.4	15.9	6.8	13.6	4.5	0.0
		50歳代	47	57.4	23.4	14.9	21.3	25.5	14.9	14.9	12.8	12.8	12.8	2.1
		60歳代	43	32.6	20.9	11.6	20.9	18.6	9.3	16.3	0.0	4.7	9.3	0.0
		70歳代	67	52.2	28.4	32.8	17.9	25.4	32.8	11.9	16.4	9.0	14.9	0.0
		80歳代以上	34	50.0	32.4	35.3	29.4	8.8	29.4	17.6	17.6	5.9	5.9	2.9
	女性	10歳代	26	61.5	7.7	34.6	26.9	11.5	15.4	19.2	19.2	11.5	15.4	0.0
		20歳代	48	35.4	31.3	25.0	18.8	8.3	6.3	8.3	2.1	12.5	27.1	0.0
		30歳代	61	42.6	19.7	18.0	39.3	23.0	8.2	18.0	4.9	18.0	4.9	0.0
		40歳代	149	50.3	26.8	29.5	28.9	28.9	22.1	20.8	20.8	18.8	12.8	0.7
		50歳代	136	50.7	26.5	27.2	33.8	27.2	23.5	18.4	23.5	15.4	15.4	0.7
		60歳代	75	38.7	26.7	20.0	26.7	28.0	17.3	17.3	28.0	22.7	12.0	2.7
		70歳代	123	43.9	31.7	31.7	15.4	20.3	28.5	17.1	17.1	22.8	13.0	2.4
		80歳代以上	37	48.6	16.2	24.3	13.5	16.2	32.4	10.8	10.8	21.6	8.1	0.0

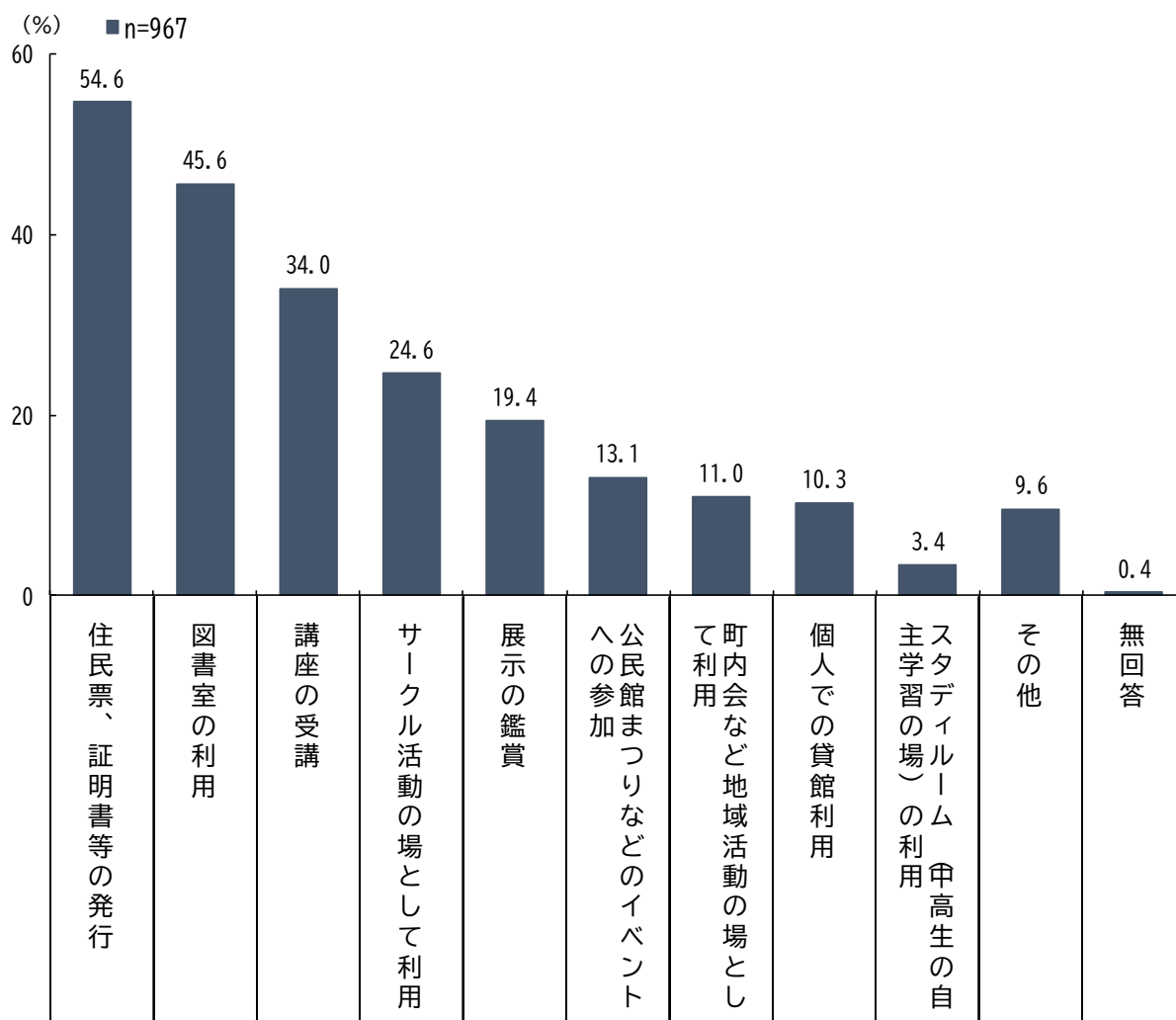
性別にみると、男女ともに「東部市民センター」が最も多くなっています。次いで、男性では「高蔵寺ふれあいセンター」、女性では「中央公民館」となっています。

年代別にみると、「10歳代」で「中央公民館」(37.8%)、「20歳代」で「ハーモニー春日井(青年の家)」(26.0%)、「30歳代」で「西部ふれあいセンター」(36.5%)が他の年齢層よりも多くなっています。

性別年代別にみると、男性は「10～20歳代」で「中央公民館」、「40歳代」で「高蔵寺ふれあいセンター」、「30歳代」「50歳代以上」で「東部市民センター」が最も多くなっています。女性はどの年代においても「東部市民センター」が最も多くなっています。

問5-2 どういった目的で利用しましたか。(あてはまるものすべてに○印)

図表 47 利用目的



どういった目的で利用したかについては、「住民票、証明書等の発行」(54.6%)が最も多く、次いで「図書室の利用」(45.6%)、「講座の受講」(34.0%)となっています。

図表 48 利用目的 <性別・年代別>

単位：％

		有効回答数 (件)	住民票、 証明書等の発行	図書室の 利用	講座の 受講	サークル 活動の場 として利用	展示の 鑑賞	公民館ま つりなど のイベン ト	町内会 など地 域活動 の場と して利 用	個人 での貸 館利用	スタ ディ ール ム(中 高生 の自 主学 習の 場)の 利用	その他	無 回 答	
性別	男性	303	51.5	39.3	19.5	17.5	18.2	12.9	12.5	11.2	4.0	8.9	0.0	
	女性	655	56.2	48.5	40.9	27.6	19.8	13.3	10.4	10.1	3.1	9.8	0.6	
年代別	10歳代	45	17.8	51.1	22.2	17.8	13.3	11.1	6.7	15.6	20.0	22.2	0.0	
	20歳代	73	39.7	63.0	5.5	17.8	11.0	19.2	5.5	17.8	11.0	11.0	0.0	
	30歳代	85	44.7	45.9	20.0	18.8	12.9	12.9	7.1	9.4	3.5	11.8	0.0	
	40歳代	193	57.5	51.3	35.8	23.3	10.4	8.8	10.9	13.0	2.6	8.3	0.0	
	50歳代	184	67.9	53.8	33.2	20.7	17.4	9.8	12.5	11.4	3.3	14.7	0.0	
	60歳代	118	69.5	44.1	30.5	22.9	21.2	7.6	11.9	15.3	0.8	7.6	0.0	
	70歳代	190	51.6	33.2	51.6	35.3	33.7	22.1	12.6	3.7	0.0	3.7	1.1	
	80歳代以上	71	47.9	23.9	46.5	29.6	28.2	14.1	15.5	1.4	0.0	5.6	2.8	
性別・年代別	男性	10歳代	19	15.8	63.2	26.3	15.8	5.3	15.8	5.3	21.1	21.1	10.5	0.0
		20歳代	25	36.0	64.0	8.0	16.0	8.0	16.0	8.0	20.0	8.0	12.0	0.0
		30歳代	24	37.5	33.3	4.2	25.0	16.7	16.7	8.3	12.5	8.3	8.3	0.0
		40歳代	44	59.1	36.4	13.6	13.6	6.8	4.5	9.1	9.1	4.5	9.1	0.0
		50歳代	47	63.8	44.7	4.3	12.8	10.6	17.0	8.5	12.8	4.3	10.6	0.0
		60歳代	43	60.5	44.2	11.6	4.7	14.0	2.3	14.0	16.3	0.0	11.6	0.0
		70歳代	67	56.7	29.9	35.8	28.4	37.3	19.4	17.9	6.0	0.0	4.5	0.0
		80歳代以上	34	44.1	20.6	41.2	20.6	26.5	11.8	20.6	2.9	0.0	8.8	0.0
	女性	10歳代	26	19.2	42.3	19.2	19.2	19.2	7.7	7.7	11.5	19.2	30.8	0.0
		20歳代	48	41.7	62.5	4.2	18.8	12.5	20.8	4.2	16.7	12.5	10.4	0.0
		30歳代	61	47.5	50.8	26.2	16.4	11.5	11.5	6.6	8.2	1.6	13.1	0.0
		40歳代	149	57.0	55.7	42.3	26.2	11.4	10.1	11.4	14.1	2.0	8.1	0.0
		50歳代	136	69.1	56.6	42.6	22.8	19.1	7.4	14.0	11.0	2.9	16.2	0.0
		60歳代	75	74.7	44.0	41.3	33.3	25.3	10.7	10.7	14.7	1.3	5.3	0.0
		70歳代	123	48.8	35.0	60.2	39.0	31.7	23.6	9.8	2.4	0.0	3.3	1.6
		80歳代以上	37	51.4	27.0	51.4	37.8	29.7	16.2	10.8	0.0	0.0	2.7	5.4

性別にみると、男女ともに回答割合の多い方から「住民票、証明書等の発行」、「図書室の利用」、「講座の受講」の順となっています。「講座の受講」は女性（40.9%）のほうが男性（19.5%）よりも多くなっています。

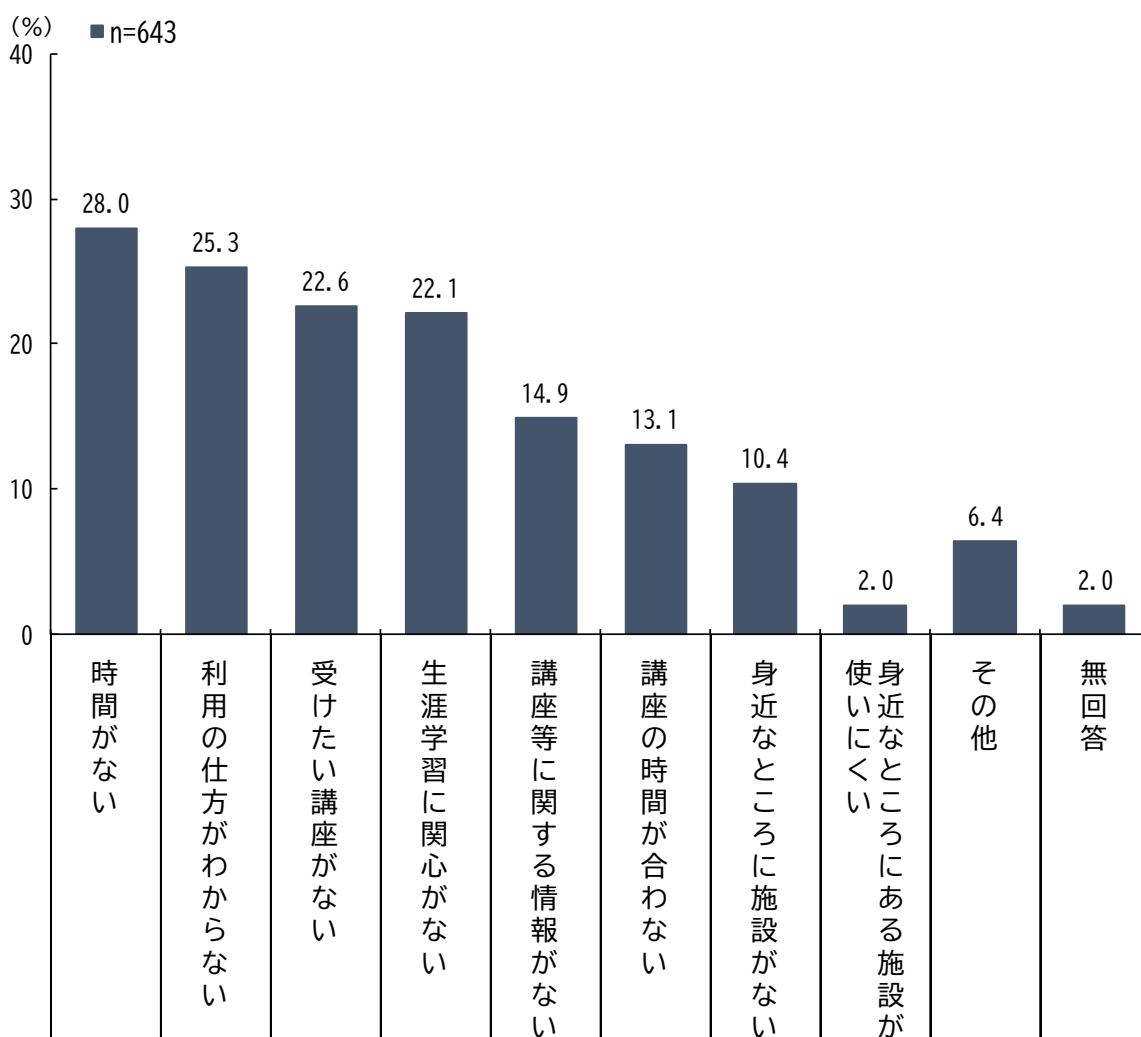
年代別にみると、「20歳代」で「図書室の利用」（63.0%）、「50～60歳代」で「住民票、証明書等の発行」（67%以上）、「70歳代以上」で「講座の受講」（46%以上）、「70歳代」で「サークル活動の場として利用」（35.3%）と「展示の鑑賞」（33.7%）が他の年齢層よりも多くなっています。

性別年代別にみると、男性は「10～20歳代」を除き「住民票、証明書等の発行」が、「10～20歳代」は「図書室の利用」が最も多くなっています。女性では「10～30歳代」で「図書室の利用」、「40～60歳代」「80歳代以上」で「住民票、証明書等の発行」、「70歳代以上」で「講座の受講」が最も多くなっています。

問5で「2 ない」と答えられた方にお聞きします。

問5-3 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

図表 49 利用していない理由



利用していない理由については、「時間がない」(28.0%)が最も多く、次いで「利用の仕方がわからない」(25.3%)、「受けたい講座がない」(22.6%)となっています。

図表 50 利用していない理由 <性別・年代別>

単位：%

		有効回答数 (件)	時間がない	利用の仕方がわからない	受けた たい講座がない	生涯学習 に関心がない	講座等 に関する情報がない	講座の 時間が合わない	身近な ところに施設がない	身近な ところにある施設が 使いにくい	その他	無回答	
性別	男性	299	27.1	26.1	23.4	29.4	15.1	7.4	6.4	1.3	4.7	2.0	
	女性	340	29.1	25.0	22.1	15.6	15.0	18.2	13.8	2.6	7.4	1.8	
年代別	10歳代	14	35.7	28.6	28.6	7.1	28.6	21.4	14.3	0.0	7.1	0.0	
	20歳代	59	27.1	45.8	16.9	18.6	27.1	1.7	13.6	3.4	1.7	0.0	
	30歳代	98	42.9	30.6	13.3	17.3	17.3	10.2	9.2	3.1	4.1	0.0	
	40歳代	134	35.1	27.6	20.9	18.7	14.2	15.7	8.2	1.5	3.7	0.7	
	50歳代	103	33.0	20.4	34.0	18.4	13.6	27.2	7.8	1.9	4.9	0.0	
	60歳代	83	21.7	19.3	36.1	24.1	13.3	18.1	9.6	1.2	6.0	1.2	
	70歳代	107	13.1	18.7	17.8	36.4	9.3	5.6	12.1	1.9	9.3	6.5	
	80歳代以上	41	9.8	19.5	14.6	22.0	12.2	0.0	17.1	2.4	19.5	7.3	
性別・年代別	男性	10歳代	7	42.9	28.6	57.1	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0
		20歳代	21	23.8	33.3	14.3	33.3	23.8	0.0	4.8	4.8	0.0	0.0
		30歳代	40	47.5	30.0	10.0	17.5	20.0	5.0	5.0	0.0	5.0	0.0
		40歳代	56	35.7	35.7	10.7	26.8	16.1	3.6	3.6	1.8	5.4	1.8
		50歳代	55	32.7	25.5	32.7	23.6	14.5	21.8	7.3	1.8	5.5	0.0
		60歳代	44	22.7	27.3	34.1	29.5	13.6	6.8	2.3	2.3	2.3	2.3
		70歳代	55	9.1	14.5	25.5	47.3	12.7	1.8	7.3	0.0	7.3	3.6
		80歳代以上	21	4.8	14.3	28.6	33.3	4.8	0.0	19.0	0.0	4.8	9.5
	女性	10歳代	7	28.6	28.6	0.0	14.3	42.9	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0
		20歳代	38	28.9	52.6	18.4	10.5	28.9	2.6	18.4	2.6	2.6	0.0
		30歳代	58	39.7	31.0	15.5	17.2	15.5	13.8	12.1	5.2	3.4	0.0
		40歳代	78	34.6	21.8	28.2	12.8	12.8	24.4	11.5	1.3	2.6	0.0
		50歳代	48	33.3	14.6	35.4	12.5	12.5	33.3	8.3	2.1	4.2	0.0
		60歳代	39	20.5	10.3	38.5	17.9	12.8	30.8	17.9	0.0	10.3	0.0
		70歳代	52	17.3	23.1	9.6	25.0	5.8	9.6	17.3	3.8	11.5	9.6
		80歳代以上	20	15.0	25.0	0.0	10.0	20.0	0.0	15.0	5.0	35.0	5.0

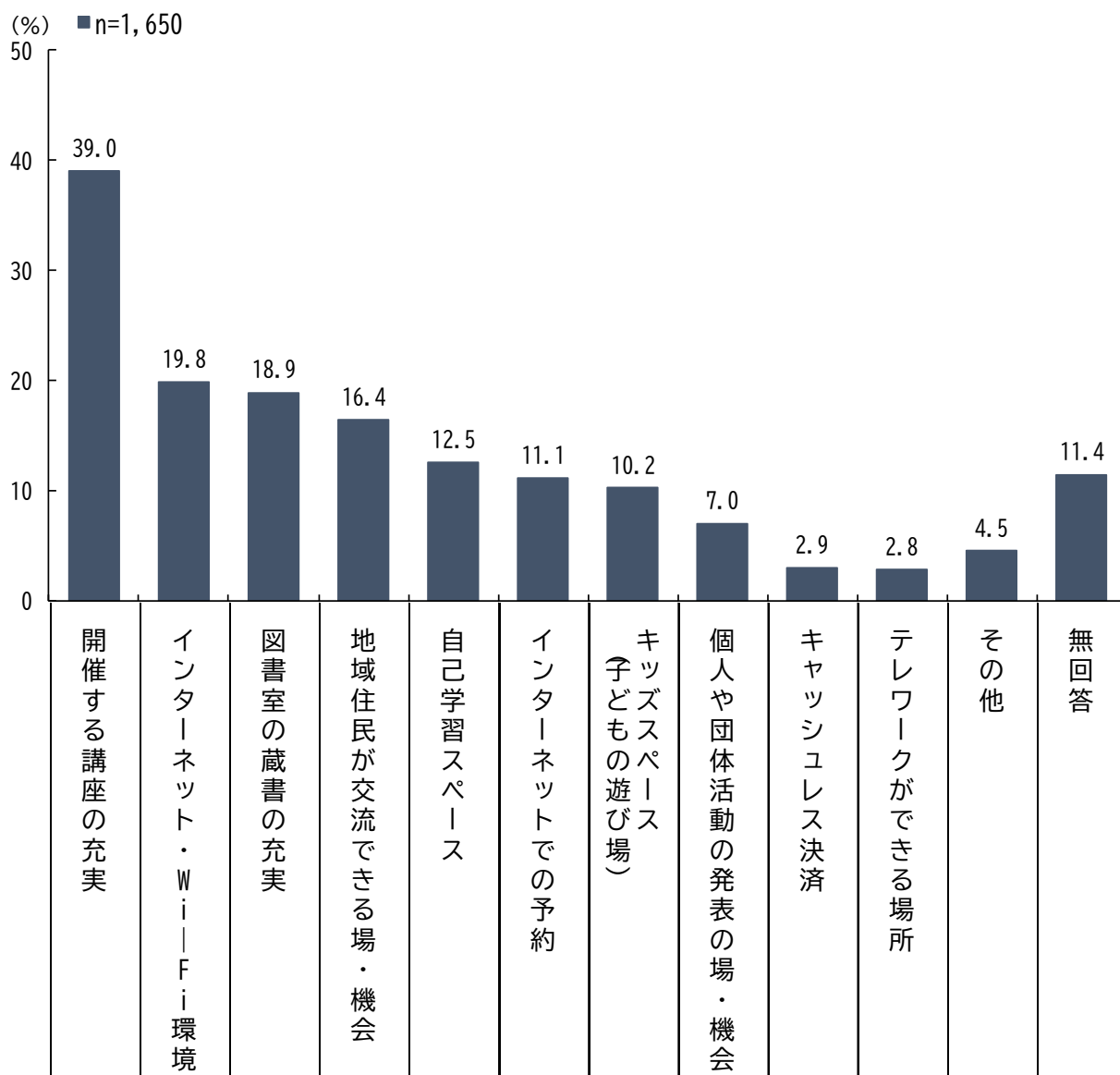
性別にみると、男性は回答割合の多い方から「生涯学習に関心がない」「時間がない」「利用の仕方がわからない」の順となっています。女性は「時間がない」「利用の仕方がわからない」「受けたたい講座がない」の順となっています。「生涯学習に関心がない」は男性(29.4%)のほうが女性(15.6%)よりも多くなっています。

年代別にみると、「10～20歳代」で「講座等に関する情報がない」(27%以上)、「20歳代」で「利用の仕方がわからない」(45.8%)、「30歳代」で「時間がない」(42.9%)、「50～60歳代」で「受けたたい講座がない」(34%以上)、「70歳代」で「生涯学習に関心がない」(36.4%)が他の年齢層よりも多くなっています。

性別年代別にみると、男性は「10歳代」「50～60歳代」で「受けたたい講座がない」、「20歳代」「40歳代」で「利用の仕方がわからない」、「30～50歳代」で「時間がない」、「20歳代」「70歳代以上」で「生涯学習に関心がない」が最も多くなっています。女性は「10歳代」で「講座等に関する情報がない」、「20歳代」「80歳代以上」で「利用の仕方がわからない」、「30～40歳代」で「時間がない」、「50～60歳代」で「受けたたい講座がない」、「70歳代」で「生涯学習に関心がない」が最も多くなっています。

問6 公民館やふれあいセンター等の施設に求めるもの、機能は何ですか。(あてはまるもの2つまでに○印)

図表 51 施設に求めるもの、機能



公民館やふれあいセンター等の施設に求めるもの、機能は何かについては、「開催する講座の充實」(39.0%)が最も多く、次いで「インターネット・Wi-Fi環境」(19.8%)、「図書室の蔵書の充實」(18.9%)となっています。

図表 52 施設に求めるもの、機能 <性別・年代別>

単位：%

		有効回答数 (件)	開催する講座の充実	インターネット・Wi-Fi環境	図書室の蔵書の充実	地域住民が交流できる場・機会	自己学習スペース	インターネットでの予約	キッズスペース(子どもの遊び場)	個人や団体活動の発表の場・機会	キャッシュレス決済	テレワークができる場所	その他	無回答	
性別	男性	615	31.9	23.4	19.8	18.5	15.1	11.5	7.3	6.5	2.9	4.2	6.3	9.8	
	女性	1,021	43.2	17.6	18.3	15.1	11.1	10.6	11.9	7.3	2.9	2.0	3.4	12.3	
年代別	10歳代	59	20.3	50.8	10.2	5.1	44.1	16.9	3.4	1.7	0.0	8.5	5.1	1.7	
	20歳代	132	28.8	37.1	16.7	6.8	20.5	18.2	15.9	7.6	6.8	6.1	4.5	1.5	
	30歳代	183	30.1	24.6	16.9	8.7	15.8	14.2	38.3	6.6	4.4	3.8	4.4	0.5	
	40歳代	328	41.2	25.3	20.4	12.8	15.9	17.4	13.4	4.9	4.9	3.4	3.7	4.0	
	50歳代	290	52.8	23.1	22.4	13.1	9.3	13.4	4.1	7.6	3.4	3.8	5.2	3.8	
	60歳代	206	41.3	15.0	19.9	20.4	10.2	5.3	3.4	7.8	1.0	1.5	7.8	12.1	
	70歳代	312	37.5	5.4	18.3	27.2	4.8	3.5	2.9	10.3	0.0	0.3	3.5	28.2	
	80歳代以上	127	33.9	2.4	15.7	26.0	7.1	0.8	1.6	4.7	2.4	0.0	2.4	35.4	
性別・年代別	男性	10歳代	26	23.1	50.0	11.5	7.7	19.2	26.9	3.8	3.8	0.0	15.4	11.5	0.0
		20歳代	46	23.9	39.1	13.0	10.9	21.7	28.3	6.5	4.3	6.5	8.7	6.5	0.0
		30歳代	64	23.4	25.0	18.8	12.5	20.3	14.1	29.7	10.9	4.7	6.3	4.7	0.0
		40歳代	100	26.0	35.0	21.0	12.0	24.0	18.0	11.0	3.0	7.0	8.0	7.0	4.0
		50歳代	104	38.5	29.8	22.1	14.4	11.5	10.6	1.9	5.8	2.9	3.8	7.7	3.8
		60歳代	91	26.4	16.5	27.5	22.0	17.6	5.5	5.5	7.7	0.0	2.2	9.9	9.9
		70歳代	123	39.8	10.6	16.3	30.1	5.7	5.7	3.3	9.8	0.0	0.0	4.9	22.8
		80歳代以上	61	41.0	4.9	19.7	24.6	9.8	1.6	0.0	3.3	3.3	0.0	0.0	24.6
	女性	10歳代	33	18.2	51.5	9.1	3.0	63.6	9.1	3.0	0.0	0.0	3.0	0.0	3.0
		20歳代	86	31.4	36.0	18.6	4.7	19.8	12.8	20.9	9.3	7.0	4.7	3.5	2.3
		30歳代	119	33.6	24.4	16.0	6.7	13.4	14.3	42.9	4.2	4.2	2.5	4.2	0.8
		40歳代	228	47.8	21.1	20.2	13.2	12.3	17.1	14.5	5.7	3.9	1.3	2.2	3.9
		50歳代	185	60.5	18.9	22.7	12.4	8.1	15.1	5.4	8.6	3.8	3.8	3.8	3.8
		60歳代	115	53.0	13.9	13.9	19.1	4.3	5.2	1.7	7.8	1.7	0.9	6.1	13.9
		70歳代	189	36.0	2.1	19.6	25.4	4.2	2.1	2.6	10.6	0.0	0.5	2.6	31.7
		80歳代以上	66	27.3	0.0	12.1	27.3	4.5	0.0	3.0	6.1	1.5	0.0	4.5	45.5

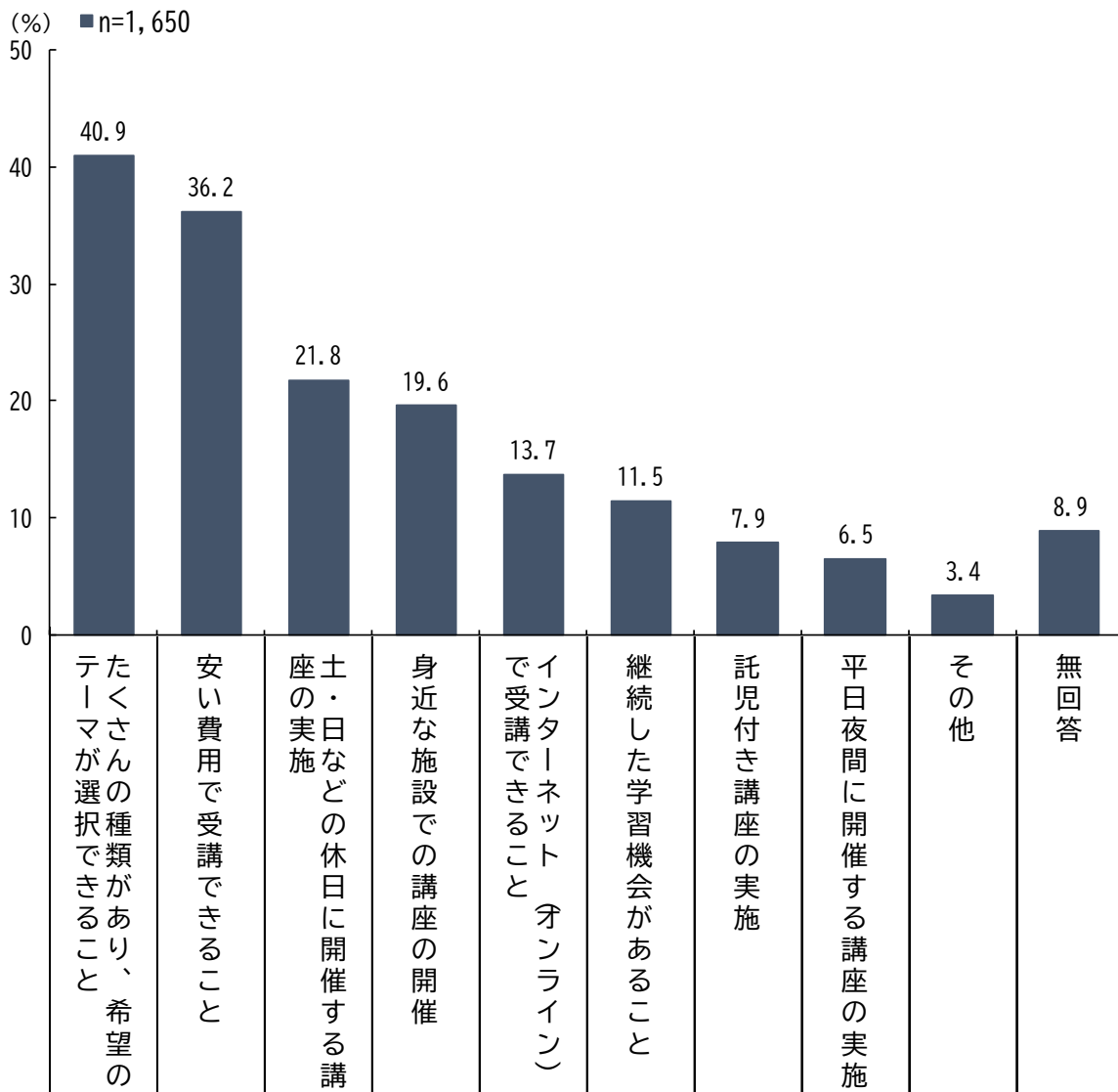
性別にみると、男女ともに「開催する講座の充実」が最も多くなっています。次いで、男性では「インターネット・Wi-Fi環境」、女性では「図書室の蔵書の充実」となっています。「開催する講座の充実」は女性(43.2%)のほうが男性(31.9%)よりも多くなっています。

年代別にみると、「10歳代」で「自己学習スペース」(44.1%)、「10～20歳代」で「インターネット・Wi-Fi環境」(37%以上)、「30歳代」で「キッズスペース(子どもの遊び場)」(38.3%)、「50歳代」で「開催する講座の充実」(52.8%)、「70歳代以上」で「地域住民が交流できる場・機会」(26%以上)が他の年齢層よりも多くなっています。

性別年代別にみると、男性は「10～20歳代」「40歳代」で「インターネット・Wi-Fi環境」、「30歳代」で「キッズスペース(子どもの遊び場)」、「50歳代」「70歳代以上」で「開催する講座の充実」、「60歳代」で「図書室の蔵書の充実」が最も多くなっています。女性は「10歳代」で「自己学習スペース」、「20歳代」で「インターネット・Wi-Fi環境」、「30歳代」で「キッズスペース(子どもの遊び場)」、「40歳代以上」で「開催する講座の充実」が最も多くなっています。

問7 市が行う講座について、重要だと思う点は何ですか。(あてはまるものに2つまでに○印)

図表 53 市の講座で重要な点



市が行う講座について、重要だと思う点は何かについては、「たくさんの種類があり、希望のテーマが選択できること」(40.9%)が最も多く、次いで「安い費用で受講できること」(36.2%)、「土・日などの休日に開催する講座の実施」(21.8%)となっています。

図表 54 市の講座で重要な点 <性別・年代別>

単位：%

		有効回答数 (件)	たくさんの種類があり、希望のテーマが選択できること	安い費用で受講できること	土・日などの休日に開催する講座の実施	身近な施設での講座の開催	インターネット(オンライン)で受講できること	継続した学習機会があること	託児付き講座の実施	平日夜間に開催する講座の実施	その他	無回答	
性別	男性	615	37.9	30.7	26.3	15.4	19.0	10.6	5.4	6.7	5.0	9.1	
	女性	1,021	42.9	39.7	19.0	22.1	10.5	12.0	9.2	6.6	2.4	8.7	
年代別	10歳代	59	44.1	40.7	11.9	28.8	22.0	15.3	6.8	8.5	1.7	1.7	
	20歳代	132	40.9	30.3	27.3	14.4	27.3	7.6	16.7	6.1	3.8	0.8	
	30歳代	183	41.5	36.1	25.7	10.4	19.7	7.7	27.3	9.3	3.3	1.1	
	40歳代	328	43.3	45.4	29.3	12.8	19.2	11.0	6.1	9.5	2.1	1.5	
	50歳代	290	46.9	39.3	35.9	15.9	12.4	10.3	3.4	8.3	4.1	2.8	
	60歳代	206	45.1	31.1	15.5	25.7	11.2	18.4	4.4	4.9	5.8	6.3	
	70歳代	312	33.7	32.7	7.4	30.4	4.5	11.9	2.6	3.2	2.2	25.0	
	80歳代以上	127	31.5	28.3	8.7	23.6	2.4	11.0	3.1	2.4	3.9	29.1	
性別・年代別	男性	10歳代	26	46.2	34.6	15.4	30.8	23.1	11.5	11.5	7.7	3.8	0.0
		20歳代	46	28.3	32.6	32.6	10.9	39.1	6.5	10.9	4.3	6.5	0.0
		30歳代	64	40.6	26.6	32.8	10.9	29.7	10.9	10.9	10.9	4.7	1.6
		40歳代	100	32.0	39.0	38.0	7.0	29.0	9.0	6.0	9.0	5.0	2.0
		50歳代	104	41.3	33.7	43.3	9.6	17.3	9.6	1.0	6.7	5.8	3.8
		60歳代	91	40.7	30.8	19.8	15.4	13.2	17.6	6.6	5.5	9.9	6.6
		70歳代	123	36.6	26.0	10.6	27.6	10.6	7.3	2.4	6.5	2.4	22.0
		80歳代以上	61	41.0	23.0	13.1	16.4	3.3	13.1	3.3	1.6	1.6	26.2
	女性	10歳代	33	42.4	45.5	9.1	27.3	21.2	18.2	3.0	9.1	0.0	3.0
		20歳代	86	47.7	29.1	24.4	16.3	20.9	8.1	19.8	7.0	2.3	1.2
		30歳代	119	42.0	41.2	21.8	10.1	14.3	5.9	36.1	8.4	2.5	0.8
		40歳代	228	48.2	48.2	25.4	15.4	14.9	11.8	6.1	9.6	0.9	1.3
		50歳代	185	49.7	42.2	31.9	19.5	9.7	10.8	4.9	9.2	3.2	2.2
		60歳代	115	48.7	31.3	12.2	33.9	9.6	19.1	2.6	4.3	2.6	6.1
		70歳代	189	31.7	37.0	5.3	32.3	0.5	14.8	2.6	1.1	2.1	27.0
		80歳代以上	66	22.7	33.3	4.5	30.3	1.5	9.1	3.0	3.0	6.1	31.8

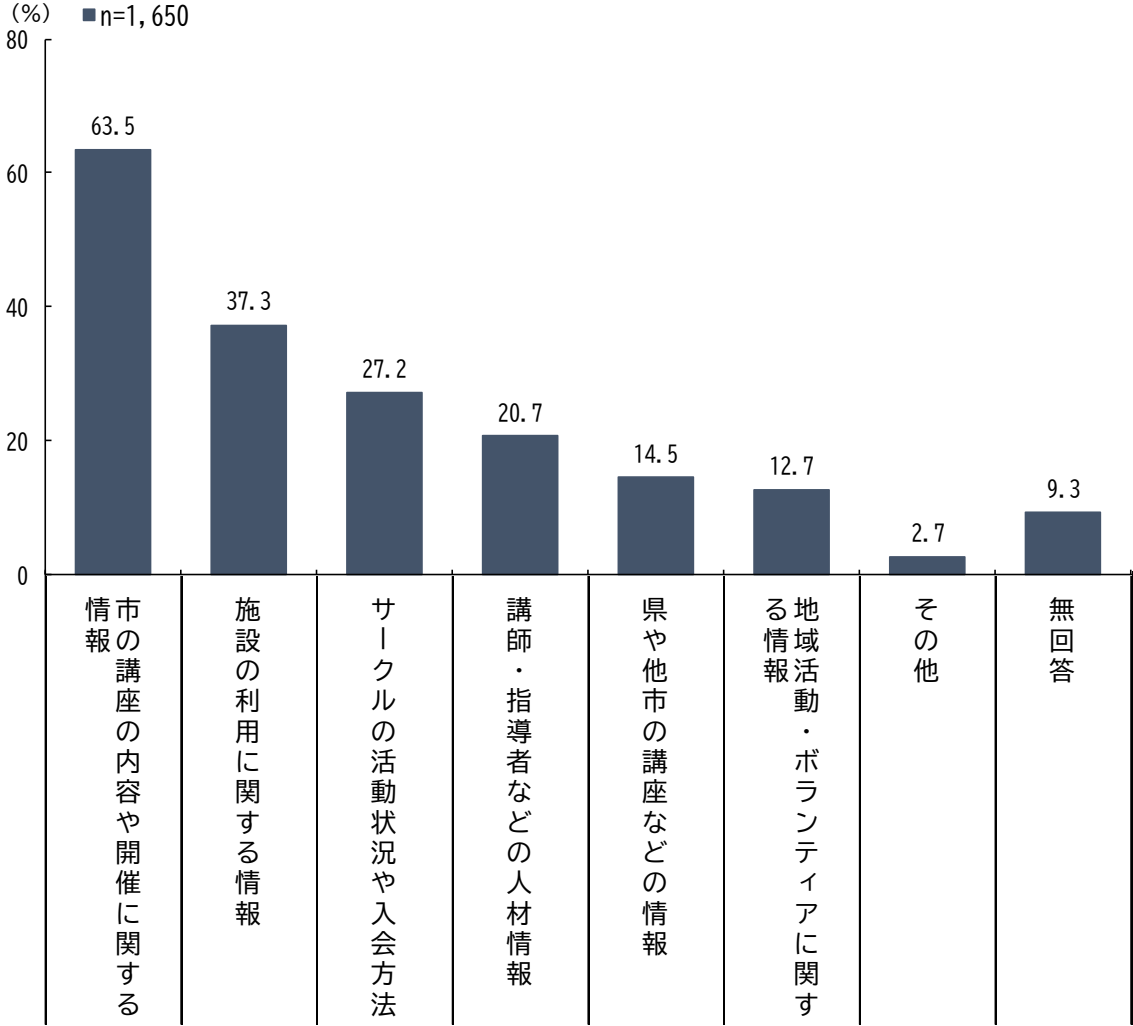
性別にみると、男女ともに回答割合の多い方から「たくさんの種類があり、希望のテーマが選択できること」、「安い費用で受講できること」の順となっています。

年代別にみると、「20歳代」で「インターネット(オンライン)で受講できること」(27.3%)、「30歳代」で「託児付き講座の実施」(27.3%)、「50歳代」で「土・日などの休日に開催する講座の実施」(35.9%)が他の年齢層よりも多くなっています。

性別年代別にみると、男性は「10歳代」「30歳代」「60歳代以上」で「たくさんの種類があり、希望のテーマが選択できること」、「20歳代」で「インターネット(オンライン)で受講できること」、「40歳代」で「安い費用で受講できること」、「50歳代」で「土・日などの休日に開催する講座の実施」が多くなっています。女性は「10歳代」「40歳代」「70歳代以上」で「安い費用で受講できること」、「20～60歳代」で「たくさんの種類があり、希望のテーマが選択できること」が多くなっています。

問8 今後、生涯学習をもっと盛んにしていくためには、どのような学習情報が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

図表 55 生涯学習を盛んにするために必要な学習情報



今後、生涯学習をもっと盛んにしていくためには、どのような学習情報が必要だと思うかについては、「市の講座の内容や開催に関する情報」(63.5%)が最も多く、次いで「施設の利用に関する情報」(37.3%)、「サークルの活動状況や入会方法」(27.2%)となっています。

図表 56 生涯学習を盛んにするために必要な学習情報 <性別・年代別>

単位：%

		有効回答数 (件)	市の講座の内容や開催に関する情報	施設の利用に関する情報	サークルの活動状況や入会方法	講師・指導者などの人材情報	県や他市の講座などの情報	地域活動・ボランティアに関する情報	その他	無回答	
性別	男性	615	58.5	38.4	25.7	20.2	15.9	12.8	4.6	9.1	
	女性	1,021	66.8	36.6	28.1	21.1	13.8	12.5	1.6	9.3	
年代別	10歳代	59	49.2	54.2	35.6	27.1	10.2	13.6	3.4	1.7	
	20歳代	132	59.8	50.8	30.3	27.3	17.4	13.6	3.8	0.8	
	30歳代	183	70.5	41.5	33.3	23.0	15.3	15.3	2.2	1.6	
	40歳代	328	72.0	39.6	29.6	19.2	11.0	11.3	2.4	2.1	
	50歳代	290	73.8	34.5	28.6	23.8	18.6	12.1	2.8	2.8	
	60歳代	206	61.2	36.4	25.2	19.4	16.5	13.6	3.9	9.7	
	70歳代	312	52.6	30.1	23.7	16.3	13.5	12.5	1.9	25.3	
	80歳代以上	127	52.0	28.3	14.2	18.1	12.6	11.0	2.4	25.2	
性別・年代別	男性	10歳代	26	42.3	50.0	38.5	19.2	11.5	3.8	3.8	0.0
		20歳代	46	47.8	41.3	32.6	23.9	8.7	8.7	8.7	0.0
		30歳代	64	70.3	43.8	32.8	34.4	18.8	18.8	3.1	1.6
		40歳代	100	61.0	46.0	30.0	15.0	7.0	14.0	6.0	3.0
		50歳代	104	67.3	37.5	24.0	21.2	24.0	10.6	4.8	3.8
		60歳代	91	53.8	37.4	19.8	20.9	16.5	13.2	8.8	8.8
		70歳代	123	57.7	31.7	23.6	13.8	18.7	14.6	1.6	21.1
		80歳代以上	61	50.8	29.5	16.4	21.3	14.8	11.5	0.0	23.0
	女性	10歳代	33	54.5	57.6	33.3	33.3	9.1	21.2	3.0	3.0
		20歳代	86	66.3	55.8	29.1	29.1	22.1	16.3	1.2	1.2
		30歳代	119	70.6	40.3	33.6	16.8	13.4	13.4	1.7	1.7
		40歳代	228	76.8	36.8	29.4	21.1	12.7	10.1	0.9	1.8
		50歳代	185	77.3	33.0	30.8	24.9	15.7	13.0	1.6	2.2
		60歳代	115	67.0	35.7	29.6	18.3	16.5	13.9	0.0	10.4
		70歳代	189	49.2	29.1	23.8	18.0	10.1	11.1	2.1	28.0
		80歳代以上	66	53.0	27.3	12.1	15.2	10.6	10.6	4.5	27.3

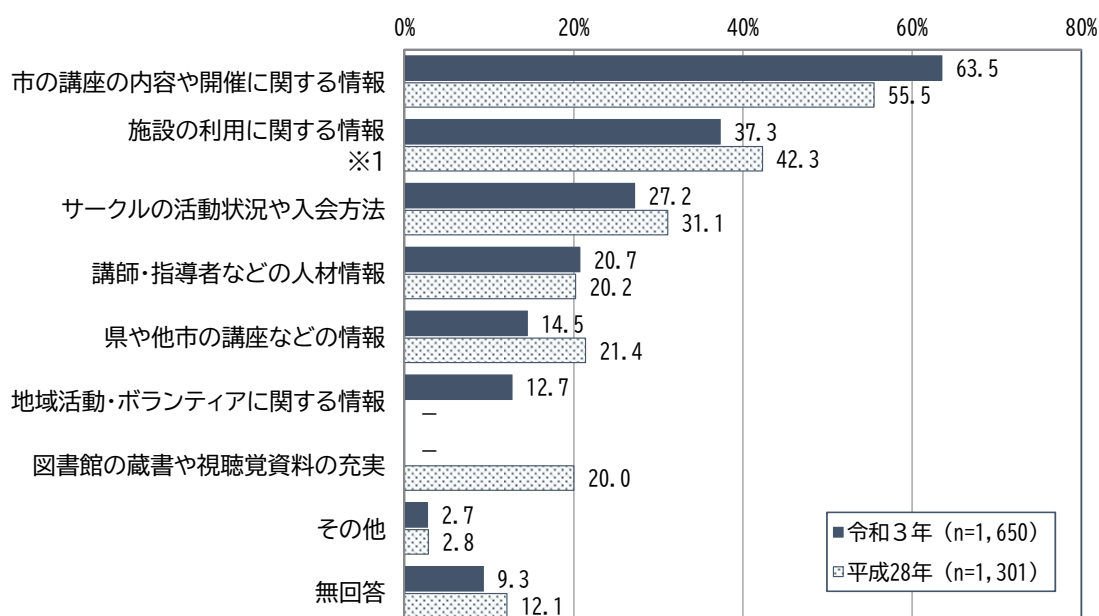
性別にみると、男女ともに回答割合の多い方から「市の講座の内容や開催に関する情報」、「施設の利用に関する情報」、「サークルの活動状況や入会方法」の順となっています。

年代別にみると、「10～20歳代」で「施設の利用に関する情報」（50%以上）、「30～50歳代」で「市の講座の内容や開催に関する情報」（70%以上）が他の年齢層よりも多くなっています。

性別年代別にみると、男女ともに「10歳代」を除き「市の講座の内容や開催に関する情報」が、「10歳代」は「施設の利用に関する情報」が最も多くなっています。

図表 57 生涯学習を盛んにするために必要な学習情報

<前回調査（平成 28 年）と今回調査（令和 3 年）との比較>

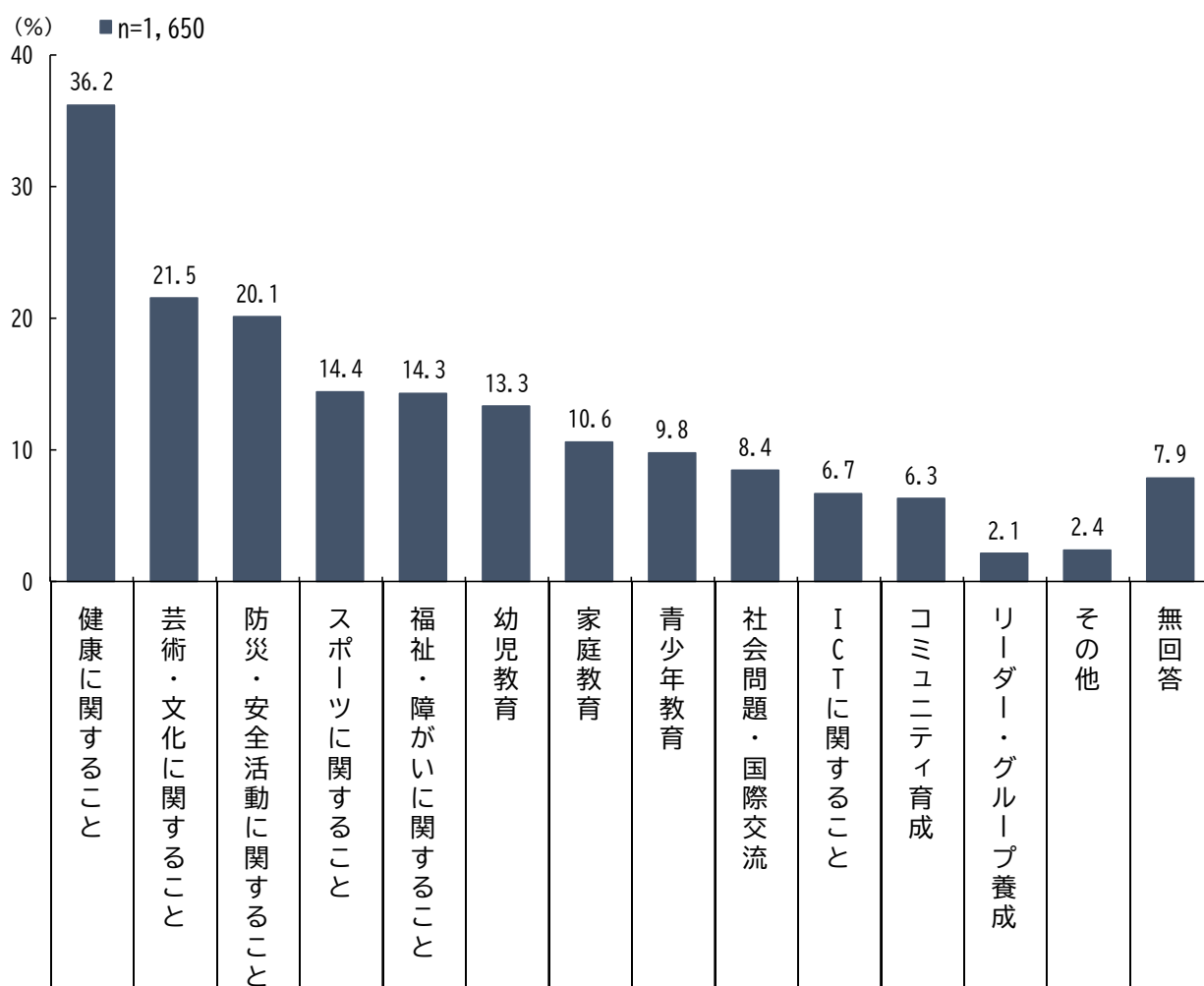


※1 施設の内容や開設状況

前回調査（平成 28 年）では、「市の講座の内容や開催に関する情報」（55.5%）が最も多く、次いで「施設の内容や開設状況」（42.3%）、「サークルの活動状況や入会方法」（31.1%）でした。前回調査と比較すると順位に大きな変動はないものの、今回の調査では「県や他市の講座などの情報」が 6.9 ポイント減となっています。

問9 今後、生涯学習を進めていく上で、特にどの分野に力を入れていくべきだと思いますか。(あてはまるもの2つまでに○印)

図表 58 今後、生涯学習進める上で力を入れるべき分野



今後、生涯学習を進めていく上で、特にどの分野に力を入れていくべきだと思うかについては、「健康に関すること」(36.2%)が最も多く、次いで「芸術・文化に関すること」(21.5%)、「防災・安全活動に関すること」(20.1%)となっています。

図表 59 今後、生涯学習進める上で力を入れるべき分野 <性別・年代別>

単位：％

		有効回答数 (件)	健康に関する こと	芸術・文化に 関すること	防災・安全活 動に関する こと	スポーツに関 すること	福祉・障がい に関するこ と	幼児教育	家庭教育	青少年教育	社会問題・ 国際交流	ICTに関す ること	コミュニ ティ育成	リーダー・ グループ 養成	その他	無回答	
性別	男性	615	34.8	20.5	22.4	17.6	12.4	8.9	8.3	11.1	9.8	8.6	5.9	2.3	4.2	6.8	
	女性	1,021	37.4	22.2	19.0	12.4	15.4	16.1	11.9	9.0	7.6	5.4	6.5	2.0	1.4	8.3	
年代別	10歳代	59	16.9	23.7	16.9	23.7	10.2	13.6	11.9	13.6	15.3	22.0	3.4	1.7	1.7	1.7	
	20歳代	132	27.3	16.7	17.4	10.6	22.0	34.1	14.4	9.1	8.3	8.3	6.1	1.5	2.3	0.0	
	30歳代	183	26.2	18.0	14.2	21.9	7.7	33.9	18.6	18.6	9.3	8.7	4.9	0.5	2.2	1.1	
	40歳代	328	34.1	20.1	17.1	22.3	11.0	16.8	11.9	14.9	8.8	11.6	9.1	1.8	2.1	0.9	
	50歳代	290	43.4	31.4	22.4	16.6	14.5	6.6	9.3	3.4	9.0	5.9	7.9	1.0	1.7	3.4	
	60歳代	206	36.4	24.8	23.8	11.2	14.1	6.3	9.7	6.8	10.2	3.4	6.3	3.4	5.3	8.7	
	70歳代	312	44.9	17.6	25.3	5.8	17.0	3.5	5.1	6.7	4.5	1.6	5.8	2.9	1.3	20.5	
	80歳代以上	127	38.6	16.5	18.9	4.7	18.9	4.7	8.7	9.4	8.7	0.8	0.0	3.9	3.9	22.8	
性別・年代別	男性	10歳代	26	11.5	23.1	19.2	30.8	3.8	11.5	7.7	19.2	11.5	23.1	7.7	3.8	3.8	0.0
		20歳代	46	28.3	10.9	21.7	21.7	19.6	17.4	6.5	4.3	10.9	15.2	8.7	2.2	4.3	0.0
		30歳代	64	28.1	10.9	10.9	37.5	4.7	23.4	14.1	18.8	12.5	18.8	6.3	0.0	1.6	1.6
		40歳代	100	25.0	19.0	18.0	27.0	6.0	13.0	10.0	18.0	9.0	16.0	9.0	2.0	6.0	1.0
		50歳代	104	33.7	26.0	29.8	18.3	11.5	5.8	9.6	6.7	7.7	6.7	6.7	2.9	3.8	2.9
		60歳代	91	35.2	23.1	24.2	9.9	14.3	6.6	9.9	8.8	14.3	1.1	5.5	3.3	8.8	8.8
		70歳代	123	51.2	20.3	28.5	6.5	19.5	1.6	2.4	5.7	3.3	3.3	4.1	0.8	2.4	15.4
		80歳代以上	61	41.0	26.2	16.4	4.9	13.1	3.3	8.2	14.8	16.4	0.0	0.0	4.9	1.6	16.4
	女性	10歳代	33	21.2	24.2	15.2	18.2	15.2	15.2	9.1	18.2	21.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
		20歳代	86	26.7	19.8	15.1	4.7	23.3	43.0	18.6	11.6	7.0	4.7	4.7	1.2	1.2	0.0
		30歳代	119	25.2	21.8	16.0	13.4	9.2	39.5	21.0	18.5	7.6	3.4	4.2	0.8	2.5	0.8
		40歳代	228	38.2	20.6	16.7	20.2	13.2	18.4	12.7	13.6	8.8	9.6	9.2	1.8	0.4	0.9
		50歳代	185	49.2	34.6	18.4	15.1	16.2	7.0	9.2	1.6	9.7	5.4	8.1	0.0	0.5	3.8
		60歳代	115	37.4	26.1	23.5	12.2	13.9	6.1	9.6	5.2	7.0	5.2	7.0	3.5	2.6	8.7
		70歳代	189	40.7	15.9	23.3	5.3	15.3	4.8	6.9	7.4	5.3	0.5	6.9	4.2	0.5	23.8
		80歳代以上	66	36.4	7.6	21.2	4.5	24.2	6.1	9.1	4.5	1.5	1.5	0.0	3.0	6.1	28.8

性別にみると、男女ともに「健康に関すること」が最も多くなっています。次いで、男性では「防災・安全活動に関すること」、女性では「芸術・文化に関すること」となっています。

年代別にみると、「10歳代」で「ICTに関すること」(22.0%)、「20～30歳代」で「幼児教育」(33%以上)、「50歳代」で「芸術・文化に関すること」(31.4%)が他の年齢層よりも多くなっています。

性別年代別にみると、男性は「10歳代」「30～40歳代」で「スポーツに関すること」、「20歳代」「50歳代以上」で「健康に関すること」が最も多くなっています。女性は「10歳代」で「芸術・文化に関すること」、「20～30歳代」で「幼児教育」、「40歳代以上」で「健康に関すること」が最も多くなっています。

問 10 今後、生涯学習をもっと盛んにしていくためには、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(あてはまるものを4つまで選び、重要だと思う順に番号を記入してください。)

図表 60 生涯学習を盛んにするために力を入れるべきこと

単位：%

	有効回答数 (件)	生涯学習講座の内容を充実させる	生涯学習に関する情報発信 (講座、サークル、人材などの情報)	生涯学習施設の利便性の向上	気軽に生涯学習について相談できる 窓口	地域で講座等を企画、支援する人材 の育成	スポーツ施設の整備	バリアフリー化など施設整備	ボランティア活動、まちづくり活動 の支援	NPO、企業等との連携	成果を生かし、発表できる場の充実	その他	特になし	無回答
1番重要	1,650	30.2	15.3	7.1	10.4	6.4	6.4	3.5	1.9	1.5	1.0	0.2	3.1	13.0
2番目に重要	1,650	15.4	17.0	11.1	9.9	9.5	5.0	3.6	4.5	3.2	1.9	0.2	0.9	18.1
3番目に重要	1,650	8.8	11.0	13.1	9.2	7.5	6.2	3.4	6.2	4.6	3.7	0.1	2.4	24.0
4番目に重要	1,650	5.2	7.2	10.6	5.2	6.5	7.2	7.9	5.5	4.7	3.9	0.3	3.0	32.8

今後、生涯学習をもっと盛んにしていくために力を入れていくべきことで『1番重要』だと思えるものについては、「生涯学習講座の内容を充実させる」(30.2%)が最も多く、次いで「生涯学習に関する情報発信(講座、サークル、人材などの情報)」(15.3%)、「気軽に生涯学習について相談できる窓口」(10.4%)となっています。

『2番目に重要』だと思えることについては、「生涯学習に関する情報発信(講座、サークル、人材などの情報)」(17.0%)が最も多く、次いで「生涯学習講座の内容を充実させる」(15.4%)、「生涯学習施設の利便性の向上」(11.1%)となっています。

図表 61 生涯学習を盛んにするために力を入れるべきこと <性別・年代別>

単位：点

		有効回答数 (件)	生涯学習講座の内容を充実させる	生涯学習に関する情報発信 (講座、サークル、人材などの情報)	生涯学習施設の利便性の向上	気軽に生涯学習について相談できる 窓口	地域で講座等を企画、支援する人材 の育成	スポーツ施設の整備	バリアフリー化など施設整備	ボランティア活動、まちづくり活動 の支援	NPO、企業等との連携	成果を生かし、発表できる場の充実	その他	特になし	無回答	
全体		1,650	1.90	1.41	0.98	0.95	0.75	0.60	0.40	0.39	0.29	0.21	0.02	0.23	0.52	
性別	男性	615	1.66	1.42	0.97	1.00	0.74	0.74	0.28	0.41	0.35	0.20	0.01	0.28	0.52	
	女性	1,021	2.04	1.41	0.99	0.92	0.77	0.50	0.46	0.38	0.26	0.22	0.02	0.20	0.52	
年代別	10歳代	59	1.31	1.14	0.68	0.78	0.58	1.15	0.73	0.80	0.46	0.56	0.10	0.34	0.34	
	20歳代	132	1.86	1.42	0.99	1.23	0.72	0.79	0.76	0.52	0.36	0.24	0.04	0.39	0.06	
	30歳代	183	2.24	1.53	0.78	0.98	0.83	0.90	0.24	0.40	0.43	0.27	0.00	0.40	0.11	
	40歳代	328	2.11	1.55	1.05	0.95	0.75	0.85	0.41	0.41	0.41	0.21	0.02	0.28	0.13	
	50歳代	290	2.43	1.51	1.10	1.01	0.93	0.59	0.36	0.33	0.28	0.16	0.02	0.22	0.25	
	60歳代	206	1.99	1.55	1.14	0.94	0.65	0.35	0.24	0.30	0.28	0.20	0.02	0.16	0.70	
	70歳代	312	1.35	1.35	0.98	0.90	0.69	0.29	0.37	0.42	0.14	0.16	0.00	0.07	1.12	
	80歳代以上	127	1.19	0.76	0.72	0.67	0.76	0.17	0.43	0.24	0.07	0.18	0.00	0.16	1.51	
性別・年代別	男性	10歳代	26	1.27	0.96	0.65	0.96	0.62	1.69	0.54	0.81	0.65	0.35	0.00	0.46	0.15
		20歳代	46	1.59	1.41	1.13	0.98	0.67	1.20	0.41	0.50	0.35	0.35	0.09	0.50	0.00
		30歳代	64	1.78	1.47	0.86	0.63	0.95	1.30	0.25	0.48	0.67	0.27	0.00	0.44	0.06
		40歳代	100	1.65	1.48	1.18	1.09	0.59	0.96	0.37	0.43	0.44	0.19	0.00	0.44	0.12
		50歳代	104	2.22	1.39	1.07	1.18	1.08	0.83	0.16	0.31	0.32	0.10	0.01	0.33	0.23
		60歳代	91	1.71	1.58	1.08	1.05	0.71	0.42	0.14	0.21	0.32	0.20	0.03	0.13	0.84
		70歳代	123	1.40	1.58	0.80	1.11	0.60	0.37	0.33	0.54	0.27	0.20	0.00	0.12	0.88
		80歳代以上	61	1.21	0.95	0.72	0.72	0.57	0.16	0.28	0.23	0.02	0.18	0.00	0.11	1.51
	女性	10歳代	33	1.33	1.27	0.70	0.64	0.55	0.73	0.88	0.79	0.30	0.73	0.18	0.24	0.48
		20歳代	86	2.00	1.43	0.92	1.36	0.74	0.57	0.94	0.53	0.37	0.19	0.01	0.33	0.09
		30歳代	119	2.49	1.56	0.73	1.17	0.76	0.68	0.24	0.36	0.30	0.27	0.00	0.38	0.13
		40歳代	228	2.31	1.59	0.99	0.89	0.82	0.80	0.43	0.40	0.39	0.22	0.03	0.21	0.14
		50歳代	185	2.54	1.57	1.12	0.92	0.85	0.46	0.46	0.34	0.25	0.19	0.03	0.16	0.26
		60歳代	115	2.20	1.53	1.19	0.85	0.59	0.30	0.31	0.37	0.25	0.21	0.02	0.18	0.59
		70歳代	189	1.31	1.20	1.10	0.77	0.75	0.24	0.40	0.34	0.06	0.14	0.00	0.04	1.27
		80歳代以上	66	1.17	0.58	0.71	0.62	0.92	0.18	0.56	0.26	0.12	0.18	0.00	0.20	1.52

※平均点は1番重要を4点、2番目を3点、3番目を2点、4番目を1点として算出。

$$\text{平均点} = \frac{\text{「1番重要」} \times 4 \text{点} + \text{「2番目」} \times 3 \text{点} + \text{「3番目」} \times 2 \text{点} + \text{「4番目」} \times 1 \text{点}}{\text{回答者数}}$$

算出された平均点は、4に近いほど重要度が高い。

重要度の平均点※を算出し、性別にみると、「生涯学習講座の内容を充実させる」は女性のほうが男性よりも多くなっています。

年代別にみると、「生涯学習講座の内容を充実させる」では「30～50歳代」を中心に多くなっており、年代が上がるにつれ低下する傾向がみられます。また、「スポーツ施設の整備」では「10歳代」で最も多くなっており、年代が上がるにつれ低下する傾向がみられます。

性別年代別でみると、「スポーツ施設の整備」では「男性10歳代」が最も多くなっています。「生涯学習講座の内容を充実させる」では「男性50歳代」「女性20～60歳代」で2点を超え多くなっています。

5 自由意見

◎生涯学習について、自由な意見をお聞かせください。

●生涯学習の内容・種類について

- ・ 好みや関心の度合いには個人差が大きいので、いきなり細分化されているところには入りにくい。市がやれることは、やや幅の広い講演会を多数開催する事ではないか。そこを入り口にして、個々の「場」を紹介し、入ってってもらおうのが良いと思う。(60歳代男性)
- ・ ふれあいセンターや学校をもっと使って講座や情報を増やしてほしい。春日井市のホームページは見にくい。子供が外国人や異文化とふれ合う機会を増やしてほしい。ふれあいセンターで子供向けの事をもっとやってほしい。(30歳代女性)
- ・ 介護予防ではなく、介護する者の知識や対応のしかたの講座をしてほしい。(70歳代女性)
- ・ 「コロナ」の時代に合った学習の充実(80歳代以上男性)
- ・ 広報で募集している「あなたの企画で講師を」というもの、とても良いと思うのですが、たくさん人が集まっていた講座でもその後定期開催されず、1期で終わり、というものも多々ある。春日井にも優れた知識やスキルを持った講師がたくさんいるのに、他市から来た人と同じカリキュラムでも使っていたりするので、もったいないなと思って毎回見えています。集客できていた講座などは素人扱いせず、市から開催の依頼を講師にして、もっと多くの人が学べるようにした方が良くと思います。それが学びのバリエーションにもなるし、より生涯学習を進めることになると思います。(50歳代女性)
- ・ 温暖化が進み、自然災害が各地で起こっているので、家庭でできる準備・安全活動について知る。(50歳代女性)
- ・ 本市の生涯学習はかなり充実している。地域に根ざした学習(郷土の歴史、歴史、幼児教育、高齢者教育 etc.) (80歳代以上男性)
- ・ 発達障がいがあるとできないことが多く、チャレンジがしにくいです。多動性があると難しいことが多いので情報や塾や習い事を受講するのが大変で、対応できる先生が少なく、コストが高いです。多様な社会を目標に不平等を減らしてほしいです。SDGsを達成して地球環境を良くしたいです。(40歳代女性)
- ・ リタイアした方とか主婦、割に時間に余裕のある方向けの講座が目につく。あと、子育て世代も同様に思う。現役サラリーマン向けのカリキュラムがあれば良いと思う。(50歳代男性)
- ・ 子どもが小さいときは子ども用の講座の充実をお願いしたいと思いましたが、今は子どもも大きくなり自分が子育て中に我慢していた趣味ややりたいことが増えてきました。また年齢を重ねたら違う分野での講座や学習できる場を希望すると思います。年代別に分けていただけると「若い中に入る」や「年配の方の中にポツン」の状況がなくなり、時間帯も合わせられるのではないかと思います。(40歳代女性)
- ・ 生涯学習というネーミングだけでは、具体的な内容が思い浮かべられませんし、何か敷居の高いイメージがあります。「まなびや選科」のことも、このアンケートで知りました。よくある講座は参加する人が決まってきてしまうと思います。今の時代に合った新しい、他の市にないような講座を開催すると注目も集まりやすいかもしれません。講座を受けた後にできるようになってることを発表したり、資格が取れたりするとやりがいがあると思います。「地球温暖化について」「カラーセラピ

- 一」「動画編集」「ハングル」etc. ダンスの講座で一曲をみんなで練習して発表する部活のような感じで大人の部活も楽しそう。(40 歳代女性)
- ・一人ひとりの市民に行き渡るような活動をしていただきたいです。(50 歳代女性)
 - ・今や世の中の大きな課題は、コロナ禍と地球環境。この環境問題については、企業努力などでの改善策が出されているが、個人としての対応は何があるか、どうすれば良いかをこの生涯学習の中で考える・行動する機会があるといいかな。(70 歳代男性)
 - ・例えば、公民館等の講座の講師は地域に埋もれた才能を持った人がいると思います。毎年講座がどの施設も同じ講座で同じ講師。こういうのも必要かもしれませんが、地域に埋もれた才能の持ち主を発掘してください。(50 歳代女性)
 - ・生涯学習と言っても年齢幅が広く、一括りには出来ない。高齢者向けのサポート的な講座も考えて欲しいと思います。(80 歳代以上女性)
 - ・健康体操など市民講座がたくさん行なわれ、それらが同好会として継続していると聞いています。しかし、それらは現在、高齢化が進み、中断寸前と聞いています。市では新しく講座を始められるが、2～3ヶ月で終わってしまう。その新しく講座を受けた人に、今存続している同好会への参加を紹介していただくと、新しい人が参加でき、その会も中断することなく続けられると思う。講座を受けただけで、持続性がないと、さみしいです。(70 歳代女性)
 - ・ふれあいセンター、公民館などのサークルに「児童文学学習会」などを加えて頂き、土曜、日曜など若い人達が集える会となると良い。読者層も広がり、読むだけでなく、創作にも活動できると良い。月1回、作家、大学講師などを招き学習できると良い。(70 歳代女性)
 - ・各講座は、各施設や担当課で企画されているようですが、もう少し統一されても良いように思います。(70 歳代女性)
 - ・1人暮らしの高齢者等、情報が入りにくい人にも、情報が渡るようにして、様々な状況で孤独、孤立している人でも、気軽に参加できる講座を積極的に行って行って欲しい。(10 歳代男性)
 - ・寝たきり、孤独、認知症等の予防のために、気軽に受講できる講座は必要だと思う。(70 歳代女性)
 - ・学習というと堅苦しいですが、趣味・興味から始められる“ものづくり”(今、自分で何かを作る方増えてますし、)の内容を多数に。(50 歳代女性)
 - ・高齢化しているので、健康、病気になったときの対応など充実させていただけるとありがたい。(80 歳代以上女性)
 - ・10代20代の若い世代は自治体の講座等を利用する、という選択肢がそもそもほとんど思いつきません。お年寄りの方の趣味のため、というイメージが強いです。若い世代にターゲットを絞った講座等があると嬉しいです。(20 歳代女性)
 - ・近隣自治体と連携しオンライン講座を開催し、相互利用できれば選択の幅が広がりありがたいと思います。(40 歳代女性)
 - ・もっと講座の種類を増やしてもらいたい。福祉系の講座が少ないと感じるので、充実させて欲しい。地域の文化財などについても気軽に学ぶ機会が欲しい。(20 歳代女性)
 - ・乳幼児からの知育講座の充実をしてほしい。(50 歳代女性)
 - ・気軽に受けられるオンライン講座を設けたら良いと思う。(30 歳代女性)
 - ・若い母親が興味のある生涯学習を増やして欲しい。(50 歳代男性)
 - ・博物館を作って専門家による講座を開講してほしい(50 歳代男性)

- ・若い人はなかなか参加しないでしょうが、問題意識のある人はそれなりにいるのではないかと思います。環境問題・エネルギー問題や、今のコロナの問題などの話を聞くにつけ、全体的に一般的な科学の基礎知識が不足しているという感は否めません。例えば、なぜCO₂が増えたら温暖化するのか説明できる人は何%くらいいるのでしょうか。市の生涯学習ですることかどうか分かりませんが、全体的な底上げが必要だと感じています。(40歳代男性)
- ・市民が関心の高いテーマの講座を充実させてほしい。(50歳代男性)
- ・例えばですが、モリコロパークにジブリパークが出来ると、海外からのお客様が高蔵寺駅をハブとして利用する可能性がある。英会話、春日井の文化の書の体験など、将来の人の流れと共に街づくりを行って、新しい生涯学習したことを活かす場面を想定して、力を入れていくことを決めて盛り上げていけたら楽しそうだと思います。(40歳代女性)
- ・恥ずかしながら「まなびや選科」について今回初めて知りました。個人の興味が多様化している現在、大変難しい取り組みかとは思いますが、小さな子供と家族で参加できるイベントが多くなるとありがたいと感じます。一方で、今はSNSで個人がつながることのできる時代ですので、民間に委ねるエリアと行政主導で行うエリアを分けることも大事であると感じます。(40歳代男性)
- ・気軽に出来る利便性と充実化は必要かと感じます。(50歳代男性)
- ・これからもっと情報化社会になるとおもうので、情報の講座を増やしてほしいと思います。(20歳代男性)
- ・春日井の歴史に関する講座があれば受けてみたい。(40歳代男性)
- ・共働きで働いていると生涯学習に取れる時間が本当でない。土日に子供達と一緒に学べるものがあれば良いと思う。書道 スポーツ 親子で学べると思う。(30歳代女性)
- ・民間企業とタイアップして、講座の企画を考える必要がある。(50歳代男性)
- ・高齢者向けの講座しか無いイメージ(40歳代男性)

●参加の意向について

- ・年齢が上がったら、生涯学習の教室に参加すると思います。高齢でも通いやすいように、交通の便など、また調べておきます。(50歳代女性)
- ・自分にとってとても興味がある生涯学習であればぜひ参加したい。その為には自分が取れる時間と曜日・費用がとても大切。(50歳代女性)
- ・フルタイムで働いているのでなかなか時間が取れません。それでも休日などに自分の興味のある講座などがもしあればぜひ参加してみたいと思います。(50歳代女性)
- ・趣味の講座を長く続けて自分の育成にしたい。(80歳代以上男性)
- ・子どもが小さくて講座にはなかなか参加できませんが、子どもが幼稚園に行くようになり、時間ができたら参加したいと思う講座がたくさんあります。福祉関係の勉強をして、ボランティアに参加できるようになりたいです。(30歳代女性)
- ・新しくできたスポーレ春日井を有効に活用したい。(50歳代女性)
- ・子育てと要介護状態の実家の親を抱えているので、自分自身の時間をとるのが難しい(今の状況が落ち着いたら何かを始めてみたい気持ちはあります)。(40歳代女性)
- ・スポーツに関し、朝宮に陸上競技場ができたのは嬉しかった。今後利用させてもらいたい。(20歳代男性)

- ・今はできるかぎり仕事を続けたいと思ってますが、退職したら何か始めてみようと思いました。年齢的にも簡単な体操や健康に関する講座、苦手なパソコンやスマホについて等の講座があったらと思います。がつつりではなくゆる〜く続けられたら楽しそうですね。(50歳代女性)
- ・どこでどのような学習ができるのかがもっと知る機会があれば、興味のあるものは参加してみたいと思います。(40歳代女性)
- ・今は、まだ係の世話とかがあるのでボランティアとかにも参加できないですが、70歳過ぎぐらいにはやれる様になるかなと思うので、何かの形でボランティアとかに参加できたらいいなと思っています。(60歳代女性)
- ・現在 76 才で、車の運転はできます。民間の文化センターで英会話を受講しております。呆け防止のつもりでやっております。車の運転が出来なくなればと思うとどうしたものかと悩んでおります。(70歳代女性)
- ・今はまだ仕事が忙しく、時間的な余裕がない。広報で色々やってるなど見てるけれど、仕事をやめたら何かに参加したいと思っています。(60歳代女性)
- ・生涯学習にはすごく興味があるが、なかなか機会がない。たくさんの種類の中から講座を選んで、気軽に受けられるような環境になるとよい。子どもと受けられるものがあるとよい。健康(身体)づくりや講座の受講、トータルして市民向けにポイント制度にするなどして、+αなにか利点が付くとすごくやる気になれるし、うれしい。(30歳代男性)
- ・今現在は仕事や家事に忙殺している状態で、学習する余裕が生まれません。日曜日などにも興味のわく講座があれば参加してみたく思います。(50歳代女性)
- ・春日井マラソンに息子が参加し、とてもよかった。毎年、出場できるといい。(40歳代女性)
- ・子供が小さく、自分時間が今は作れていない為余裕が無いのが残念です。(40歳代男性)
- ・知識を取り入れることは人生を楽しくするので、大勢の人が学ぶ事を続けていけば犯罪とか自殺とかネガティブな行動をとる人が減ると思います。得た知識を自分の楽しみだけでなく、誰か、何かに役に立つことに活用できればさらに幸せが広がります。「受けるより与える方が幸福」だからです。若い人から年配者までみんなが共に学べる場があると生きがいにつながり、ひいては優しい社会に繋がっていくと思います。(50歳代女性)
- ・生涯学習を継続してできるシステムが整備されているといい。生涯学習のさわりにあたる講座はあっても、継続するには有志というパターンが多いと思います。有志であってもいいですが、講座終了後も継続できる道すじがあらかじめ示されていると、続けたい人にとっては嬉しいと思います。(60歳代女性)
- ・機会やタイミングが合った時に、度々、講座を利用させていただきました。格安で受講ができ、良い講師の先生に恵まれました。市民講座は、気軽に学習を始められるきっかけになります。もっと学びを深めたい人は、教室を探すと思います。(50歳代女性)
- ・現在は育児で手一杯だが、生涯学習に興味はある。自分だけでできるものの他、子どもとできるものなども探してみたい。(30歳代女性)
- ・生涯学習。素晴らしい活動だと思います。しかし全くそんな活動を行う余裕がない。仕事、家事、子供の教育費や老後の資金の捻出、工面。これを全てクリアしたら気持ちに余裕が出来て何か始めようかなと考えるのかな、と思います。(50歳代女性)

● 情報源・情報発信について

- ・ まず、市で何がやれるのかを市民が知らないとやろうと思わない。楽しい話題は口コミでも広がるのだから、「買物してたらこんなチラシがあってね・・・」って、子ども達から大人に話ができるような、おもしろい広告で皆に広げてほしい。サボテンの四コマ漫画でもいいしね。(50 歳代女性)
- ・ 広報に掲載されている講座等を見るのは面白い。けれども、「よしやってみよう」とはならない。具体的にどんな様子なのか、どういった人達が参加しているのかが見えないからか・・・？(30 歳代男性)
- ・ 自分は学生ですが、地域の文化芸術を次の世代に伝えていくために、10 代の学生と高齢者の方々との交流の場を設け、そのことを 10 代にも知ることができるような形で発信していくことが大切だと思います。学生はあまり紙媒体を使わず、Twitter 等で情報を得ます。また、市主催のイベントについては「大人が参加するものではないのか？中高生が気軽に参加してもよいのか？」という心配があるので、市のイベント情報を Twitter で発信し、その投稿を著名な人のアカウントで「いいね」またはリツイートしてもらい、内容も「十代向け」等の言葉を入れるというのはいかがでしょうか。(10 歳代女性)
- ・ 魅力ある企画をわかりやすく情報発信できたら参加者が増え活性化できるのでは。(50 歳代女性)
- ・ どのようなサークルや団体が存在して、どういった活動をしているかが今一つよくわからないので、サークルや団体の PR を市の広報誌等で行ってほしい。(10 歳代男性)
- ・ そういう事をやっている事自体を聞きません(たまにやってる人から聞くくらい)。SNS 等を上手に利用してもっとたくさんの人に知ってもらえる事が大切だと思います。さらに企業さんとの連携のできる事を増やせると思います。(何しろ情報が少ないものに対して信用はあまりしないです)(40 歳代女性)
- ・ どれだけ多くの方が見ることができると重点を置いて、情報発信をして下さい。(30 歳代男性)
- ・ 生涯学習の良い所は、「4 回だけ」や「3 か月間だけ」など短期間なので初心者でも気軽に始めやすい所です。ただその後継続したいと思ってもできないので、講師の情報などが分かれば個人的にそのスクールへ通ったり、という事も可能になるので、できる限りの情報があるとうれしいです。(40 歳代女性)
- ・ 生涯学習という言葉自体、あまり市民には広まっていません。まずはその言葉を広めるところから始めるべきだと思います。私自身、このアンケートで初めて、やっていたことが生涯学習だったのか！と知りました。SNS での情報発信も大切ですが、捨てられない、見られないような DM を作らないような工夫、ポスター設置場所を増やすなど、物理的に「目にとまる」工夫が足りないと思います。(特に春日井のはじっこに住んでいるのでそう思うのかもです…。)(20 歳代女性)
- ・ まずはどんな講座があるのか知らない人達の方が多いと思うので PR をいろんな所で行い、目につく機会を増やす。タイミングも大事だと思うので年代別に案内する、とか学校の保護者あてに案内する、とか(40 歳代女性)
- ・ 春日井市公式アプリ「春ポケ」をもっと周知させる、また予約や支払などもこれらで簡素化できればより学習という観点で活性化するのではないかと感じました。(30 歳代男性)
- ・ スポーツが好きなので、施設やサークル活動の情報がほしい。(10 歳代女性)
- ・ コミュニケーションにもつながる場になって良い事だと思います。知らない方もいると思うので、SNS などで発信していくとより皆さんにも伝わると思います。(30 歳代女性)

- ・ 講座の内容の用紙がまとまっていなかったり、古かったりする。サークルなどもまとめて紹介してほしい。(50 歳代女性)
- ・ 生涯学習についての情報があまり身近ではないので、普段からその情報を知りやすくなれば、関心がわきやすくなると思います。(10 歳代女性)
- ・ 気軽に参加できる様に情報を発信して欲しいです。(50 歳代女性)
- ・ 情報を得にくい(パソコンができない為)(60 歳代女性)
- ・ 生涯学習について、もっと SNS などで発信していくべきだと思う。(10 歳代女性)
- ・ どこで申し込みしていいかわからない。申し込み方法等のやり方の案内をしてほしい。(70 歳代男性)
- ・ いつ、どこで、何を学べるかをいろんなところ・方法で発信して欲しい。(30 歳代男性)
- ・ SNS 時代なので、Twitter やインスタグラムを使って、面白い情報を発信していけば、施設を利用し、生涯学習に取り組む人が増えるのではないか。(30 歳代女性)
- ・ 学習内容や対象に応じて、情報を発信する媒体を分けていくと良いのではないかと思います。例として、高齢者に対しては新聞、病院や整体やスーパーにチラシやポスターを置く、若者に対してはインターネット、インスタ、駅のポスターなど。活動実績があるのであれば、文字だけではなく、写真などで様子が分かると魅力が伝わり、参加しやすくなると思いました。(20 歳代女性)
- ・ 現在、施設利用をする活動はしていないが、活動のジャンルによってはどのようにしたら良いか分かりにくい部分があるので、分かりやすくなると今後活動するときに助かると思います。(30 歳代男性)
- ・ そもそもこのアンケートがなければ生涯学習という言葉が知らなかったのもっと大々的に情報を発信した方が良かったと思います。わたしの友達ほぼこの言葉、なにをやるのかなど知らない子が多いと思いました。(10 歳代女性)

● 心がけ・意識について

- ・ 個人がまず興味を持ち自分の為にすれば、他人とのつながりも自然とつながると思う！(40 歳代男性)
- ・ まだ 30 代なので仕事も忙しく実感がない。(30 歳代男性)
- ・ 大切な事とは思いますが、現状の生活環境を守るのが精一杯で余裕はありません。(60 歳代男性)
- ・ 充分の年ですが、できることがあればスローライフで動ける限りできることがしたい。(70 歳代女性)
- ・ 時間と生活に余裕がある人が関心を持つことであり、日々の生活に余裕のない人は考えることすらできないことだと思う。ボランティア、NPO。活動して日々充実した生活を送っている人のみのことです。生涯学習の推進をするのは良いことだと思うが、これも一部の人たちのためのもの。(40 歳代女性)
- ・ 高齢社会、定年後の生きがいや人生について語り合う機会が必要。人は人生に何を求めるのか。認知症対応も課題だと思う。(80 歳代以上男性)
- ・ 学ぶことはとても大切なことだと思う。その学びが将来に役に立つのかは別にして、知識となりものの見方、捉え方が違ってくる。そして知恵もついてきて、見たり聞いて、体験した人こそ強い人はいないと思う。(50 歳代女性)
- ・ 市民が老若男女問わず、生きがいを持って暮らせる春日井市であってほしいです。(30 歳代女性)

- ・生涯学習という言葉はやめるべきである。今まで勉強、勉強で、死ぬまで勉強か。教育もゆとり教育に一時方針を変え、自由でやりたいことをやれた時代もあったが、学力低下するという変な考えが出た。個々の人間の能力を伸ばすのは本人次第です。何が幸せか、原点に立つべきである。(60歳代男性)
- ・春日井市は文化振興に力を入れて下さり、自然環境も緑の多い公園や各施設も多い素敵な街です。私は平成7年に春日井市の住人に加えて頂き、広報で知った講座に参加させて頂き、お友達もたくさん出来て幸せです。居心地よく25年も暮らし気づけば80代 生涯、楽しく過ごせますように。お世話になります。(80歳代以上女性)
- ・今回、「生涯学習」という言葉をよく理解していないことがわかりました。好きなことや興味があることを「続ける・やってみる」が大事だと思います。それを見つけるきっかけ作りが地元春日井市で出来ると良いと思いました。“学習”と聞くと身構えてしまいそうです。(30歳代女性)

●場所について

- ・学習する場所が近くにあり(できれば徒歩、自転車で)、その成果を発表する場所が1か所ではなく、2・3か所あり、みなさんに評価してもらえらる機会があるとやりがいにつながると思います。(70歳代女性)
- ・手軽に借りられる場所があると嬉しい。特にスポーツ。(40歳代男性)
- ・ニュータウンに住んでいますが、市の中心まで行くのが不便で、特に昨今は渋滞もひどくて車だから良いと言うわけでもなく、そういった施設に出向くのは年齢が増すと共にどんどん億劫になってしまいます。(50歳代女性)
- ・公民館主催の講座は期間限定であり、継続できない。サークル等の活動を引き続きすることが出来る場合もあるが、人間関係ができ上がっており、敷居が高い。また、場所確保についても、決められた日に抽選に並ばなくてはいけなかったり、会の役を務めることが難しいと思ったりしたことがある。また他に、小中学校の体育館で活動参加もしていたが、コロナで度々使用できなくなると、継続しづらいものがある。民間ほど授業料の高くない文化センターのようなものがあるとよい。(50歳代女性)
- ・施設等、公共の場所がすべて遠い。近くに気楽に行ける施設がない。(60歳代女性)
- ・各町内にある集会場等にて行う。気軽な学習会等を希望する。(70歳代男性)
- ・スポーツしている子供達の練習できる場所が少なすぎる。もっとグラウンド等あったらいい。(30歳代女性)
- ・生涯学習の講座は場所が限られているので、身近で受講できるといいです。(40歳代女性)
- ・公共で実施するメリットって営利で無いこと、低価格なことと思うので、まずは場所・環境の提供かと思います。(40歳代男性)
- ・スポーツ活動については施設も大会などもあり良いと思いますが、演劇や音楽などの練習する場所、発表の場が足りていないと感じます。(10歳代女性)
- ・多くの人が参加して、長く継続する活動に関しては場所の確保等の便宜を図り応援してもらいたい。(50歳代男性)
- ・自分を高めるために生涯学習は必要だと思います。何かを学びたい、と願った時に学べる環境を近くで探すことができ、習得できる機会があると便利です。ネットで学べることも多くなっていますが、地域の方とのコミュニティを持てる場が少ないので、自分の趣味等と同じ興味を持っている方々と会える場所があると嬉しいです。(40歳代女性)

- ・多くの人が生涯学習を始めるきっかけとして、中学・高校時代の部活動やサークル活動が挙げられると思うので、それらの活動場所や大会開催場所を市内に設けることで春日井市を盛り上げられると感じる。(20 歳代男性)

● 参加促進について

- ・学習の内容やレベルを明確にして、年齢にこだわらない講座内容に移すべきではないかと思っています。その方が、受講者の拡大や満足度のアップにつながって行く様になります。生涯学習は年寄りのためというより、青少年を含めて、全ての市民のために重要だからです。(60 歳代男性)
- ・自己啓発意識が高い方は、自分自身で必要なことにチャレンジすると思いますので、まずはマインドセットを変えてあげるために、情報の発信や共有が大切。気づきを得ることが、人と変えるきっかけになると思う。この講座を受講すると、将来のどんな役に立つのかという将来的な効果をしっかり説明してあげることが大切であると感じます。(30 歳代男性)
- ・生涯学習についてとても大切なことだと思いますが、今、そういうことに余裕がない人がとても増えていると思います。そういうものをどう作り出すか、生涯学習に向けて前進・発展させていくことにつながるのではないかと思います。(50 歳代女性)
- ・年と共に根気がなくなり、始めても続かない。こうした事は若いうちから始め、少しなりとも続けていける状況にしていく事が大切だと思います。(70 歳代女性)
- ・普段参加しない、したことの無い人が参加したくなるような雰囲気作りが大事だと思う。(講座や教室など) お金を取ってもいいので初めはオンラインで参加して、慣れたら実際に足を運んでみようと思うかもしれないので、コロナ禍が理由でもそれだけでなくオンラインで市民限定講座を開講してみるのはいかがでしょうか。(積極的に活用していくという意味で) (20 歳代女性)
- ・生涯学習・生涯スポーツは、これからの私たちのライフプランの中でとても大切な要素になるものと考えます。行政が主導するだけで完結する話ではありませんが、環境の整備を含めやれることをしっかり取り組んでほしいと思います。(50 歳代男性)
- ・市民が高齢になってもいきいきと暮らせる為の生涯学習の重要性を、言葉ではなく実際に気軽に参加できるような〇〇教室をいろんなジャンルで開いて、それをきっかけとして市民が活動を継続できるような取り組みかたも必要ではないかと思っています。(50 歳代女性)
- ・生涯学習については本人のやる気や姿勢が一番重要だと思っているので、市や県はそのきっかけをつくる部分に力を入れるのが良いと思っています。きっかけから興味を持てば、情報を集めたりコミュニティを探して参加したりするのは SNS も発達した今の世の中なら自然と自分でやれると思います。(30 歳代男性)
- ・「生涯学習」という堅苦しすぎるワードを変えた方が良い。気楽に見て気楽に参加できそうな雰囲気にはとても見えない。(30 歳代男性)

● 施設利用について

- ・生涯学習に意欲を持っていても、若い方々は仕事、子育てがあり、高齢者は近くの施設にも行くのが大変という方もある。まず、少人数でも大した施設でなくても集まって、始められる活動・活動場所があると良いなと思います。(70 歳代女性)

● 施設等の管理・整備について

- ・ 朝宮公園に立派な陸上競技場ができました。それはそれで良かったのですが、屋外プールがなくなってしまいました。朝宮公園の屋外プールは名古屋の人からも人気がありました。春日井市民プールの他に、もう1つ屋外にプールがあるといいなと思いました。(40歳代女性)
- ・ 学習できる施設が地域的に固まっている気がしていて、はずれの地域に住んでいるとほとんど情報が少ない。図書も近めのところへ行っても古いものばかりだし、子ども向けのものも全然なかった。子どもの遊べる施設もかなり遠いところにあることは聞いたが、小牧のようにあちこちあるわけではないので、引っ越してきたときとても困った。どこに聞いたらいいかもわからないくらい情報がわかりやすくなく、少ないと感じた。(40歳代女性)
- ・ 生涯学習が円滑に進められるように図書館や公民館などの施設をもっと充実させてほしい。(10歳代男性)
- ・ 春日井市も高齢化が進み、問題と対策が問われていると思います。一般、高齢、障害それぞれが関係なく市民が自由に使用できる施設(体力が落ちても水中歩行運動やリハビリ的運動ができる)を高蔵寺辺りに建ててほしい。スポーツ、文化、課は関係なく新しい取り組みを願います。(50歳代女性)
- ・ 施設を増やして欲しい。(70歳代女性)
- ・ 市営の体育館などのスポーツ施設を増やして欲しい(20歳代男性)
- ・ 公共施設での交通系の支払いなどキャッシュレスでの支払いをもっと充実して欲しい。(40歳代女性)

● 時期・日時について

- ・ 土日祝日に安い費用で受講できる講座をたくさん増やしてほしいです。運動系は朝宮総合体育館が多いので他の公民館でも増やして欲しいです。(40歳代女性)
- ・ 学習というと堅苦しいですが、趣味・興味から始められる“ものづくり”(今、自分で何かを作る方増えていますし、)の内容を多数に。でも、日程を決められると、不定休の自分にはカルチャーセンターに行く事も難しくなります。結果、始めるなら個人で、となってしまいます。(50歳代女性)
- ・ 継続的学習は理想ですが、単発の学習形態にさせていただいて、何度か受けてもよいように、またその日に行けなかったら、同じ内容をくり返し開いてもらうことも大切な気がします。(70歳代女性)
- ・ 時間帯が選べたり、平日・祝日等選べたり、とにかく仕事をしていても参加出来る様な設定や、もっと広くにアンケート等で内容等を把握して充実させていく事が大切だと思います。(50歳代女性)
- ・ まだ、パートで働いているので土日の講座等を希望します。いつも、広報で情報を確認していますが、参加したい講座はすべて平日です。(60歳代女性)
- ・ 土日祝日の講座を増やすと良いと思います。(30歳代男性)

● 交通手段について

- ・ 気軽に参加できる、公共交通を充実してほしい。シティバスも1時間に1本、まったく無い時間帯もあり、足がない人は参加しづらいです。(70歳代女性)
- ・ 交通の便が不自由。(80歳代以上女性)
- ・ スマホ、パソコンもなし、施設に行く足もなしではなかなか学習は難しいです。近場の人、車のある人、車に乗せてもらえる人以外、行くだけでも困難です。春日井市のはずれに住んでいる者には行く方法がありません。(70歳代女性)

- ・ 学習内容ではないのですが、生涯学習など施設への交通手段の充実を（文化フォーラム春日井、市民会館など公共交通は使いにくい）（60 歳代女性）
- ・ 会場（施設）へ行くまでの利便性を考えると自家用車に頼らざるを得ない。免許を返納してしまうと、受講する機会も大幅に減少すると思う。コミュニティバスが移動販売車のように近くまで来てくれると、遠くの会場まで足を伸ばすことも出来るが…。（70 歳代女性）
- ・ 市内をバスで気軽に移動できれば良いがどこまでも車で行かなければならない不便さを解消しないと発展していかないように見受けられる。高齢化も進むし、一部の人だけで騒いでいる印象がある。（40 歳代女性）

● 行政について

- ・ 多くの意見を考え、市民にとってプラスになることを優先し、それを迅速に対応し実現することが必要。
- ・ 公民館等の情報を詳しく広報等で知らせてほしい。市民が何を学びたいかを知る。生涯学習も良いのですが、貧困の家の子どもたちの学習にもっと支援をした方が未来のために良いのでは。（50 歳代女性）
- ・ 健康について一番関心があると思うので、スポーツ施設の充実やスポーツの大会を春日井市が支援してほしい。今特に剣道は充実していると思うが、他の種目も応援して、スポーツの町として春日井市の名をとどろかせてほしい。（50 歳代男性）

● 学校・子どもの教育について

- ・ 「生涯学習」はとても大切だと思いますが、家庭で親がそのような姿勢を子どもたちに見せているかが重要になってくるのではないかと考えます。保護者に余裕がなければなかなか難しいのでは。学校教育の中から、小さいうちから生涯学習について考えさせられるようにしていくことで、今後生涯学習が盛んになっていくのでは、と思います。若い人をターゲットにしていくことが大切では。（40 歳代女性）
- ・ 子育て世代の親は忙しく、自分自身の学習まで、気がまわりません。しかし、子供を通してのイベント、施設を利用することは多く、私たち世代を取りこむとしたら、子供たちの学習の充実が親たちの学習へのきっかけになると思います。（40 歳代女性）
- ・ 子供に陸上クラブを習わせたく、春日井市でやってないか探しましたが無く、他市のジュニア陸上クラブに現在通わせています。春日井市でもこのような利用ができればいいなと思います！（30 歳代女性）

● 費用について

- ・ 費用が安く、長く続けられるもの。（70 歳代女性）
- ・ 公共で実施するメリットって営利で無いこと、低価格なことと思うので、まずは場所・環境の提供かと思います。（40 歳代男性）

● 交流について

- ・ 小・中学校の時に障がいを持っている子たちと交流する機会があって、貴重な経験だと思ったのでもっといろんな学校でもそんな機会があってもいいのかなと思った。（20 歳代男性）
- ・ 春日井市も外国人が生活していると思いますがまだまだ名古屋に比べると少ないと思います。ここで暮らしている外国人がもっと一緒に参加できるような取り組みを希望します。災害などが発生し

た時も、皆で支えていけるような街にしてほしい。外国人がもっと地域のイベントで講座に参加できるような機会を設けてほしいです。(40 歳代女性)

● **就業について**

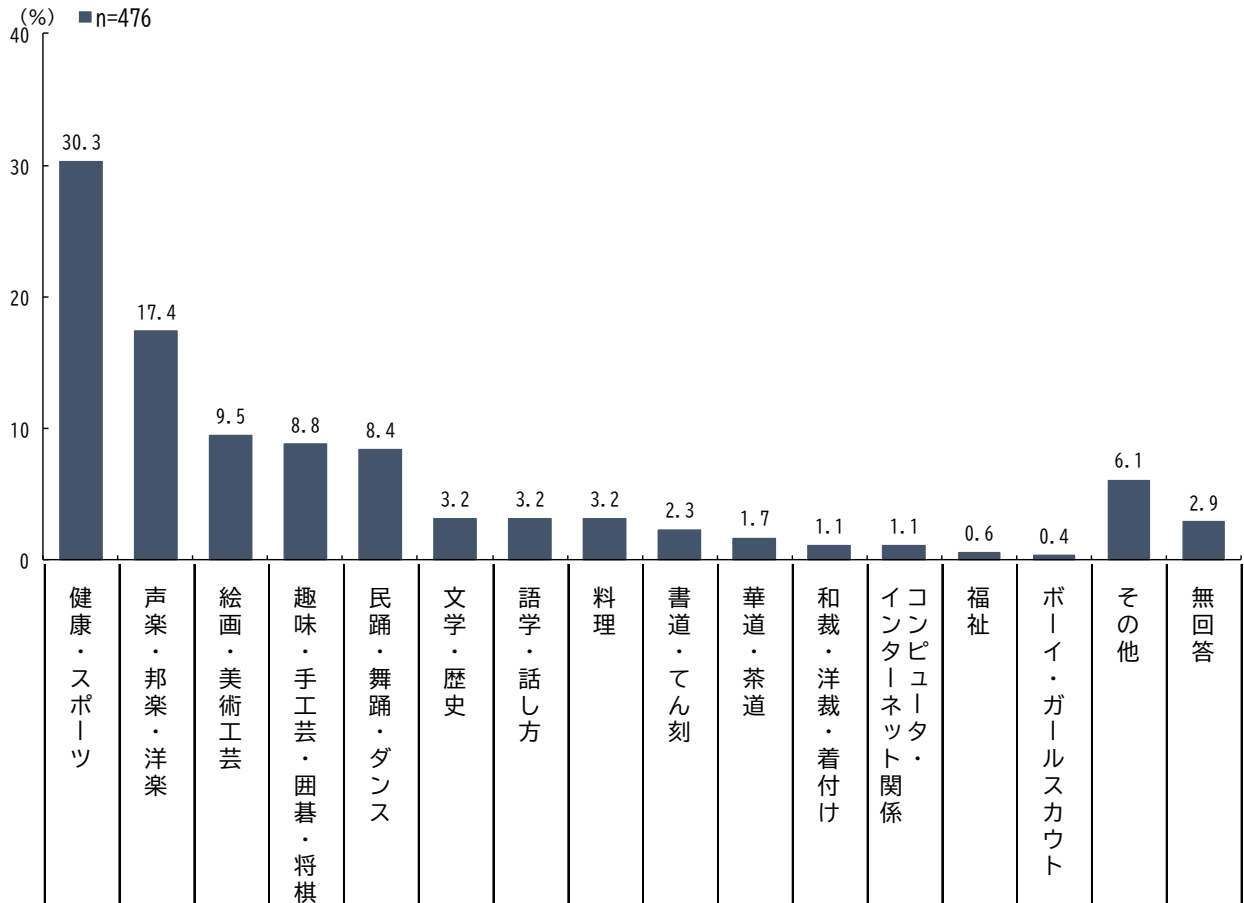
- ・ 高齢者がゆとりある時間を活かし、趣味やテイスト等から興味のあることから学び始めるというのはこれまでの生涯学習のセオリーなのかもしれません。しかし、「人生 100 年時代」と言われている現在、高齢にあっても就業したいという意欲は多人の人が持っています。生涯学習を通して学んだ知識を活かして、社会活動を再開し、また継続していくための支援施策の一つとして捉えることも重要かと思います。(70 歳代男性)

Ⅲ 団体アンケート調査結果

1 団体について

問1 あなたの団体の分野についてお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

図表 62 団体の分野

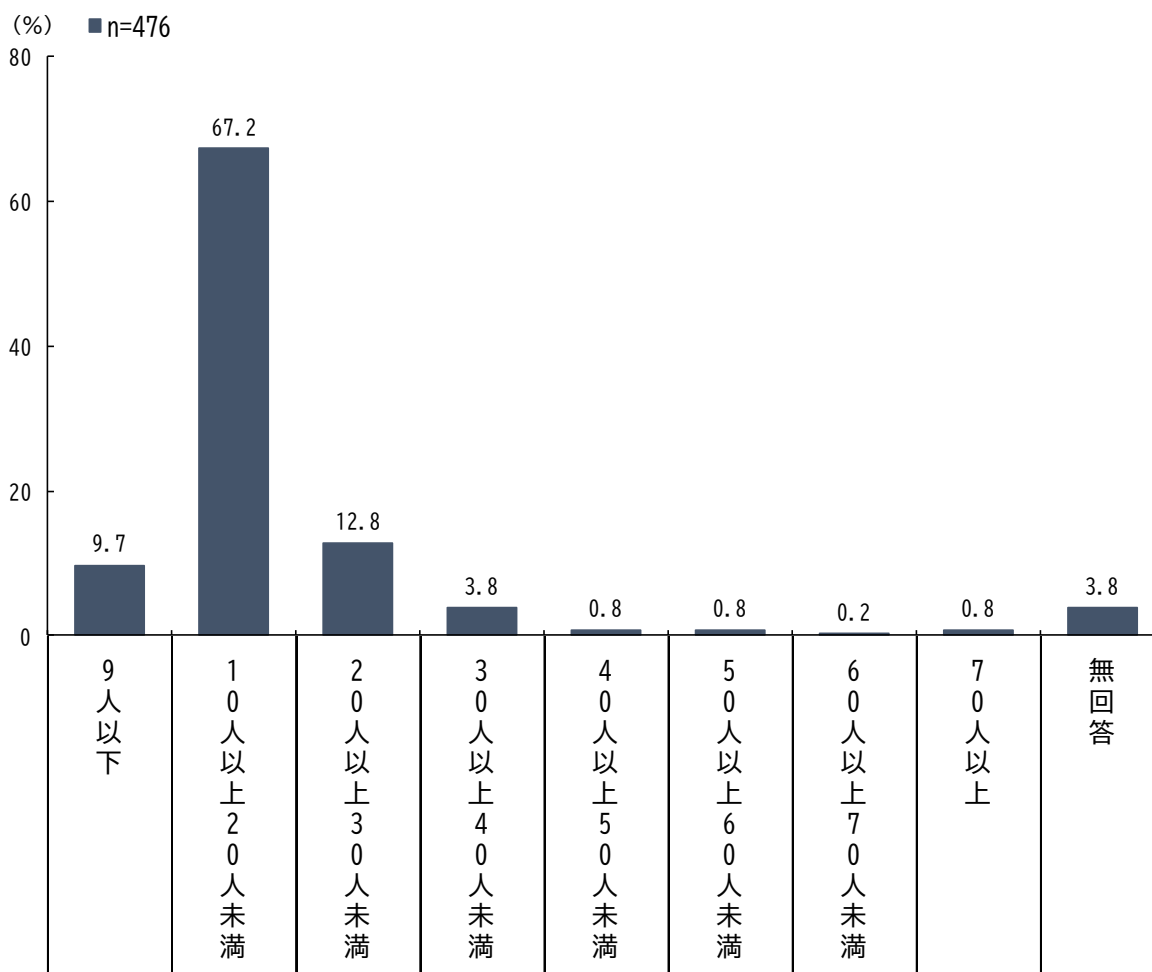


あなたの団体の分野については、「健康・スポーツ」(30.3%)が最も多く、次いで「声楽・邦楽・洋楽」(17.4%)、「絵画・美術工芸」(9.5%)となっています。

問2 あなたの団体の会員数、男女数、年齢層についてお答えください。

① 団体の人数構成及び男女数（数字で記入 令和3年9月1日現在）

図表 63 団体の人数構成



団体の人数構成については、「10人以上20人未満」(67.2%)が最も多く、次いで「20人以上30人未満」(12.8%)、「9人以下」(9.7%)となっています。

図表 64 団体の男女数

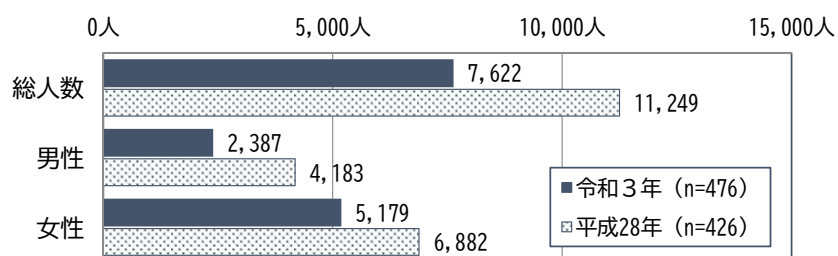
n=476

	有効回答件数	有効回答人数
総人数	463件	7,622人
男性	376件	2,387人
女性	458件	5,179人

※ 所属団体の「総人数」「男性」「女性」を別々に記入してもらった関係上、有効回答件数が異なり、「総人数」≠「男性」+「女性」となっています。

団体の男女数については、男性が2,387人、女性は5,179人となっています。

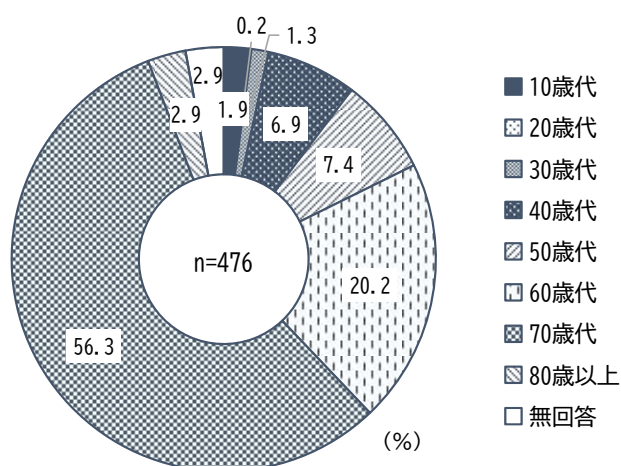
図表 65 団体の男女数 <前回調査（平成28年）と今回調査（令和3年）との比較>



前回調査（平成28年）では、男性が6,882人、女性は4,183人でした。今回の調査では男女ともに人数が減少する結果となっています。

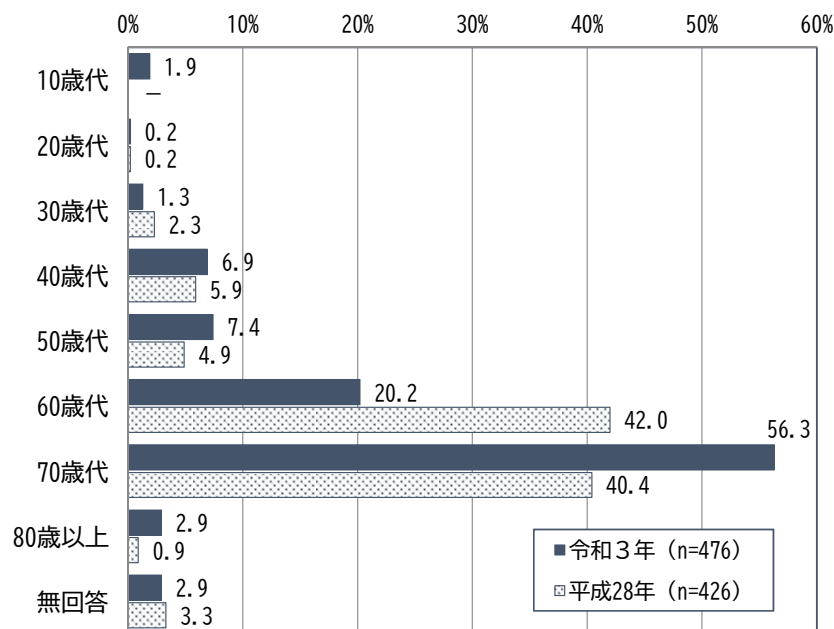
② 団体の一番多い年齢層（あてはまるもの1つに○印）

図表 66 団体の一番多い年齢層



団体の一番多い年齢層については、「70歳代」(56.3%)が最も多く、次いで「60歳代」(20.2%)、「50歳代」(7.4%)となっています。

図表 67 団体の一番多い年齢層 <前回調査(平成28年)と今回調査(令和3年)との比較>

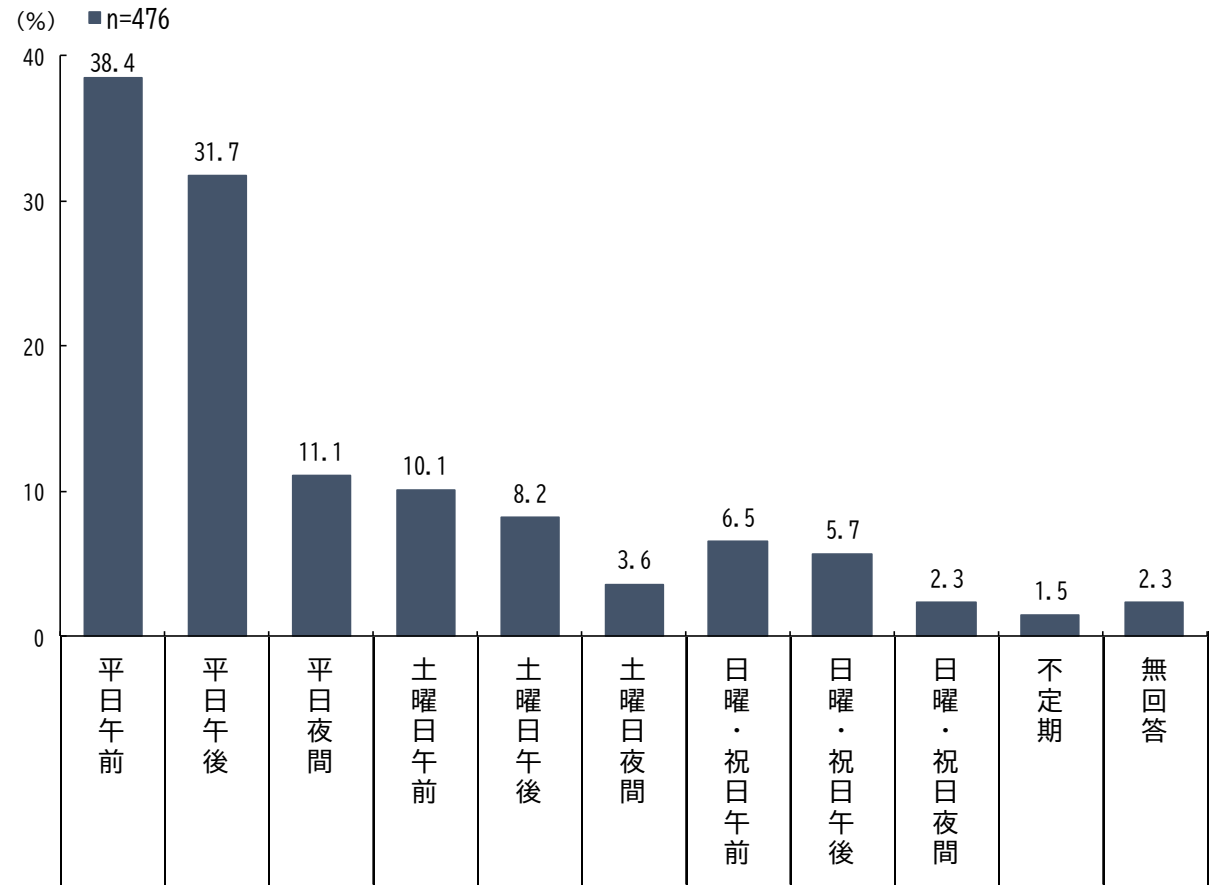


前回調査(平成28年)では、「60歳代」(42.0%)と「70歳代」(40.4%)がともに約4割で多くなっていましたが、今回の調査では「70歳代」(56.3%)が5割半ばで最も多く前回調査と比べると15.9ポイント増、「60歳代」(20.2%)は21.8ポイント減と大きく差が開く結果となっています。

問3 あなたの団体が主に活動されている曜日、時間帯、活動回数についてお答えください。

① 主に活動する時間帯（あてはまるものすべてに○印）

図表 68 主な活動時間帯



主に活動する時間帯については、「平日午前」(38.4%)が最も多く、次いで「平日午後」(31.7%)、「平日夜間」(11.1%)となっています。

図表 69 主な活動時間帯 <年代別>

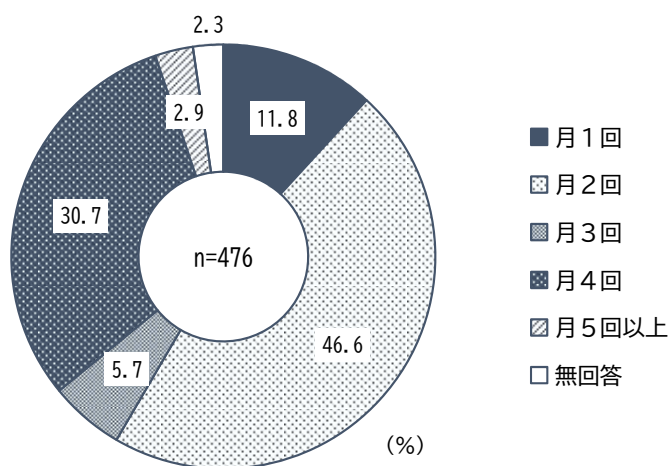
単位：％

	有効回答数 (件)	平日午前	平日午後	平日夜間	土曜日午前	土曜日午後	土曜日夜間	日曜・祝日午前	日曜・祝日午後	日曜・祝日夜間	不定期	無回答
10歳代	9	0.0	0.0	55.6	0.0	11.1	55.6	22.2	0.0	22.2	11.1	0.0
20歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	6	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0
40歳代	33	42.4	15.2	18.2	9.1	18.2	9.1	12.1	15.2	6.1	0.0	0.0
50歳代	35	34.3	17.1	28.6	14.3	5.7	11.4	14.3	14.3	8.6	2.9	0.0
60歳代	96	45.8	37.5	6.3	8.3	9.4	1.0	6.3	6.3	1.0	3.1	0.0
70歳代	268	39.6	36.2	7.1	11.2	7.8	1.1	4.1	4.1	0.4	0.4	0.4
80歳代以上	14	50.0	35.7	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0

年代別にみると、「40～50歳代」で「平日夜間」（18%以上）、「40歳代」で「土曜日午後」（18.2%）が他の年齢層よりも多くなっています。

② 活動回数（あてはまるもの1つに○印）

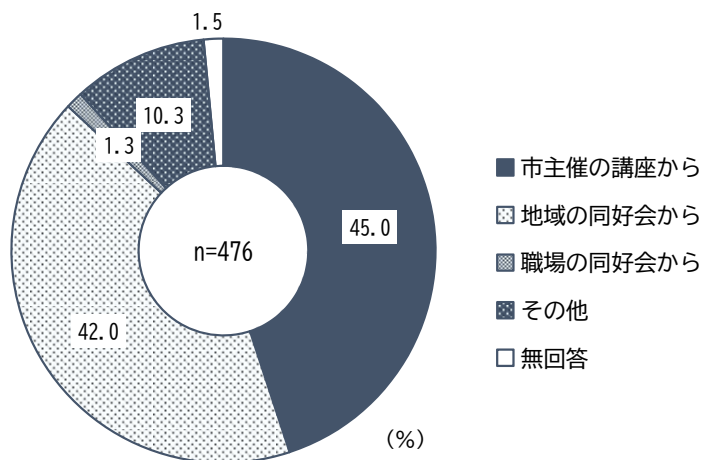
図表 70 活動回数



活動回数については、「月2回」（46.6%）が最も多く、次いで「月4回」（30.7%）、「月1回」（11.8%）となっています。

問4 あなたの団体の設立経緯についてお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

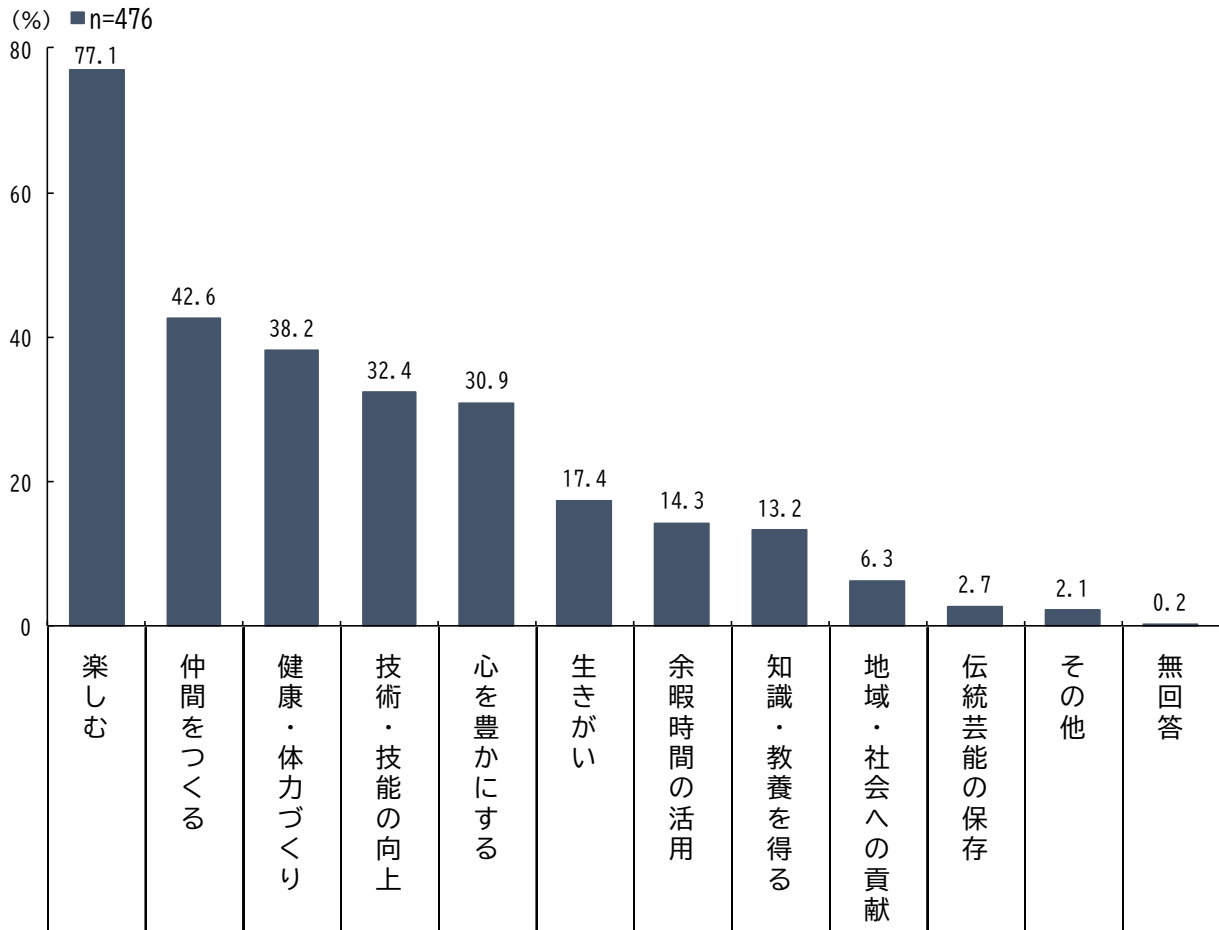
図表 71 団体の設立経緯



団体の設立経緯については、「市主催の講座から」(45.0%)が最も多く、次いで「地域の同好会から」(42.0%)となっています。

問5 あなたの団体および会員の皆さんは、どのような目的をもって活動に参加していますか。(あてはまるもの3つまでに○印)

図表 72 活動に参加する目的



団体および会員の皆さんは、どのような目的をもって活動に参加しているかについては、「楽しむ」(77.1%)が最も多く、次いで「仲間をつくる」(42.6%)、「健康・体力づくり」(38.2%)となっています。

図表 73 活動に参加する目的 <団体の分野別>

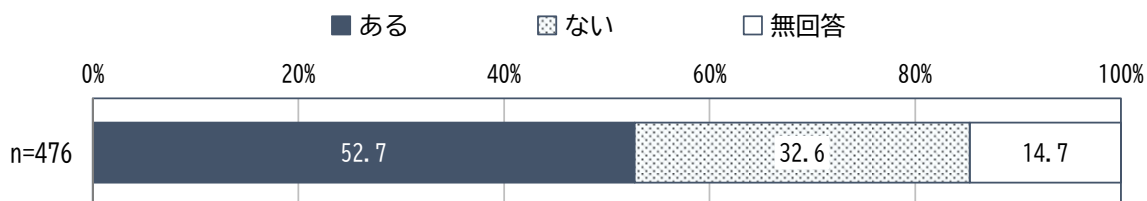
単位：%

	有効回答数 (件)	楽しむ	仲間をつくる	健康・体力づくり	技術・技能の向上	心を豊かにする	生きがい	余暇時間の活用	知識・教養を得る	地域・社会への貢献	伝統芸能の保存	その他	無回答
文学・歴史	15	66.7	53.3	0.0	0.0	66.7	26.7	13.3	60.0	6.7	0.0	6.7	0.0
語学・話し方	15	60.0	53.3	0.0	0.0	20.0	20.0	26.7	100.0	0.0	0.0	6.7	0.0
絵画・美術工芸	45	77.8	55.6	0.0	60.0	33.3	17.8	22.2	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0
書道・てん刻	11	72.7	36.4	0.0	63.6	18.2	9.1	45.5	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0
華道・茶道	8	62.5	37.5	0.0	37.5	62.5	0.0	12.5	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
和裁・洋裁・着付け	5	100.0	0.0	0.0	80.0	20.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
趣味・手工芸・囲碁・将棋	42	88.1	52.4	0.0	47.6	38.1	21.4	14.3	7.1	4.8	0.0	0.0	0.0
料理	15	80.0	46.7	13.3	46.7	20.0	6.7	6.7	26.7	6.7	0.0	0.0	0.0
声楽・邦楽・洋楽	83	90.4	28.9	10.8	38.6	49.4	33.7	14.5	4.8	8.4	8.4	1.2	0.0
民謡・舞踊・ダンス	40	67.5	30.0	70.0	22.5	27.5	7.5	22.5	2.5	12.5	7.5	0.0	2.5
健康・スポーツ	144	75.7	46.5	92.4	16.0	13.2	11.8	9.0	1.4	2.1	0.0	0.7	0.0
福祉	3	33.3	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0
ボーイ・ガールスカウト	2	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0
コンピュータ・インターネット関係	5	60.0	80.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	29	69.0	41.4	10.3	34.5	51.7	6.9	13.8	27.6	17.2	3.4	10.3	0.0

団体の分野別にみると、「趣味・手工芸・囲碁・将棋」「声楽・邦楽・洋楽」で「楽しむ」(88%以上)、「民謡・舞踊・ダンス」「健康・スポーツ」で「健康・体力づくり」(70%以上)、「絵画・美術工芸」「趣味・手工芸・囲碁・将棋」で「技術・技能の向上」(47%以上)が他の分野よりも多くなっています。

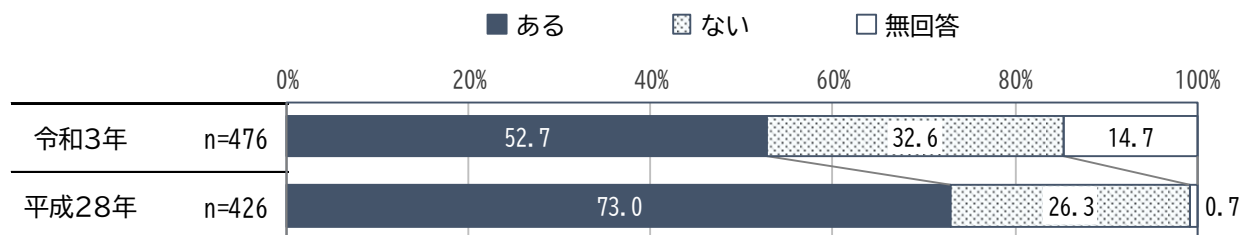
問6 日頃の学習の成果を発表する機会がありますか。(あてはまるものに○印)

図表 74 成果を発表する機会の有無



日頃の学習の成果を発表する機会はあるかについては、「ある」が 52.7%、「ない」が 32.6%となっています。

図表 75 成果を発表する機会の有無 <前回調査（平成 28 年）と今回調査（令和 3 年）との比較>

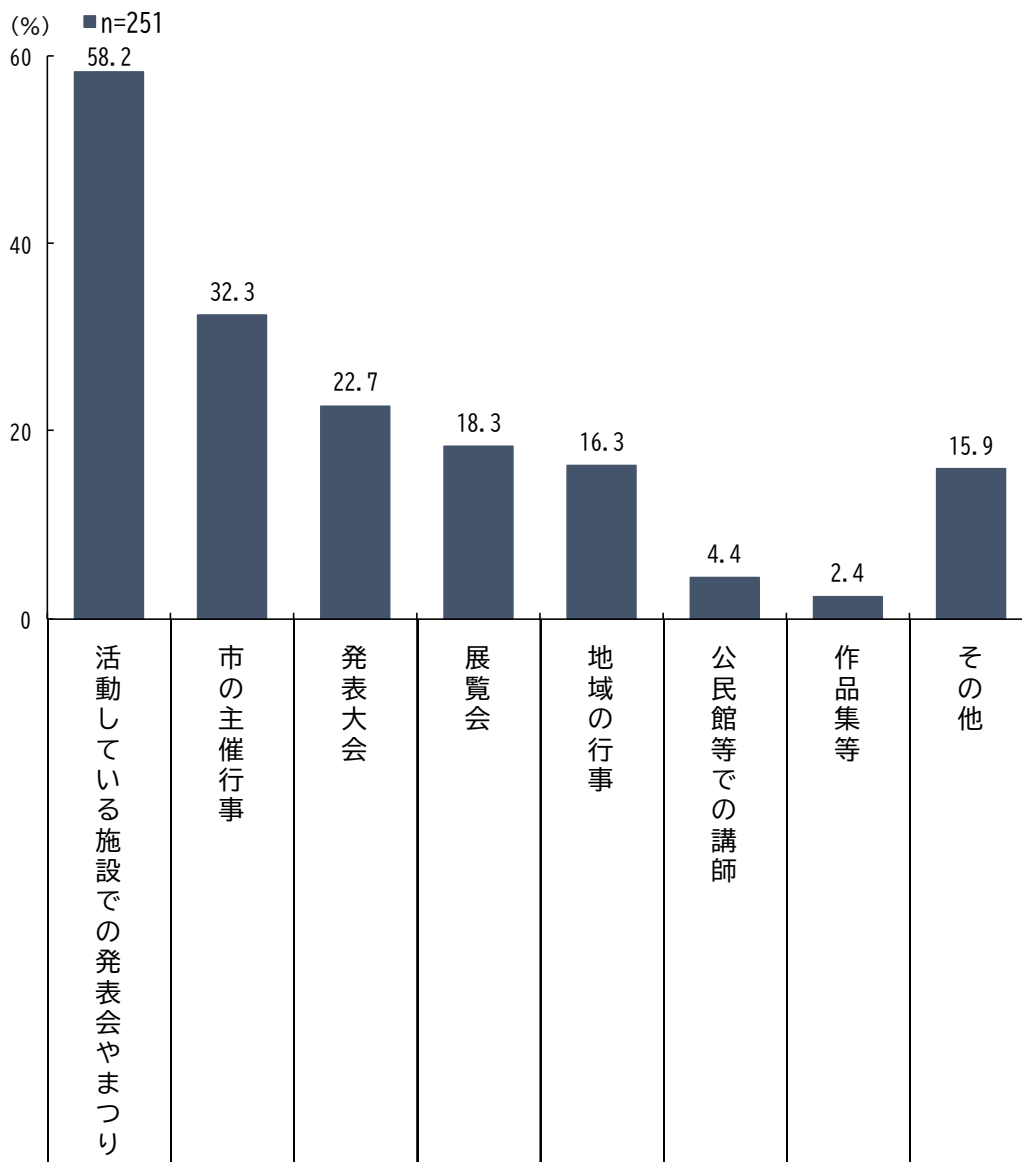


前回調査（平成 28 年）では「ある」が 73.0%となっており、今回の調査では 20.3%減となっています。

問6で「1 ある」と答えられた方にお聞きします。

問6-1 発表する機会はどのようなときですか。(あてはまるものすべてに○印)

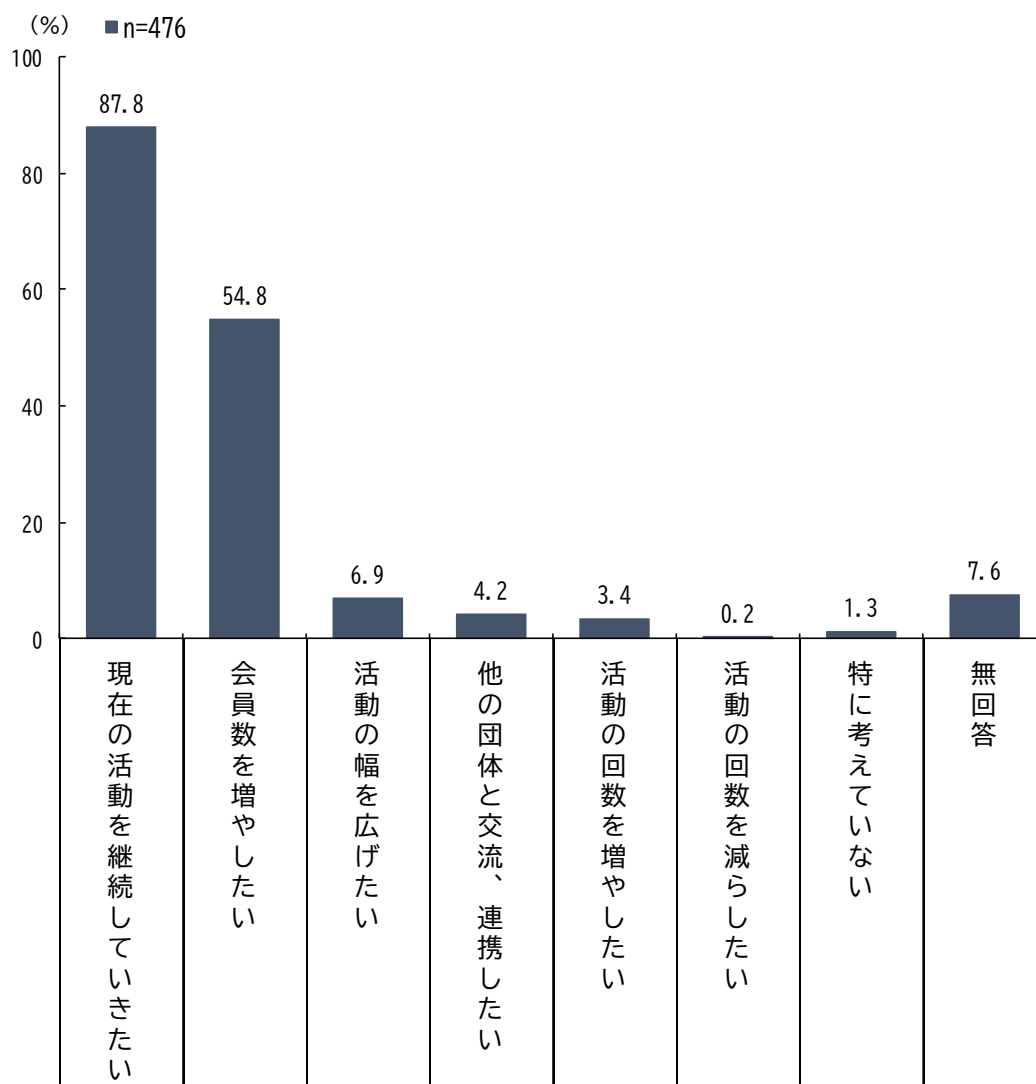
図表 76 成果を発表する機会



発表する機会はどのようなときかについては、「活動している施設での発表会やまつり」(58.2%)が最も多く、次いで「市の主催行事」(32.3%)、「発表大会」(22.7%)となっています。

問7 今後の活動をどのように進めたいですか。(あてはまるもの2つに○印)

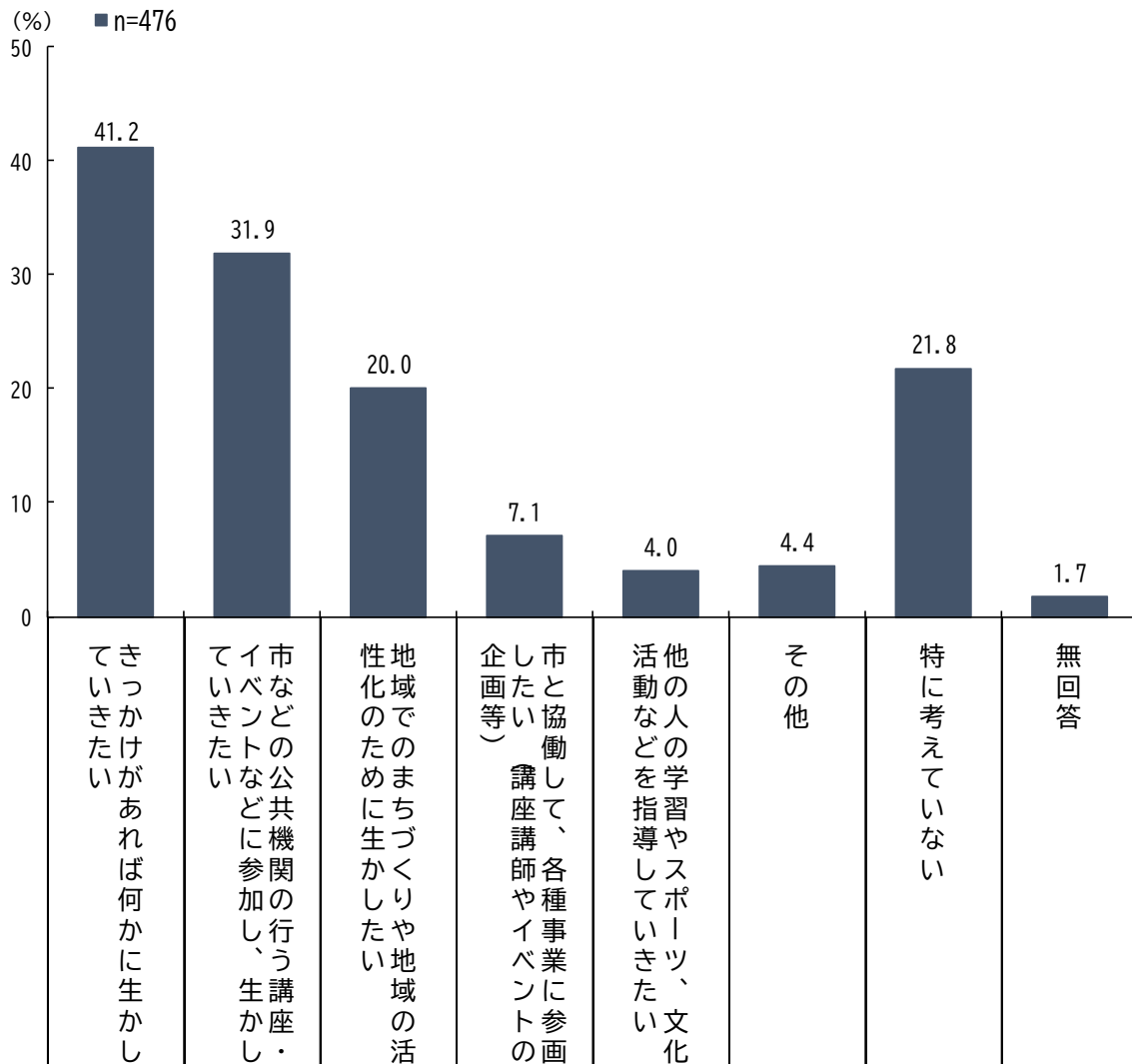
図表 77 今後の活動の進め方



今後の活動をどのように進めたいかについては、「現在の活動を継続していきたい」(87.8%)が最も多く、次いで「会員数を増やしたい」(54.8%)となっています。

問8 団体として、活動してきた経験をどのように生かしたいですか。(あてはまるもの2つに○印)

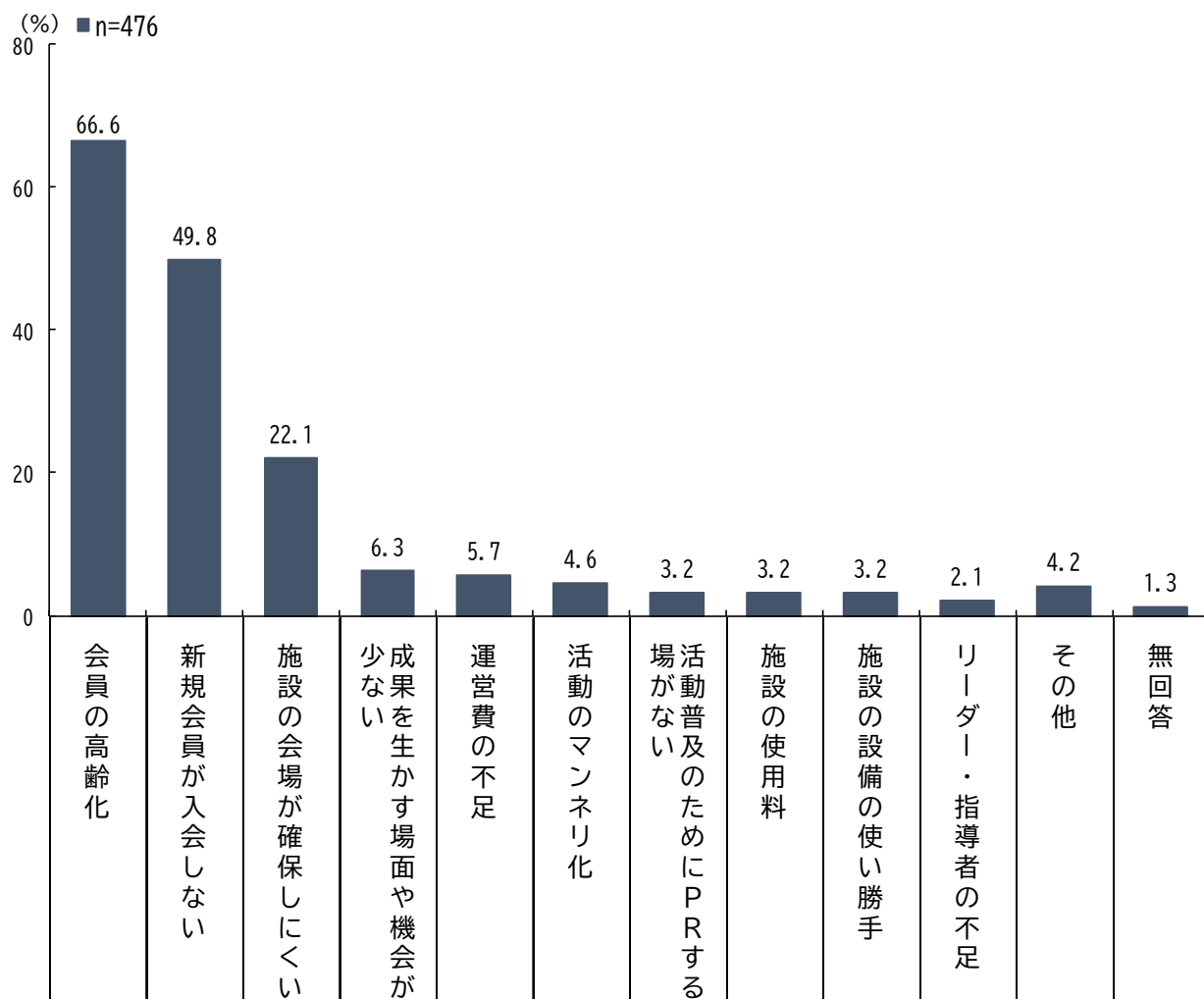
図表 78 活動した経験の活かし方



団体として、活動してきた経験をどのように生かしたいかについては、「きっかけがあれば何かに生かしていきたい」(41.2%)が最も多く、次いで「市などの公共機関の行う講座・イベントなどに参加し、生かしていきたい」(31.9%)、「地域でのまちづくりや地域の活性化のために生かしたい」(20.0%)となっています。一方で「特に考えていない」は21.8%となっています。

問9 活動を行っていく上での課題や問題点についてお答えください。(あてはまるもの2つまでに○印)

図表 79 活動を行う上での課題や問題点



活動を行っていく上での課題や問題点については、「会員の高齢化」(66.6%)が最も多く、次いで「新規会員が入会しない」(49.8%)、「施設の会場が確保しにくい」(22.1%)となっています。

図表 80 活動を行う上での課題や問題点 <年代別>

単位：%

	有効回答数 (件)	会員の高齢化	新規会員が入会しない	施設の会場が確保しにくい	成果を生かす場 面が少ない	運営費の不足	活動のマンネリ化	活動普及のため PRする場がない	施設の使用料	施設の設備の使 い	リーダー・指 導者の不足	その他	無回答
10歳代	9	0.0	33.3	22.2	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4	0.0
20歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	6	0.0	50.0	66.7	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0
40歳代	33	18.2	21.2	39.4	6.1	3.0	12.1	6.1	9.1	9.1	9.1	3.0	6.1
50歳代	35	31.4	48.6	28.6	8.6	14.3	2.9	0.0	5.7	8.6	0.0	5.7	2.9
60歳代	96	52.1	42.7	28.1	9.4	8.3	7.3	2.1	5.2	1.0	3.1	5.2	2.1
70歳代	268	84.7	56.7	16.4	6.0	3.4	3.7	3.7	1.1	2.6	1.1	1.9	0.0
80歳代以上	14	92.9	57.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0

年代別にみると、「40歳代」で「施設の会場が確保しにくい」(39.4%)、「70歳代」で「会員の高齢化」(84.7%)が他の年齢層よりも多くなっています。

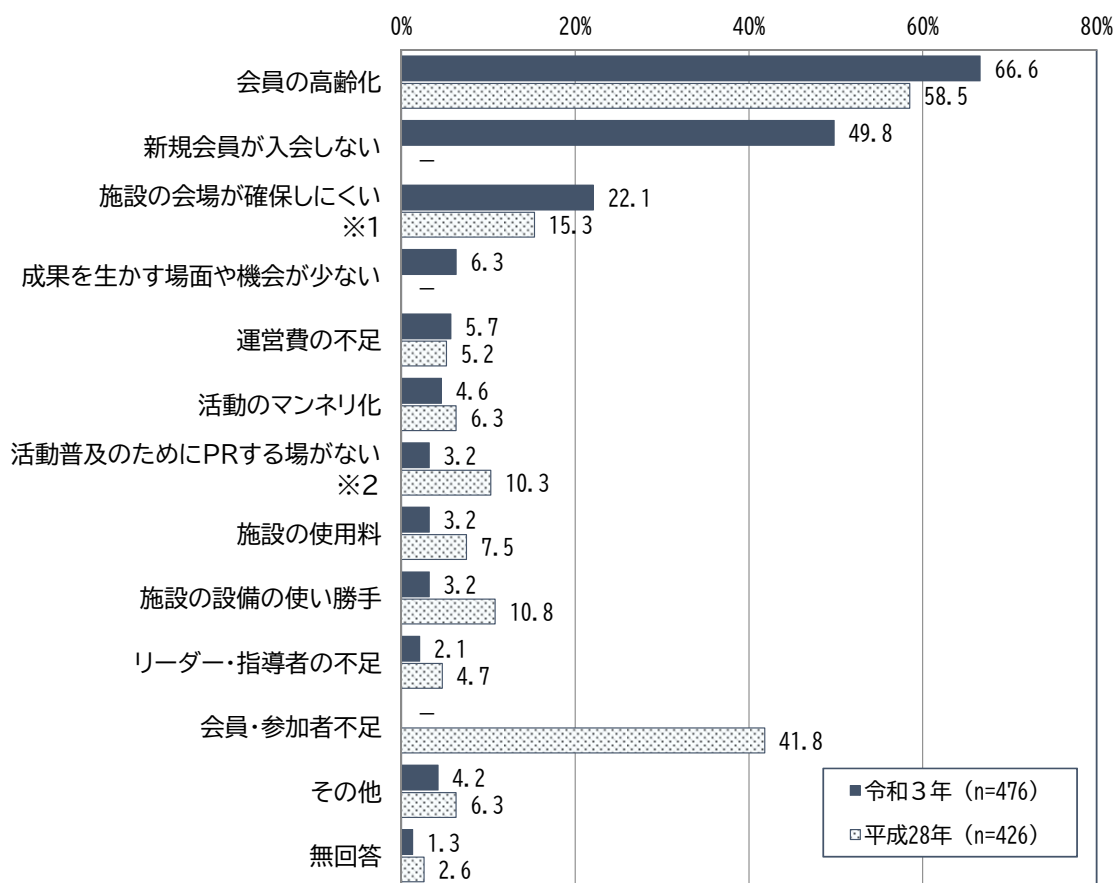
図表 81 活動を行う上での課題や問題点 <団体の分野別>

単位：%

	有効回答数 (件)	会員の高齢化	新規会員が入会しない	施設の会場が確保しにくい	成果を生かす場 面が少ない	運営費の不足	活動のマンネリ化	活動普及のため PRする場がない	施設の使用料	施設の設備の使 い	リーダー・指 導者の不足	その他	無回答
文学・歴史	15	93.3	46.7	6.7	0.0	0.0	6.7	13.3	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0
語学・話し方	15	33.3	53.3	20.0	6.7	26.7	13.3	13.3	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
絵画・美術工芸	45	80.0	80.0	4.4	2.2	2.2	4.4	0.0	4.4	2.2	0.0	2.2	0.0
書道・てん刻	11	90.9	72.7	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
華道・茶道	8	75.0	62.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
和裁・洋裁・着付け	5	60.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
趣味・手工芸・囲碁・将棋	42	69.0	57.1	9.5	7.1	4.8	2.4	4.8	2.4	4.8	2.4	0.0	0.0
料理	15	33.3	46.7	20.0	0.0	6.7	6.7	0.0	13.3	6.7	0.0	0.0	6.7
音楽・邦楽・洋楽	83	67.5	47.0	14.5	16.9	10.8	7.2	2.4	0.0	2.4	1.2	7.2	1.2
民謡・舞踊・ダンス	40	67.5	52.5	25.0	12.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	0.0	12.5	0.0
健康・スポーツ	144	56.9	32.6	45.8	2.1	3.5	4.2	2.1	3.5	4.9	2.1	4.2	1.4
福祉	3	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ボーイ・ガールスカウト	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
コンピュータ・インターネット関係	5	100.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
その他	29	82.8	62.1	6.9	3.4	10.3	3.4	3.4	3.4	0.0	6.9	3.4	0.0

団体の分野別にみると、「絵画・美術工芸」で「会員の高齢化」(80.0%)と「新規会員が入会しない」(80.0%)、「健康・スポーツ」で「施設の会場が確保しにくい」(45.8%)が他の分野よりも多くなっています。

図表 82 活動を行う上での課題や問題点<前回調査（平成 28 年）と今回調査（令和 3 年）との比較>

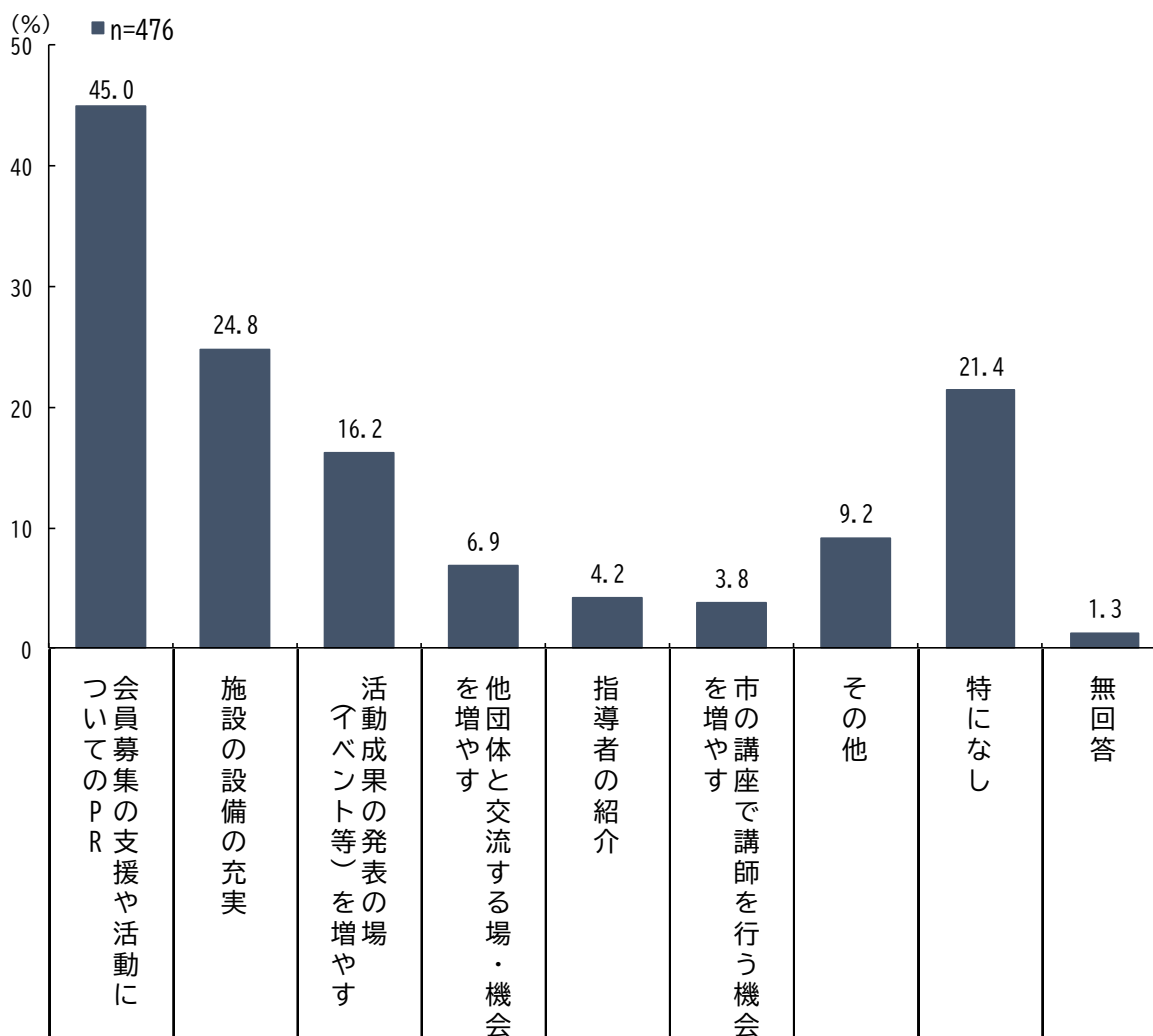


※1 施設の利用枠
 ※2 活動普及のためのPR不足

前回調査（平成 28 年）では、「会員の高齢化」（58.5%）が最も多く、次いで「会員・参加者不足」（41.8%）、「施設の利用枠」（15.3%）でした。前回調査と比較すると、今回の調査では「会員の高齢化」が 8.1 ポイント増となっています。

問 10 今後団体の活動をしていく上で、市に望むことは何ですか。(あてはまるもの2つまでに○印)

図表 83 活動をしていく上で、市に望むこと



今後団体の活動をしていく上で、市に望むことについては、「会員募集の支援や活動についてのPR」(45.0%)が最も多く、次いで「施設の設備の充実」(24.8%)、「活動成果の発表の場(イベント等)を増やす」(16.2%)となっています。一方で「特になし」は21.4%となっています。

図表 84 活動をしていく上で、市に望むこと <団体の分野別>

単位：％

	有効回答数 (件)	会員募集の支援や活動についてのPR	施設の設備の充実	活動成果の発表の場(イベント等)を増やす	他団体と交流する場・機会を増やす	指導者の紹介	市の講座で講師を行う機会を増やす	その他	特になし	無回答
文学・歴史	15	66.7	6.7	0.0	6.7	6.7	20.0	6.7	13.3	6.7
語学・話し方	15	53.3	20.0	0.0	0.0	13.3	6.7	13.3	20.0	0.0
絵画・美術工芸	45	73.3	6.7	26.7	4.4	6.7	0.0	8.9	15.6	2.2
書道・てん刻	11	81.8	0.0	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
華道・茶道	8	62.5	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	0.0
和裁・洋裁・着付け	5	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
趣味・手工芸・囲碁・将棋	42	45.2	14.3	16.7	9.5	4.8	2.4	4.8	31.0	0.0
料理	15	26.7	60.0	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	20.0	0.0
音楽・邦楽・洋楽	83	45.8	26.5	30.1	15.7	3.6	1.2	6.0	14.5	1.2
民踊・舞踊・ダンス	40	42.5	27.5	15.0	2.5	0.0	5.0	10.0	25.0	2.5
健康・スポーツ	144	26.4	38.9	4.9	6.3	5.6	4.2	12.5	27.1	0.7
福祉	3	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ボーイ・ガールスカウト	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
コンピュータ・インターネット関係	5	80.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0
その他	29	48.3	10.3	24.1	3.4	0.0	6.9	13.8	17.2	0.0

団体の分野別にみると、「絵画・美術工芸」で「会員募集の支援や活動についてのPR」(73.3%)、「音楽・邦楽・洋楽」で「活動成果の発表の場(イベント等)を増やす」(30.1%)、「健康・スポーツ」で「施設の設備の充実」(38.9%)が他の分野よりも多くなっています。

2 自由意見

◎生涯学習について、自由な意見をお聞かせください。

●心がけ・意識について

- ・年をとってもやることのあるのは、楽しみでもあり励みにもなるので、健康でいつまでも続けられるようにしたいと思います。
- ・市が主催した講習会で賛同した仲間が集まりできた我がチームは、20年近く続いて参りました。講師の先生は他市の先生でしたので、今までに、絵手紙協会を通して、いろいろな先生にご指導をいただいています。会員も、だんだんと年を重ね減少していますが、和気あいあいと楽しくすごしています。会員の持っている力量をみんなが共有し、楽しくすごしていましたが今年は、コロナのせいで会うこともできず、手紙を通して、メールを通してまた会える日を楽しみに頑張っています。
- ・現在はコロナでほとんど休みだが、皆歌が下手でも好きな人が多いので、早く元のようになり月2回でも会って、歌ったり話をしたり出来るのを首を長くして待っている。我々ほとんどが後期高齢者やその予備軍。体の方も大事だが、一番は認知症にならないようにと思っている。話したり歌ったりすることは予防にとって一番すばらしい。
- ・私達の会員は各々体の故障をかかえながら（70才～80才代）会に望んでいます。月に1度ですが、会うことを楽しみに勉強しながら交流をしています。活性化にもなりすまし、何より認知症予防にもなります。日々の暮らしの出来事等話し合い元気の源にしています。
- ・今現在私達のサークルも少しマンネリ化していて、先が見えない状態です。特にコロナ禍にあり、お互い健康管理をして参加していますが不安はあります。練習日には、出席してくれた会員同士いろいろな話題を話し合いながら楽器を奏でていると、心も潤い又明日から頑張る生活をしないでほしい練習を終え、いつも帰路につきます。これからも皆それぞれ環境が違って継続できるのか心配ですが、残りの人生豊かに会員同志学習して学んだ成果をお互い認め合いながら進捗できるようにしたいです。近くに施設があり助かっています。
- ・私達は、このコロナ禍の中何回も発表の場を無くしました。団員は日頃発表の場を目標に日々練習しております。その目標がなくなるたび、「仕方無いね」と、皆で何とかモチベーションを下げずにやって来ました。特に発声を伴う私達は大変な毎日でした。春日井市の支援を考えられているのなら、各団体の紹介など映像化し、放映する等そんな活動もあるのでは…と考えます。いずれにせよ、来年の発表の場が又無くなる様な事のないよう、市民一人一人が、このコロナに立ち向い、基本的な心得をこの先も続けていく事を願っております。
- ・今、社会は大きな変革期にあって、多様で複雑なグローバルな繋がりを一層強めながら、先の見えない変化を個人にも求めています。世代を問わず、人々の社会関係の在りようを感じ、知り、学ぶことが必要になって来ています。生涯学習の大切さの所以がそこにはありますが、その学習の基本にあるのはコミュニケーション能力だと言えます。「文章は語るに及ばない。語るは行為に及ばない」と言いますが、言葉のない行為は他人に伝わらない。文章で残さない言葉は広がり失う。そこで、自分の行為を（歴史）言葉にし、文章にし、他者との交流を通して、他者を知り、己の認識の在り方を反省、自省する習慣を持つ生活が望まれると思います。幸い、春日井市には自分史やエッセーのサークル活動があります。掌編で、毎月、自分史エッセー作品を書いて、持ち寄り、仲間で見合い、話し合うグループ活動です。自分の言動が記残として残り、読み返すことで、責任と慎みと

他者を理解し認め、謙虚と寛容を培う手段となっています。自分史活動の広がりや推奨を支援する市の活動がより一層強化されることを欲します。

- ・ 公民館の会議室を利用して尺八練習をしています。高齢化に伴い、会員数も減少し、いつまで継続できるか、心配しています。尺八に関心を示す若者が少ないのも原因しており、新入会員がありません。又、興味を示す人がいても、尺八の音出しが難しく、すぐ辞めてしまいます。
- ・ いつもお世話になり 30 年くらい続けてやっておりますが、頭を使ったりして出来上がりが楽しみで認知予防にもつながるのではと、思っています。
- ・ 高齢化社会がどんどん進んでいます。人とのふれあい、認知症予防、健康維持、すべてにおいて、豊かさを求めてさまざまな分野の活動を選択できることが、今後さらに必要になると思います。春日井市において生涯学習がさらに充実されることを願っています。
- ・ 市の講座からはじめて 20 年以上もたちました。協会としてはいつのまにかスポーツになってしまっていますが、私達のクラブは本当の意味の生涯スポーツだと思っています。上は 89 才ですが、毎週集まり、笑って、汗をかき、健康のために自分のペースで頑張っております。楽しくスポーツができ、生きがいになっているのはとても幸せです。本当に素晴らしい生涯スポーツを教えて頂き感謝しています。
- ・ 体調云々の不都合で退く会員もいますが、皆が 60 代以上となり、学習はさることながら相互を気遣い合う交流（思いやり）への発展的な関係に至れたのは、やはり活動の場あつてのことと感じ入っています。
- ・ 余暇時間を上手くすごせない障がい者にとって、たいへん有意義な活動をさせていただいております。保護者にとっても、情報を共有すること、先生や先輩からアドバイスをもらうことで、安心や成長につながってきたと思います。今後もこのような場を利用させていただき、自分たちのみならず、後輩たちに余暇を楽しく過ごせる方法を伝えていきたいと思っています。
- ・ 毎回楽しく練習させていただいております。これからも健康維持の為に又認知症予防の為に頑張りたいと思います。コロナ禍の中で老人ホーム等へのボランティア活動ができず、残念に思います。
- ・ 社会福祉協議会の活動＝高齢者サロンとの協働半年に一回程凡例会で発表させてもらっています。世話役・幹事さんと他の活動で親しいので依頼も受けやすい。頼まれやすい。日常活動が大事という訳です。人との程よい距離感を大事に活動し続けます。
- ・ 当同好会については、仲間が集まって楽しむことが最大の目標。高齢になっても、声を出すことで健康にもよいとされるので、自己満足でも生き中での楽しい時間にしていきたい。
- ・ 公民館もスムーズに借りることが出来て楽しんで活動しております。地域の人と交流を持ち、生涯楽しく健康に過ごす事を目標とし、サークル活動をしています。高齢化が加速している今、無理なく多くの方と少しでも長く、このサークルを続けられるよう、ご支援をお願い致します。
- ・ 月 1 回で、出来る範囲内で楽しく活動できています。地域に役立てたい、と大そうなことは言いませんが、それぞれ個々の気分転換、楽しみとなっていればと思います。少々高齢化になったり、若手は仕事が忙しくなったりしていますが、意欲のある方を、市講座の講師をしている先生が声をかけ、見学し、気に入れば入会するという良い形が出来ています。このコミュニケーション能力こそが大切だと思います。
- ・ 長生きのこの時代、年をとっても楽しく健康で生き生きと暮らす為。何にでも興味のある事が出来る様に地域の催し物に参加して、友達になる。そしてその友達の考え方、周りの人の考え方なり違ったことがあれば、それはそれで勉強になる。一人になっても、体が動く限り、人と話をしたい。

趣味を通じて友達になったら長く付き合った人には何でも相談できるようになったり、相談を一緒に考えたり、一人ではないと思える。外に出て、何か、好きとか興味を持っている事を続ける事ができる様に、健康（食事、睡眠、ストレス）に気をつけながら、暮らしていけたらと思っています。

- ・ 市民講座からサークルになり楽しく参加させていただいています。コロナ禍で中止になることも多いですが、高齢者になり思う事は市民講座やサークルは学ぶ事ももちろんですが人と会うために外出する大切な場だと考えています。
- ・ 興味のある分野で仲間と集まって活動できる場があるのはありがたいことだと思います。継続的に活動したりその場その場で参加したり色々な形でできるといいです。

● 施設の予約・利用について

- ・ 施設を利用するのに、定期的に決まっている日は優先的に利用させてほしい。毎月抽選で決定するのは…（利用できる会議室が変更になると困ります）。学校の空教室を利用するのは、駐車場がなく参加しにくい。
- ・ コロナによって抽選会が電話になったことが大変楽になりました。通常の生活に戻っても、このまま電話による抽選会を希望したいです。
- ・ 施設の予約がオンラインで参加できるようにしてほしい。
- ・ 私たちのような活動においては、何よりも安定して使える場所と時間です。
- ・ ふれあいセンター体育館を使用させていただいています。施設の予約方法が毎月1日に担当者から電話があり予約をとりますが、電話に出られない時があります。インターネットで予約する様でできないでしょうか？
- ・ 近くの公民館で、あまりお金もかけないでいろいろな活動が楽しめるのはとてもありがたい事です。会場の予約システムなど、インターネット予約とか、もっと簡素化出来るかと思えます。
- ・ 施設予約日の予約のスピードアップを図って欲しい。各施設で予約方法に若干の相違があり、どの方法が一番早く正確かを検討して欲しい。ぜひ検討会を実施して欲しい。
- ・ 場所取りの簡素化、選択（抽選）方法の電子化、利用時間の拡大（月曜利用 10:00 まで）、区切りの時間の上手い運営（中途半端な時間を残さない利用）などができるとありがたいと思いました。
- ・ 施設使用の申込がコロナで電話になり、先日参考意見として web の話が出ました。会員に 80 代の方もみえ、スマホの無い方もいます。何十年も利用しているのに、広い部屋の空きが無く、利用できない月もあります。健康な年配の方は沢山いますので、もっと利用しやすいように考えて頂きたいと思えます。
- ・ 毎年同一曜日の同一時間なので、通年予約があればできる様に便宜が計れないものか。
- ・ 毎月活動に使用する公民館の集会室の予約抽選の方法をもっと簡単にネットで出来ないか？
- ・ コロナの中で中々活動は出来ませんが、月に1度の抽選にもお電話をくださりありがたく思っています。職員の方の手間もあると思うので web 上ですべてできれば将来的にもっと楽になるのではないかと思います。
- ・ 生涯学習において、一番活動が少ない世代は 30~50 代ではないでしょうか？仕事や家庭などが忙しく趣味などに時間をとりにくくなる期間です。しかし、この期間にもっと活動し、地域や同じ趣味を持つ仲間とのつながりを持っていただけることは、精神や心の安定、仕事や生活とのメリハリが出てより豊かな人生の時間を創って行く事ができると考えます。その点から、会場の施設をより子育て世代が使いやすいものにする、予約や抽選の仕組みをより便利にするなど（平日働く人にとっての利便性 etc）、利用する側に寄り添って改良して頂けるとうれしいです。

● 交通手段について

- ・ 各施設へのアクセス拡充。高齢者でも意欲的な方はたくさんいらっしゃるが出掛けていく方法のない方もみえるのでは・・・。
- ・ 会員の高齢化にともない、車運転をやめる方が増える。施設と自宅からとの交通手段が今後の課題と考えています。
- ・ 近くの公民館の場合は便利ですが、遠くの公民館へ行きたい時、車に乗れない高齢者は足がありません。足の確保あつての生涯学習かと思えます。
- ・ 高齢化が進む中で生涯学習はますます重要な位置を占めると思えます。施設までの交通機関なども今後の課題になると考えます。
- ・ 近くに公民館や活動に参加できる施設がない場合、あるいは遠くの公民館などでしか希望する講座や活動をやってない場合、自家用車が必要となるが、これに乗れなくなった場合の移動手段がなくなり、公共交通機関では随分遠回りになったり、市の巡回バスでも適当な乗り場がなく、またあつても、乗り継ぎをせざるを得なくなり、時間もかかって、とても参加できなくなる。学習意欲はあつても、現状ではあきらめざるを得ない。
- ・ 会場へのアクセス

● 施設等の管理・整備について

- ・ 用具について。貸出し用具は古い物（使用できない物）は新品に変える予算をとって欲しい。
- ・ 活動される団体数が増えていると感じておりますが、活動場所（室内球技）が増えないため、活動回数が減っています。難しい話ではあると思えますが、室内球技ができる場所を増やして欲しいです。
- ・ 器楽の少人数での練習施設をハーモニー春日井、東部市民センターしか知りませんが、施設の拡充をお願いします。
- ・ 高齢者の会員が増加している中、会員数が増加しないのは仕方ありませんが、そういう方々の中には人と逢ってお喋りを楽しむ方も多く、片手間に本来の趣味を少しやるというスタイルが多い傾向があるので、レストルームなどを設けて頂くと良いのではないかと思う。スポーツ等のクラブは若い方が多く問題はないと思うが…。
- ・ 公民館まつりというひとくくりで年1回発表の機会があるが、期間的にも短いし、展示するにとしては張り合いがないのでは？もう少し長くというのが希望であるが、そうすると活動の教室の確保が難しくなる。一つ提案ですが、クラブの年間計画表の中に展示を希望するところは記入してもらい、全てが年間を通してロビーにて開催できるようにしたらいかがなものかと思う。

● 人材の確保・育成について

- ・ 私達の団体は 25 年以上続いており、中の人達はずっと同じ方達で活動しており、高齢化が進んでいて今後いつまで続けてられるかと思えます。もう少し若い方達も入って頂きたいなと思っています。
- ・ 認知団体として認められる部員数が今現在は 10 人となっているが、今後高齢化が進むにつれ、10 人以下となれば会を解散せざるを得ないのです。人数を満たない状況でも、認定してもらえないでしょうか。
- ・ やっている内容が特殊なため、指導者が育ちにくい。そのため参加希望者は多いが、指導者不足のため受け入れることが厳しい。世代交代ができなくて苦しんでいる。

- ・私は4つの分野で公民館等を利用し、余暇の活用を図り、心を豊かに…と思っている。どの分野の活動も高齢化が進んで、退会し、新しい会員の入会がない状態が続いている。特に男性会員は少なく、会の運営にも支障がでている。その中であって、坂下公民館で試みた「市民による市民のためのチャレンジ講座」は、大変示唆に富んだ企画であったと思っている。10人の定員で受講者を募集し、8人が参加し、団体の会員が講師になって共に学び、活動に興味をもってもらい、会に入会し活動を続けてもらいたい、という「講座」でした。コロナで講座が中断したり受講者の気持ちも縮まり、1人しか入会に至りませんでした。(途中3人入会の見込みでしたが) 2040年の高齢化のピークに向けて、より一層生涯学習の有用性が高まるものと思う。
- ・2、30年前は公民館といっても閑散としていた記憶がありますが、私自身定年退職して公民館に訪れると、いろんな活動の場になっていて驚きました。我々団塊の世代のリタイアとともに生涯学習が定着し、またなくては困るものになっていることを感じます。が、その一方で後期高齢者に移行する中で、生涯学習からもリタイアしていく人も多くなりました。私の所属するクラブもこの一、二年で退会者が相次ぎ、今後の運営が危ぶまれます。大きな時代の流れと言ってしまうとそままでのようなので、せつかく根づいた活動から、スタイルを変えた若い人現役の人にマッチした新しい活動が創出され、発展することを願う次第です。
- ・会員が高齢化し、退会者が出て、新規会員の入会が無いのが悩みです。
- ・私どもの会は設立から18年ほどになります。当初からの方が元気に通ってこられ、熱心に取り組んでおられます。30数名の会員も現在では、年齢構成55~80才の10名を保っております。一番の悩みは応募がないことです。在来会員も高齢化が進み変化がないのも原因と思われませんが、活気がないのは更なる上達への意欲に大きく影響します。現代は探すと楽しい事は一杯あるので、子どもに限らず高齢者にも選択肢は一杯あるのでしょうか。コロナ禍で募集広告を出しても集まらず、コロナが去っても人々の価値観が大きく変化するといわれています。組織を継続(維持)するのは難しいです。
- ・会員の皆さんは(10~20年)続けていて下さいますが、高齢化になり人数が少しずつ減ってきています。市の講習会を開催して、これに参加して下っても入会にはいかに…これが一番の悩みです。
- ・全ての団体に共通して会員の高齢化で減員、クラブの滅亡が進むと思われます。同様のクラブはお見合い方式での統合廃止を進めていただけたらと思います。これは個人単位でも可能かなと思います。

●参加促進について

- ・私共の会は30年近く活動してきたが、会員数が減ってきている。本年度は新会員獲得のため努力しているが、うまくいっていない状況です。このままでは来年度認定団体として困難となる事が予想されます。規定人数を下回った場合でも認定されることを希望します。他グループの方々も同様の悩みを抱えているようです。特に昨年よりコロナ禍の為、展示会が次々と中止となり作品を見てもらえない状況が続いています。作品を見てもらうことがきっかけとなって、入会を希望することがあります。施設で初心者のための教室を企画してもらえれば、なおありがたいと思います。教室への見学も歓迎しますので是非宜しくお願い致します。
- ・市の方で募集のPRを是非やっていただきたい。
- ・各センターにおいて、色々な講座が開かれている様ですが、なかなか参加したり見学したりという気軽さに欠けていると思います。それぞれのグループで仲間が作られ、他から参加しづらいのでもう少しオープンに紹介して頂き、どんな講座があり参加出来るのか、わかりやすくしてもらえると

良いと思います。コロナの影響でなかなか難しいとは思いますが、色々と参加しやすい講座を増やしてくれるといいかなと思います。

- ・ 会員募集の支援を広告などでPRして頂きたい。

● 費用について

- ・ 5～6年先、世代交代がうまくいかず半分の団体が解散するだろう。10人揃えての登録は無理で5人位でも、集会所使用の半額補助して欲しい。
- ・ 何か頭を使う事を続けて、ボケの防止や思考力の低下を防ぎたい年齢の方が集まっているので、続けられればいいと思いますが、人数が減ると講師の料金が足りなくなります。かといって新しい方を迎えるのも、すでに一定の所まで進んでいるので初歩の方は迎えられず、ある程度できる方なら個人でされることも可能なので、今後人数が減少してできなくなる可能性はあります。ボランティアの講師とかがいたら続けられるかなと思います。又は市の専属の講師とかで、会場の使用料だけで済むとかなら少人数になっても続けられると思います。
- ・ 施設利用の補助を考えてほしい
- ・ 市民の文化活動に対する市の支援（経済的、環境面、活動の機会）を、より一層お願いしたい。
- ・ 趣味のサークル的な活動なので、施設を安価で利用できる仕組みを作って欲しいです。どこの市でも同じだと思いますが、営利目的な活動の場合とそうでない場合とで施設利用代が異なると思います。今は認定をもらえないと安く施設を使用することができませんが、そうでなくても過去に認定を受けた事のあるグループは、人数を確保できず認定から外れても今まで通り使用できると嬉しいです。または少人数でもサークル的な活動に対しては認定を出して欲しいです。

● 生涯学習の内容・種類について

- ・ 公民館活動として、高齢者に一日お茶を飲みながら楽しい時間（懐かしい歌など）を過ごしてもらい、そのお手伝いをするグループ等があったらいいなと思います。

● 場所について

- ・ 高齢化社会が進んでいます。コロナが終息したあと、高齢者が気軽に集まって、おしゃべりやかんたんな体操等ができる場が町内に1つでもあると地域のつながりもでき、孤立する老人が少なくなるのではないのでしょうか。今、出かけられなくて足が弱っているという声が多くあります。ひとり暮らしの方は1週間以上だれとも話さないとも聞きます。免許証の返納で、公民館に行く足を心配される方もいます。（高齢者は、おしゃべりや、体を動かす学習が一番必要です）
- ・ 定期的な活動を行うため、団体登録のグループを優先的に会場確保頂けるような仕組み作りを検討頂きたいです。会場確保が非常に困難で活動の継続が危ぶまれます。
- ・ 大きな施設も必要ですが小さな施設を身近な所につくってもらいたい。例えば、誰でも身近に卓球等ができる場所や、誰でも身近にカラオケを楽しむ場所。

● 参加の意向について

- ・ コロナ禍で生涯学習施設を利用できない事で、今迄の仲間とのコミュニケーション、学び、意欲などが落ちてしまいました。やはり、地域とのつながりは大切だと実感しました。これからも機会があればどんどん参加していきたいと思います。

IV 資料

1 単純集計結果

1 市民

問1 あなたが、学校以外で取り組んでいる生涯学習の内容は何ですか。(あてはまるものすべてに○印) 単位(上段:人 下段:%)

調査数	文学、歴史、自然科学などの教養に関するもの(文芸、郷土史、自然など)	趣味や芸術に関するもの(美術、書、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など)	家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの(料理、編み物、日曜大工など)	子育て・教育に関するもの(育児、教育問題など)	福祉・障がいに関するもの(手話、点字、障がい者スポーツなど)	男女共同参画に関するもの(ジェンダー、ワークライフバランスなど)	環境など社会問題に関するもの	ボランティア・NPO活動に必要な知識・技能に関するもの	介護・医療の知識に関するもの(生活習慣病の予防、介護知識など)	健康・健康増進に関するもの(健康体操、ウォーキングなど)
1650	138	380	294	120	35	21	57	39	126	331
100.0	8.4	23.0	17.8	7.3	2.1	1.3	3.5	2.4	7.6	20.1
	スポーツに関するもの(野球、サッカー、テニス、卓球など)	職業上必要な知識・技能に関するもの(経理などの各種資格取得)	情報化社会に対応するための技能や知識に関するもの(PC、スマートフォンなど)	国際交流・国際理解に関するもの(外国語、外国の生活文化など)	その他	していない	無回答			
	227	139	162	102	9	658	80			
	13.8	8.4	9.8	6.2	0.5	39.9	4.8			

【問1で1～15と答えられた方にお聞きます。】

問1-1 あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○印) 単位(上段:人 下段:%)

調査数	広報春日井	職場や団体の広報誌	新聞	雑誌	無料のタウン誌・情報誌	テレビ	ラジオ	ホームページ	SNS (Twitter、Instagramなど)	YouTube
912	356	70	192	133	111	207	37	327	250	204
100.0	39.0	7.7	21.1	14.6	12.2	22.7	4.1	35.9	27.4	22.4
	チラシやポスター	知人・友人・同僚・家族	その他	無回答						
	114	341	34	20						
	12.5	37.4	3.7	2.2						

問1-2 どんな方法で学んでいますか。(あてはまるものすべてに○印) 単位(上段:人 下段:%)

調査数	市や地域団体が開催する講座・教室	個人レッスン、カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座・教室	同好のグループ・サークルなどへの参加	職場内の研修や教育	新聞・雑誌・テレビ・ラジオを活用した個人学習	パソコンやスマートフォンなどによるオンライン講座	図書館、博物館などの施設利用	通信教育・放送大学	専門学校・大学の公開講座	その他
912	173	239	222	109	298	185	145	24	26	24
100.0	19.0	26.2	24.3	12.0	32.7	20.3	15.9	2.6	2.9	2.6
	無回答									
	37									
	4.1									

問1-3 取り組んでいるすべての活動の合計回数はいくらですか。(あてはまるもの1つに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	ほとんど毎日	週の半分	週1回	月2回	月1回	無回答
912	97	151	296	121	196	51
100.0	10.6	16.6	32.5	13.3	21.5	5.6

問1-4 活動をしている理由は何ですか。(あてはまるもの3つまでに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	自分自身の生き方やものの考え方を変えたい	生きがいをつくり、人生をより豊かにしたい	友人、仲間を増やしたい	地域でのまちづくりや地域の活性化のために生かしたい	自分の健康を維持・増進したい	仕事や就職に生かしたい	日常生活・子育てに生かしたい	自主学習グループでの活動に生かしたい	他の人の学習やスポーツ、文化活動などを指導したい	知識・教養・技術に身に付けたい
912	176	494	183	27	435	160	118	10	14	285
100.0	19.3	54.2	20.1	3.0	47.7	17.5	12.9	1.1	1.5	31.3
	その他	無回答								
	23	24								
	2.5	2.6								

問2 あなたは、学習活動を通じて身に付けた知識・技能や経験を、地域でのまちづくりや地域の活性化のための活動に生かしていますか。(あてはまるものに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	既に生かしている	生かしたいが、できていない	生かしたいとは思わない	分からない	無回答
912	104	182	230	303	93
100.0	11.4	20.0	25.2	33.2	10.2

【問2で1、2と答えられた方にお聞きします。】

問2-1 あなたは、学習活動を通じて身に付けた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。または、生かしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	講師として活動している	個人で教室を営んでいる	その活動の普及・啓発を行っている	市政に参画している	自治会・町内会活動に生かしている	ボランティア活動をしている	その他	無回答
286	38	17	69	8	49	102	46	30
100.0	13.3	5.9	24.1	2.8	17.1	35.7	16.1	10.5

問2-2 あなたは、活躍の場として、自らが運営者となって講座の企画・運営に携わりたいと思いますか。(あてはまるものに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	はい	いいえ	無回答
286	63	208	15
100.0	22.0	72.7	5.2

問2-3 あなたが、学習活動を通じて身に付けた知識・技能や経験を生かすにあたって、困っている点や、生かしたいのにそれができない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)
単位(上段:人 下段:%)

調査数	生かすことができる段階に達していない	学んだ内容と社会や地域での活動において求められる内容が一致していない	身近で生かせる活動や場所を見つけられない	どのような活動に生かせるのかわからない	時間的余裕がない	特に理由はない	特に困っていることはない	無回答
286	113	26	76	53	72	31	29	25
100.0	39.5	9.1	26.6	18.5	25.2	10.8	10.1	8.7

問3 あなたは、今後「生涯学習」に取り組みたいと思いますか。(あてはまるものに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	思う	どちらかといえば、思う	どちらかといえば、思わない	思わない	無回答
1650	327	589	317	202	215
100.0	19.8	35.7	19.2	12.2	13.0

【問3で1、2と答えられた方にお聞きします。】

問3-1 あなたは、どのような手段で生涯学習に取り組みたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	市や地域団体が開催する講座・教室	個人レッスン、カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座・教室	同好のグループ・サークルなどへの参加	職場内の研修や教育	新聞・雑誌・テレビ・ラジオを活用した個人学習	パソコンやスマートフォンなどによるオンライン講座	通信教育・放送大学	専門学校・大学の公開講座	その他	無回答
916	439	402	306	112	249	295	55	72	11	6
100.0	47.9	43.9	33.4	12.2	27.2	32.2	6.0	7.9	1.2	0.7

問3-2 あなたは、どのような内容の学習の機会を増やしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	文学、歴史、自然科学などの教養に関するもの(文芸、郷土史、自然など)	趣味や芸術に関するもの(美術、書、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など)	家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの(料理、編み物、日曜大工など)	子育て・教育に関するもの(育児、教育問題など)	福祉・障がいに関するもの(手話、点字、障がい者スポーツなど)	男女共同参画に関するもの(ジェンダー、ワークライフバランスなど)	環境など社会問題に関するもの	ボランティア・NPO活動に必要な知識・技能に関するもの	介護・医療の知識に関するもの(生活習慣病の予防、介護知識など)	健康・健康増進に関するもの(健康体操、ウォーキングなど)
916	206	442	364	149	83	42	89	80	173	382
100.0	22.5	48.3	39.7	16.3	9.1	4.6	9.7	8.7	18.9	41.7
	スポーツに関するもの(野球、サッカー、テニス、卓球など)	職業上必要な知識・技能に関するもの(経理などの各種資格取得)	情報化社会に対応するための技能や知識に関するもの(PC、スマートフォンなど)	国際交流・国際理解に関するもの(外国語、外国の生活文化など)	その他	無回答				
	231	157	173	158	5	16				
	25.2	17.1	18.9	17.2	0.5	1.7				

問3-3 あなたが、生涯学習活動に参加しやすい時間帯についてお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	平日午前	平日午後	平日夜間	平日いつでも可	土曜日午前	土曜日午後	土曜日夜間	土曜日いつでも可	日曜・祝日午前	日曜・祝日午後
916	239	159	221	57	180	178	131	131	201	156
100.0	26.1	17.4	24.1	6.2	19.7	19.4	14.3	14.3	21.9	17.0
	日曜・祝日夜間	日曜・祝日いつでも可	無回答							
	80	157	30							
	8.7	17.1	3.3							

【問3で3、4と答えられた方にお聞きします。】

問3-4 あなたが、生涯学習に取り組もうとする際、どのようなことが妨げになっていますか。(あてはまるものすべてに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	仕事や家事が忙しくて時間がない	費用がかかる	子どもや親などの世話をしてくれる人がいない	必要な情報(内容・時間・場所・費用)がなかなか入手できない	一緒に学習や活動をする仲間がいない	適切な指導者がいない	身近なところに施設や場所がない	身近なところにある施設が使いにくい	自分の希望に合う講座や教室などが無い	講座や教室などが行われる時期・時間が合わない
519	191	113	36	59	63	16	53	6	51	36
100.0	36.8	21.8	6.9	11.4	12.1	3.1	10.2	1.2	9.8	6.9
	家族や職場など周囲の理解が得られない	障がいがある、障がい者向けの生涯学習の機会がない	きっかけがつかめない	面倒である	そういうことは好きではない	その他	特になし	無回答		
	7	17	126	143	90	27	54	30		
	1.3	3.3	24.3	27.6	17.3	5.2	10.4	5.8		

問4 市ホームページの中にある生涯学習情報サイト「まなびや選科」を活用したことがありますか。(あてはまるもの1つに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	活用したことがある	「まなびや選科」を知っているが、活用したことがない	「まなびや選科」を知らない	無回答
1650	41	95	1438	76
100.0	2.5	5.8	87.2	4.6

問5 公民館、ふれあいセンター等を利用したことがありますか。(あてはまるものに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	ある	ない	無回答
1650	967	643	40
100.0	58.6	39.0	2.4

【問5で「1 ある」と答えられた方にお聞きします。】

問5-1 どの施設を利用しましたか。(あてはまるものすべてに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	中央公民館	知多公民館	鷹来公民館	坂下公民館	味美ふれあいセンター	高蔵寺ふれあいセンター	南部ふれあいセンター	西部ふれあいセンター	東部市民センター	ハーモニー春日井(青年の家)
967	254	156	151	194	217	258	158	248	439	123
100.0	26.3	16.1	15.6	20.1	22.4	26.7	16.3	25.6	45.4	12.7
	無回答									
	9									
	0.9									

問5-2 どういった目的で利用しましたか。(あてはまるものすべてに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	講座の受講	個人での貸館利用	サークル活動の場として利用	町内会など地域活動の場として利用	スタディールーム(中高生の自主学習の場)の利用	図書室の利用	展示の鑑賞	公民館まつりなどのイベントへの参加	住民票、証明書等の発行	その他
967	329	100	238	106	33	441	188	127	528	93
100.0	34.0	10.3	24.6	11.0	3.4	45.6	19.4	13.1	54.6	9.6
	無回答									
	4									
	0.4									

【問5で「2 ない」と答えられた方にお聞きます。】

問5-3 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	身近なところに施設がない	身近なところにある施設が使いにくい	受けたい講座がない	講座の時間が合わない	講座等に関する情報がない	利用の仕方がわからない	時間がない	生涯学習に関心がない	その他	無回答
643	67	13	145	84	96	163	180	142	41	13
100.0	10.4	2.0	22.6	13.1	14.9	25.3	28.0	22.1	6.4	2.0

問6 公民館やふれあいセンター等の施設に求めるもの、機能は何ですか。(あてはまるもの2つまでに○印) 単位(上段:人 下段:%)

調査数	開催する講座の充実	地域住民が交流できる場・機会	個人や団体活動の発表の場・機会	自己学習スペース	インターネット・Wi-Fi環境	キッズスペース(子どもの遊び場)	テレワークができる場所	図書室の蔵書の充実	キャッシュレス決済	インターネットでの予約
1650	644	270	115	207	326	168	46	312	48	183
100.0	39.0	16.4	7.0	12.5	19.8	10.2	2.8	18.9	2.9	11.1
	その他	無回答								
	75	188								
	4.5	11.4								

問7 市が行う講座について、重要だと思う点は何ですか。(あてはまるものに2つまでに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	たくさんの種類があり、希望のテーマが選択できること	土・日などの休日に開催する講座の実施	平日夜間に開催する講座の実施	託児付き講座の実施	身近な施設での講座の開催	インターネット(オンライン)で受講できること	安い費用で受講できること	継続した学習機会があること	その他	無回答
1650	675	359	108	130	323	226	598	190	56	147
100.0	40.9	21.8	6.5	7.9	19.6	13.7	36.2	11.5	3.4	8.9

問8 今後、生涯学習をもっと盛んにしていくためには、どのような学習情報が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	市の講座の内容や開催に関する情報	施設の利用に関する情報	サークルの活動状況や入会方法	県や他市の講座などの情報	講師・指導者などの人材情報	地域活動・ボランティアに関する情報	その他	無回答
1650	1048	616	449	239	341	210	44	153
100.0	63.5	37.3	27.2	14.5	20.7	12.7	2.7	9.3

問9 今後、生涯学習を進めていく上で、特にどの分野に力を入れていくべきだと思いますか。(あてはまるもの2つまでに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	幼児教育	青少年教育	家庭教育	芸術・文化に関すること	福祉・障がいに関すること	健康に関すること	スポーツに関すること	社会問題・国際交流	防災・安全活動に関すること	ICTに関すること
1650	220	161	175	355	236	597	238	138	332	110
100.0	13.3	9.8	10.6	21.5	14.3	36.2	14.4	8.4	20.1	6.7
	コミュニ ティ育成	リーダー・ グループ 養成	その他	無回答						
	104	35	40	130						
	6.3	2.1	2.4	7.9						

問10 今後、生涯学習をもっと盛んにしていくためには、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(あてはまるものを4つまで選び、重要だと思う順に番号を記入してください。)1番

単位(上段:人 下段:%)

調査数	生涯学習講座の内容を充実させる	地域で講座等を企画、支援する人材の育成	気軽に生涯学習について相談できる窓口	生涯学習に関する情報発信(講座、サークル、人材などの情報)	ボランティア活動、まちづくり活動の支援	NPO、企業等との連携	成果を生かす、発表できる場の充実	生涯学習施設の利便性の向上	スポーツ施設の整備	バリアフリー化など施設整備
1650	498	106	171	253	32	25	17	117	105	58
100.0	30.2	6.4	10.4	15.3	1.9	1.5	1.0	7.1	6.4	3.5
	その他	特になし	無回答							
	3	51	214							
	0.2	3.1	13.0							

問10 今後、生涯学習をもっと盛んにしていくためには、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(あてはまるものを4つまで選び、重要だと思う順に番号を記入してください。)2番

単位(上段:人 下段:%)

調査数	生涯学習講座の内容を充実させる	地域で講座等を企画、支援する人材の育成	気軽に生涯学習について相談できる窓口	生涯学習に関する情報発信(講座、サークル)	ボランティア活動、まちづくり活動の支援	NPO、企業等との連携	成果を生かす、発表できる場の充実	生涯学習施設の利便性の向上	スポーツ施設の整備	バリアフリー化など施設整備
1650	254	156	163	280	74	52	31	183	82	59
100.0	15.4	9.5	9.9	17.0	4.5	3.2	1.9	11.1	5.0	3.6
	その他	特になし	無回答							
	3	15	298							
	0.2	0.9	18.1							

問10 今後、生涯学習をもっと盛んにしていくためには、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(あてはまるものを4つまで選び、重要だと思う順に番号を記入してください。)3番

単位(上段:人 下段:%)

調査数	生涯学習講座の内容を充実させる	地域で講座等を企画、支援する人材の育成	気軽に生涯学習について相談できる窓口	生涯学習に関する情報発信(講座、サークル、人材などの情報)	ボランティア活動、まちづくり活動の支援	NPO、企業等との連携	成果を生かす、発表できる場の充実	生涯学習施設の利便性の向上	スポーツ施設の整備	バリアフリー化など施設整備
1650	145	123	151	181	102	76	61	216	103	56
100.0	8.8	7.5	9.2	11.0	6.2	4.6	3.7	13.1	6.2	3.4
	その他	特になし	無回答							
	1	39	396							
	0.1	2.4	24.0							

問10 今後、生涯学習をもっと盛んにしていくためには、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(あてはまるものを4つまで選び、重要だと思う順に番号を記入してください。)4番 単位(上段:人 下段:%)

調査数	生涯学習講座の内容を充実させる	地域で講座等を企画、支援する人材の育成	気軽に生涯学習について相談できる窓口	生涯学習に関する情報発信(講座、サークル、人材などの情報)	ボランティア活動、まちづくり活動の支援	NPO、企業等との連携	成果を生かし、発表できる場の充実	生涯学習施設の利便性の向上	スポーツ施設の整備	バリアフリー化など施設整備
1650	85	107	86	118	90	77	65	175	119	131
100.0	5.2	6.5	5.2	7.2	5.5	4.7	3.9	10.6	7.2	7.9
	その他	特になし	無回答							
	5	50	542							
	0.3	3.0	32.8							

F1 あなたの性別をお答えください。(自分がそうだと思う性に○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	女性	男性	無回答
1650	1021	615	14
100.0	61.9	37.3	0.8

F2 あなたの年齢をお答えください。(あてはまるもの1つに○印 令和3年9月1日現在)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	無回答
1650	59	132	183	328	290	206	312	127	13
100.0	3.6	8.0	11.1	19.9	17.6	12.5	18.9	7.7	0.8

F3 あなたの仕事についてお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	会社員・公務員	パート・アルバイト	専業主婦・主夫	経営者・役員	自営業	学生	無職(年金生活者など)	求職中	その他	無回答
1650	521	289	233	31	62	81	357	23	36	17
100.0	31.6	17.5	14.1	1.9	3.8	4.9	21.6	1.4	2.2	1.0

F4 あなたのお住まいの中学校区はどちらですか。(あてはまるもの1つに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	東部	中部	西部	坂下	高蔵寺	藤山台	知多	鷹来	松原	高森台
1650	130	216	161	94	152	39	99	90	94	74
100.0	7.9	13.1	9.8	5.7	9.2	2.4	6.0	5.5	5.7	4.5
	柏原	味美	南城	石尾台	岩成台	わからない	無回答			
	119	66	108	80	50	57	21			
	7.2	4.0	6.5	4.8	3.0	3.5	1.3			

2 団体

問1 あなたの団体の分野についてお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	文学・歴史	語学・話し方	絵画・美術工芸	書道・てん刻	華道・茶道	和裁・洋裁・着付け	趣味・手工芸・囲碁・将棋	料理	声楽・邦楽・洋楽	民謡・舞踊・ダンス	健康・スポーツ
476	15	15	45	11	8	5	42	15	83	40	144
100.0	3.2	3.2	9.5	2.3	1.7	1.1	8.8	3.2	17.4	8.4	30.3
	福祉	ボーイ・ガールスカウト	コンピュータ・インターネット関係	その他	無回答						
	3	2	5	29	14						
	0.6	0.4	1.1	6.1	2.9						

問2 あなたの団体の会員数、男女数、年齢層についてお答えください。①団体の人数構成及び男女数

(数字で記入 令和3年9月1日現在)総人数

調査数	平均
458	16.47
100.0	

単位(上段:人 下段:%)

団体の総人数

単位(上段:人 下段:%)

調査数	9人以下	10人以上 20人未満	20人以上 30人未満	30人以上 40人未満	40人以上 50人未満	50人以上 60人未満	60人以上 70人未満	70人以上	無回答
476	46	320	61	18	4	4	1	4	18
100.0	9.7	67.2	12.8	3.8	0.8	0.8	0.2	0.8	3.8

問2 あなたの団体の会員数、男女数、年齢層についてお答えください。①団体の人数構成及び男女数

(数字で記入 令和3年9月1日現在)男性

調査数	平均
376	6.35
100.0	

単位(上段:人 下段:%)

問2 あなたの団体の会員数、男女数、年齢層についてお答えください。①団体の人数構成及び男女数

(数字で記入 令和3年9月1日現在)女性

調査数	平均
458	11.31
100.0	

単位(上段:人 下段:%)

問2 あなたの団体の会員数、男女数、年齢層についてお答えください。②団体の一番多い年齢層(あてはまるもの1つに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
476	9	1	6	33	35	96	268	14	14
100.0	1.9	0.2	1.3	6.9	7.4	20.2	56.3	2.9	2.9

問3 あなたの団体が主に活動されている曜日、時間帯、活動回数についてお答えください。

①主に活動する時間帯(あてはまるものすべてに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	平日午前	平日午後	平日夜間	土曜日 午前	土曜日 午後	土曜日 夜間	日曜・祝 日午前	日曜・祝 日午後	日曜・祝 日夜間	不定期	無回答
476	183	151	53	48	39	17	31	27	11	7	11
100.0	38.4	31.7	11.1	10.1	8.2	3.6	6.5	5.7	2.3	1.5	2.3

問3 あなたの団体が主に活動されている曜日、時間帯、活動回数についてお答えください。

②活動回数(あてはまるもの1つに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	月1回	月2回	月3回	月4回	月5回 以上	無回答
476	56	222	27	146	14	11
100.0	11.8	46.6	5.7	30.7	2.9	2.3

問4 あなたの団体の設立経緯についてお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	市主催の 講座から	地域の同 好会から	職場の同 好会から	その他	無回答
476	214	200	6	49	7
100.0	45.0	42.0	1.3	10.3	1.5

問5 あなたの団体および会員の皆さんは、どのような目的をもって活動に参加していますか。(あてはまるもの3つまでに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	楽しむ	心を豊か にする	仲間を つくる	知識・教 養を得る	健康・体 力づくり	生きがい	技術・技 能の向上	伝統芸能 の保存	余暇時間 の活用	地域・社 会への貢 献	その他
476	367	147	203	63	182	83	154	13	68	30	10
100.0	77.1	30.9	42.6	13.2	38.2	17.4	32.4	2.7	14.3	6.3	2.1
	無回答										
	1										
	0.2										

問6 日頃の学習の成果を発表する機会がありますか。(あてはまるものに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	ある	ない	無回答
476	251	155	70
100.0	52.7	32.6	14.7

問6-1 発表する機会はどうなときですか。(あてはまるものすべてに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	活動して いる施設 での発表 会やまつ り	市の主催 行事	地域の 行事	展覧会	作品集等	発表大会	公民館等 での講師	その他
251	146	81	41	46	6	57	11	40
100.0	58.2	32.3	16.3	18.3	2.4	22.7	4.4	15.9

問7 今後の活動をどのように進めたいですか。(あてはまるもの2つに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	現在の活動を継続していきたい	活動の幅を広げたい	会員数を増やしたい	他の団体と交流、連携したい	活動の回数を増やしたい	活動の回数を減らしたい	特に考えていない	無回答
476	418	33	261	20	16	1	6	36
100.0	87.8	6.9	54.8	4.2	3.4	0.2	1.3	7.6

問8 団体として、活動してきた経験をどのように生かしたいですか。(あてはまるもの2つまでに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	市などの公共機関の行う講座・イベントなどに参加し、生かしていきたい	市と協働して、各種事業に参画したい(講座講師やイベントの企画等)	他の人の学習やスポーツ、文化活動などを指導していきたい	地域でのまちづくりや地域の活性化のために生かしたい	きっかけがあれば何かに生かしていきたい	その他	特に考えていない	無回答
476	152	34	19	95	196	21	104	8
100.0	31.9	7.1	4.0	20.0	41.2	4.4	21.8	1.7

問9 活動を行っていく上での課題や問題点についてお答えください。(あてはまるもの2つまでに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	会員の高齢化	新規会員が入会しない	活動のマンネリ化	リーダー・指導者の不足	運営費の不足	活動普及のためにPRする場がない	施設の会場が確保しにくい	施設の使用料	成果を生かす場面や機会が少ない	施設の設備の使い勝手	その他
476	317	237	22	10	27	15	105	15	30	15	20
100.0	66.6	49.8	4.6	2.1	5.7	3.2	22.1	3.2	6.3	3.2	4.2
	無回答										
	6										
	1.3										

問10 今後団体の活動をしていく上で、市に望むことは何ですか。(あてはまるもの2つまでに○印)

単位(上段:人 下段:%)

調査数	会員募集の支援や活動についてのPR	指導者の紹介	活動成果の発表の場(イベント等)を増やす	市の講座で講師を行う機会を増やす	他団体と交流する場・機会を増やす	施設の設備の充実	その他	特になし	無回答
476	214	20	77	18	33	118	44	102	6
100.0	45.0	4.2	16.2	3.8	6.9	24.8	9.2	21.4	1.3

2 調査票

1 市民



文化振興及び生涯学習に関するアンケート調査



～ 文化振興・生涯学習を充実させるため、 皆さんの声をお聞かせください ～

市民の皆さまには、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

春日井市では、平成29年度に策定した「第2次かすがい市民文化振興プラン」「第2次春日井市生涯学習推進計画」に基づき、文化振興・生涯学習の推進に向け、様々な取り組みを実施してきました。

このたび、計画期間の中間年度を迎え、計画の見直しを行うことから、市民の皆さまの考えを反映させるため、アンケート調査を実施することといたしました。

皆さまの意見を文化振興・生涯学習施策に生かしたいと考えていますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年9月

春日井市長 伊藤 太

【ご記入にあたってのお願い】

- ・ 調査の対象者は、市内在住の16歳以上の方の中から無作為に3,500人を抽出しました。
- ・ 調査内容は、統計処理以外には使用しません。個人が特定されたり、情報が漏れたりすることはありません。
- ・ 宛名の方が答えられない場合は、ご本人に代わってご家族の方がお答えください。
(「あなた自身についておたずねします」の欄は、回答された方のことを記入してください。)

<回答方法① 郵送での回答の場合>

- ・ 調査票のあてはまる回答の番号を○で囲んでください。答えが「その他」の場合には、その番号を○で囲むとともに、()内に回答の内容をご記入ください。(複数の回答を選択できる設問もありますので、ご注意ください。)
- ・ 記入したアンケートは、同封の返信用封筒(切手不要)で締切日までに投函してください。

<回答方法② インターネットでの回答の場合>

- ・ パソコンやスマートフォンでも回答することができます。
- ・ URL または QR コードからアクセスし、ID・パスワードを入力して、締切日までに回答してください。



<https://www12.webcas.net/form/pub/src/kasugai>

利用者ID ○○○○
パスワード ○○○○

<回答締切> 令和3年9月21日(火)

<お問い合わせ先> 春日井市文化スポーツ部文化・生涯学習課

電話 : 0568-85-6079 / 0568-85-6447

FAX : 0568-83-2297

Mail : bunsyo@city.kasugai.lg.jp

生涯学習についておたずねします。

生涯学習とは

生涯学習とは、「生涯にわたって自己の充実や生活の向上、活力ある地域づくりへの参加のため、自発的に自己に適した手段や方法によって継続的に行う学習活動」のことをいいます。家庭教育、学校教育、社会教育すべての学習活動を含むものであり、生涯学習の分野としては、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション、ボランティア、趣味などの分野が含まれます。

**問1 あなたが、学校以外で取り組んでいる生涯学習の内容は何ですか。
(あてはまるものすべてに○印)**

- 1 文学、歴史、自然科学などの教養に関するもの（文芸、郷土史、自然など）
- 2 趣味や芸術に関するもの（美術、書、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など）
- 3 家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの（料理、編み物、日曜大工など）
- 4 子育て・教育に関するもの（育児、教育問題など）
- 5 福祉・障がいに関するもの（手話、点字、障がい者スポーツなど）
- 6 男女共同参画に関するもの（ジェンダー、ワークライフバランスなど）
- 7 環境など社会問題に関するもの
- 8 ボランティア・NPO活動に必要な知識・技能に関するもの
- 9 介護・医療の知識に関するもの（生活習慣病の予防、介護知識など）
- 10 健康・健康増進に関するもの（健康体操、ウォーキングなど）
- 11 スポーツに関するもの（野球、サッカー、テニス、卓球など）
- 12 職業上必要な知識・技能に関するもの（経理などの各種資格取得）
- 13 情報化社会に対応するための技能や知識に関するもの（PC、スマートフォンなど）
- 14 国際交流・国際理解に関するもの（外国語、外国の生活文化など）
- 15 その他（具体的に： _____)
- 16 していない → 問3へ

問1で1～15と答えられた方にお聞きします。

問1-1 あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。

(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|------------------------------|----------------|
| 1 広報春日井 | 2 職場や団体の広報誌 |
| 3 新聞 | 4 雑誌 |
| 5 無料のタウン誌・情報誌 | 6 テレビ |
| 7 ラジオ | 8 ホームページ |
| 9 SNS (Twitter、Instagram など) | 10 YouTube |
| 11 チラシやポスター | 12 知人・友人・同僚・家族 |
| 13 その他 (具体的に：) | |

問1-2 どんな方法で学んでいますか。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|--------------------------------------|-------------|
| 1 市や地域団体が開催する講座・教室 | |
| 2 個人レッスン、カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座・教室 | |
| 3 同好のグループ・サークルなどへの参加 | 4 職場内の研修や教育 |
| 5 新聞・雑誌・テレビ・ラジオを活用した個人学習 | |
| 6 パソコンやスマートフォンなどによるオンライン講座 | |
| 7 図書館、博物館などの施設利用 | 8 通信教育・放送大学 |
| 9 専門学校・大学の公開講座 | |
| 10 その他 (具体的に：) | |

問1-3 取り組んでいるすべての活動の合計回数はどれくらいですか。

(あてはまるもの1つに○印)

- | | | |
|----------|--------|-------|
| 1 ほとんど毎日 | 2 週の半分 | 3 週1回 |
| 4 月2回 | 5 月1回 | |

問1-4 活動をしている理由は何ですか。(あてはまるもの3つまでに○印)

- | |
|-----------------------------|
| 1 自分自身の生き方やものの考え方を変えたい |
| 2 生きがいをつくり、人生をより豊かにしたい |
| 3 友人、仲間を増やしたい |
| 4 地域でのまちづくりや地域の活性化のために生かしたい |
| 5 自分の健康を維持・増進したい |
| 6 仕事や就職に生かしたい |
| 7 日常生活・子育てに生かしたい |
| 8 自主学習グループでの活動に生かしたい |
| 9 他の人の学習やスポーツ、文化活動などを指導したい |
| 10 知識・教養・技術を身に付けたい |
| 11 その他 (具体的に：) |

問2 あなたは、学習活動を通じて身に付けた知識・技能や経験を、地域でのまちづくりや地域の活性化のための活動に生かしていますか。(あてはまるものに○印)

- 1 既に生かしている
 - 2 生かしたいが、できていない
 - 3 生かしたいとは思わない
 - 4 分からない
- 問2-1へ
- 問3へ

問2で1、2と答えられた方にお聞きします。

問2-1 あなたは、学習活動を通じて身に付けた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。または、生かしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

- 1 講師として活動している
- 2 個人で教室を経営している
- 3 その活動の普及・啓発を行っている
- 4 市政に参画している
- 5 自治会・町内会活動に生かしている
- 6 ボランティア活動をしている
- 7 その他(具体的に：)

問2-2 あなたは、活躍の場として、自らが運営者となって講座の企画・運営に携わりたいと思いますか。(あてはまるものに○印)

- 1 はい
- 2 いいえ

問2-3 あなたが、学習活動を通じて身に付けた知識・技能や経験を生かすにあたって、困っている点や、生かしたいのにそれができていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

- 1 生かすことができる段階に達していない
- 2 学んだ内容と社会や地域での活動において求められる内容が一致していない
- 3 身近で生かせる活動や場所を見つけられない
- 4 どのような活動に生かせるのかわからない
- 5 時間的余裕がない
- 6 特に理由はない
- 7 特に困っていることはない

問3 あなたは、今後「生涯学習」に取り組みたいと思いますか。(あてはまるものに○印)

- 1 思う
 - 2 どちらかといえば、思う
 - 3 どちらかといえば、思わない
 - 4 思わない
- 問3-1へ
- 問3-4へ

問3で1、2と答えられた方にお聞きします。

問3-1 あなたは、どのような手段で生涯学習に取り組みたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

- 1 市や地域団体が開催する講座・教室
- 2 個人レッスン、カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座・教室
- 3 同好のグループ・サークルなどへの参加
- 4 職場内の研修や教育
- 5 新聞・雑誌・テレビ・ラジオを活用した個人学習
- 6 パソコンやスマートフォンなどによるオンライン講座
- 7 通信教育・放送大学
- 8 専門学校・大学の公開講座
- 9 その他(具体的に:)

問3-2 あなたは、どのような内容の学習の機会を増やしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

- 1 文学、歴史、自然科学などの教養に関するもの(文芸、郷土史、自然など)
- 2 趣味や芸術に関するもの(美術、書、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など)
- 3 家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの(料理、編み物、日曜大工など)
- 4 子育て・教育に関するもの(育児、教育問題など)
- 5 福祉・障がいに関するもの(手話、点字、障がい者スポーツなど)
- 6 男女共同参画に関するもの(ジェンダー、ワークライフバランスなど)
- 7 環境など社会問題に関するもの
- 8 ボランティア・NPO活動に必要な知識・技能に関するもの
- 9 介護・医療の知識に関するもの(生活習慣病の予防、介護知識など)
- 10 健康・健康増進に関するもの(健康体操、ウォーキングなど)
- 11 スポーツに関するもの(野球、サッカー、テニス、卓球など)
- 12 職業上必要な知識・技能に関するもの(経理などの各種資格取得)
- 13 情報化社会に対応するための技能や知識に関するもの(PC、スマートフォンなど)
- 14 国際交流・国際理解に関するもの(外国語、外国の生活文化など)
- 15 その他(具体的に:)

問3-3 あなたが、生涯学習活動に参加しやすい時間帯についてお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

平日	(1 午前	2 午後	3 夜間	4 いつでも可)
土曜日	(5 午前	6 午後	7 夜間	8 いつでも可)
日曜・祝日	(9 午前	10 午後	11 夜間	12 いつでも可)

→ 問 4 へ

問3で3、4と答えられた方にお聞きします。

問3-4 あなたが、生涯学習に取り組もうとする際、どのようなことが妨げになっていますか。(あてはまるものすべてに○印)

- 1 仕事や家事が忙しくて時間がない
- 2 費用がかかる
- 3 子どもや親などの世話をしてくれる人がいない
- 4 必要な情報(内容・時間・場所・費用)がなかなか入手できない
- 5 一緒に学習や活動をする仲間がいない
- 6 適当な指導者がいない
- 7 身近なところに施設や場所がない
- 8 身近なところにある施設が使いにくい
- 9 自分の希望に合う講座や教室などが無い
- 10 講座や教室などが行われる時期・時間が合わない
- 11 家族や職場など周囲の理解が得られない
- 12 障がいがある、障がい者向けの生涯学習の機会がない
- 13 きっかけがつかめない
- 14 面倒である
- 15 そういうことは好きではない
- 16 その他(具体的に：)
- 17 特になし

市の生涯学習への取り組みについておたずねします。

問4 市ホームページの中にある生涯学習情報サイト「まなびや選科」を活用したことがありますか。(あてはまるもの1つに○印)

■生涯学習情報サイト「まなびや選科」

春日井市の生涯学習情報を発信しているサイトで、講師情報や公民館、ふれあいセンター等で活動している団体情報を掲載しています。

- 1 活用したことがある
- 2 「まなびや選科」を知っているが、活用したことがない
- 3 「まなびや選科」を知らない

問5 公民館、ふれあいセンター等を利用したことがありますか。(あてはまるものに○印)

- 1 ある → 問5-1へ
- 2 ない → 問5-3へ

問5で「1 ある」と答えられた方にお聞きします。

問5-1 どの施設を利用しましたか。(あてはまるものすべてに○印)

- | | | |
|--------------|-------------------|---------------|
| 1 中央公民館 | 2 知多公民館 | 3 鷹来公民館 |
| 4 坂下公民館 | 5 味美ふれあいセンター | 6 高蔵寺ふれあいセンター |
| 7 南部ふれあいセンター | 8 西部ふれあいセンター | |
| 9 東部市民センター | 10 ハーモニー春日井(青年の家) | |

問5-2 どういった目的で利用しましたか。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1 講座の受講 | 2 個人での貸館利用 |
| 3 サークル活動の場として利用 | 4 町内会など地域活動の場として利用 |
| 5 スタディールーム(中高生の自主学習の場)の利用 | |
| 6 図書室の利用 | 7 展示の鑑賞 |
| 8 公民館まつりなどのイベントへの参加 | 9 住民票、証明書等の発行 |
| 10 その他(具体的に: _____) | |

→ 問6へ

問5で「2 ない」と答えられた方にお聞きします。

問5-3 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1 身近なところに施設がない | 2 身近なところにある施設が使いにくい |
| 3 受けたい講座がない | 4 講座の時間が合わない |
| 5 講座等に関する情報がない | 6 利用の仕方がわからない |
| 7 時間がない | 8 生涯学習に関心がない |
| 9 その他(具体的に: |) |

問6 公民館やふれあいセンター等の施設に求めるもの、機能は何ですか。
(あてはまるもの2つまでに○印)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 開催する講座の充実 | 2 地域住民が交流できる場・機会 |
| 3 個人や団体活動の発表の場・機会 | 4 自己学習スペース |
| 5 インターネット・Wi-Fi環境 | 6 キッズスペース(子どもの遊び場) |
| 7 テレワークができる場所 | 8 図書室の蔵書の充実 |
| 9 キャッシュレス決済 | 10 インターネットでの予約 |
| 11 その他(具体的に: |) |

問7 市が行う講座について、重要だと思う点は何ですか。(あてはまるもの
に2つまでに○印)

- 1 たくさんの種類があり、希望のテーマが選択できること
 - 2 土・日などの休日に開催する講座の実施
 - 3 平日夜間に開催する講座の実施
 - 4 託児付き講座の実施
 - 5 身近な施設での講座の開催
 - 6 インターネット(オンライン)で受講できること
 - 7 安い費用で受講できること
 - 8 継続した学習機会があること
 - 9 その他(具体的に:
-)

問8 今後、生涯学習をもっと盛んにしていくためには、どのような学習情報
が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 市の講座の内容や開催に関する情報 | 2 施設の利用に関する情報 |
| 3 サークルの活動状況や入会方法 | 4 県や他市の講座などの情報 |
| 5 講師・指導者などの人材情報 | 6 地域活動・ボランティアに関する情報 |
| 7 その他(具体的に: |) |

問 9 今後、生涯学習を進めていく上で、特にどの分野に力を入れていくべきだと思われますか。(あてはまるもの2つまでに○印)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 幼児教育 | 2 青少年教育 |
| 3 家庭教育 | 4 芸術・文化に関すること |
| 5 福祉・障がいに関すること | 6 健康に関すること |
| 7 スポーツに関すること | 8 社会問題・国際交流 |
| 9 防災・安全活動に関すること | 10 ICTに関すること |
| 11 コミュニティ育成 | 12 リーダー・グループ養成 |
| 13 その他(具体的に: _____) | |

※ICT…情報通信技術のこと

問 10 今後、生涯学習をもっと盛んにしていくためには、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(あてはまるものを4つまで選び、重要だと思う順に番号を記入してください。)

- 1 生涯学習講座の内容を充実させる
- 2 地域で講座等を企画、支援する人材の育成
- 3 気軽に生涯学習について相談できる窓口
- 4 生涯学習に関する情報発信(講座、サークル、人材などの情報)
- 5 ボランティア活動、まちづくり活動の支援
- 6 NPO、企業等との連携
- 7 成果を生かし、発表できる場の充実
- 8 生涯学習施設の利便性の向上
- 9 スポーツ施設の整備
- 10 バリアフリー化など施設整備
- 11 その他(具体的に _____)
- 12 特になし

重要だと思う順に、その番号を記入してください。

1	
2	
3	
4	

◎生涯学習について、自由なご意見をお聞かせください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2 団体



生涯学習に関するアンケート調査



～施設運営や活動支援に生かすため、 皆さんの声をお聞かせください～

皆さまには、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
春日井市では、平成29年度に策定した「第2次春日井市生涯学習推進計画」に基づき、生涯学習の推進に向け、様々な施策を実施してきました。

このたび、計画期間の中間年度を迎え、計画の見直しを行うことから、市民の皆さまのお考えを反映させるため、アンケート調査を実施することといたしました。

皆さまの意見を生涯学習施策に生かしたいと考えていますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年9月

春日井市長 伊藤 太

【ご記入にあたってのお願い】

- ・ このアンケートは、公民館やふれあいセンター等に登録している団体を対象にお送りしています。
- ・ 調査内容は、統計処理以外には使用しません。個人が特定されたり、情報が漏れたりすることはありません。
- ・ 宛名の方が答えられない場合は、ご本人に代わって他の会員の方がお答えください。

<回答方法>

- ・ 調査票のあてはまる回答の番号を○で囲んでください。答えが「その他」の場合には、その番号を○で囲むとともに、()内に回答の内容をご記入ください。(複数の回答を選択できる設問もありますので、ご注意ください。)
- ・ 記入したアンケートは、同封の返信用封筒(切手不要)で締切日までに投函してください。

<回答締切> 令和3年9月21日(火)

<お問い合わせ先> 春日井市文化スポーツ部文化・生涯学習課
電話：0568-85-6447 FAX：0568-83-2297
Mail：bunsyo@city.kasugai.lg.jp

あなたの団体についておたずねします。

問1 あなたの団体の分野についてお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

- | | | |
|---------------------|---------------------|-------------|
| 1 文学・歴史 | 2 語学・話し方 | 3 絵画・美術工芸 |
| 4 書道・てん刻 | 5 華道・茶道 | 6 和裁・洋裁・着付け |
| 7 趣味・手工芸・囲碁・将棋 | 8 料理 | 9 声楽・邦楽・洋楽 |
| 10 民踊・舞踊・ダンス | 11 健康・スポーツ | 12 福祉 |
| 13 ボーイ・ガールスカウト | 14 コンピュータ・インターネット関係 | |
| 15 その他(具体的に: _____) | | |

問2 あなたの団体の会員数、男女数、年齢層についてお答えください。

①団体の人数構成及び男女数(数字で記入 令和3年9月1日現在)

(総人数) _____ 人 (内訳) 男性 _____ 人 女性 _____ 人

②団体の一番多い年齢層(あてはまるもの1つに○印)

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1 10歳代 | 2 20歳代 | 3 30歳代 | 4 40歳代 |
| 5 50歳代 | 6 60歳代 | 7 70歳代 | 8 80歳以上 |

問3 あなたの団体が主に活動されている曜日、時間帯、活動回数についてお答えください。

①主に活動する時間帯(あてはまるものすべてに○印)

- | | | | |
|---------|--------|------|-------|
| 平 日 | (1 午前 | 2 午後 | 3 夜間) |
| 土 曜 日 | (4 午前 | 5 午後 | 6 夜間) |
| 日 曜・祝 日 | (7 午前 | 8 午後 | 9 夜間) |
| | 10 不定期 | | |

②活動回数(あてはまるもの1つに○印)

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1 月1回 | 2 月2回 | 3 月3回 |
| 4 月4回 | 5 月5回以上 | |

問 4 あなたの団体の設立経緯についてお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

- | | |
|-------------|------------|
| 1 市主催の講座から | 2 地域の同好会から |
| 3 職場の同好会から | |
| 4 その他(具体的に: |) |

問 5 あなたの団体および会員の皆さんは、どのような目的をもって活動に参加していますか。(あてはまるもの3つまでに○印)

- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| 1 楽しむ | 2 心を豊かにする | 3 仲間をつくる |
| 4 知識・教養を得る | 5 健康・体力づくり | 6 生きがい |
| 7 技術・技能の向上 | 8 伝統芸能の保存 | 9 余暇時間の活用 |
| 10 地域・社会への貢献 | 11 その他(具体的に: |) |

問 6 日頃の学習の成果を発表する機会がありますか。(あてはまるものに○印)

- 1 ある → 問 6-1 へ 2 ない → 問 7 へ

問 6で「1 ある」と答えられた方にお聞きします。

問 6-1 発表する機会はどのようなときですか。(あてはまるものすべてに○印)

- | | | |
|---------------------|---------|------------|
| 1 活動している施設での発表会やまつり | | |
| 2 市の主催行事 | 3 地域の行事 | 4 展覧会 |
| 5 作品集等 | 6 発表大会 | 7 公民館等での講師 |
| 8 その他(具体的に: | |) |

問 7 今後の活動をどのように進めたいですか。(あてはまるもの2つに○印)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 現在の活動を継続していきたい | 2 活動の幅を広げたい |
| 3 会員数を増やしたい | 4 他の団体と交流、連携したい |
| 5 活動の回数を増やしたい | 6 活動の回数を減らしたい |
| 7 特に考えていない | |

問 8 団体として、活動してきた経験をどのように生かしたいですか。
(あてはまるもの2つまでに○印)

- 1 市などの公共機関の行う講座・イベントなどに参加し、生かしていきたい
- 2 市と協働して、各種事業に参画したい(講座講師やイベントの企画等)
- 3 他の人の学習やスポーツ、文化活動などを指導していきたい
- 4 地域でのまちづくりや地域の活性化のために生かしたい
- 5 きっかけがあれば何かに生かしていきたい
- 6 その他(具体的に:)
- 7 特に考えていない

問 9 活動を行っていく上での課題や問題点についてお答えください。
(あてはまるもの2つまでに○印)

- 1 会員の高齢化
- 2 新規会員が入会しない
- 3 活動のマンネリ化
- 4 リーダー・指導者の不足
- 5 運営費の不足
- 6 活動普及のためにPRする場がない
- 7 施設の会場が確保しにくい
- 8 施設の使用料
- 9 成果を生かす場面や機会が少ない
- 10 施設の設備の使い勝手(具体的に:)
- 11 その他(具体的に:)

問 10 今後団体の活動をしていく上で、市に望むことは何ですか。(あてはまるもの2つまでに○印)

- 1 会員募集の支援や活動についてのPR
- 2 指導者の紹介
- 3 活動成果の発表の場(イベント等)を増やす
- 4 市の講座で講師を行う機会を増やす
- 5 他団体と交流する場・機会を増やす
- 6 施設の設備の充実
- 7 その他(具体的に:)
- 8 特になし

◎生涯学習について、自由なご意見をお聞かせください。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。
9月21日(火)までに、返信用封筒でご返送ください。(この調査票を三つ折にして封筒に入れてください)